

ECLIPSE *TD*[®]

AV RECEIVER

形名 **PMX-300**

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ず
お読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができ
るところに必ず保管してください。

1bit
Technology

DIGITAL
dts
SURROUND

AAC

DOLBY
DIGITAL
PRO LOGIC II

SACD
SUPER AUDIO CD

DVD
AUDIO/VIDEO

PROGRESSIVE

COMPACT
DIGITAL AUDIO

1章

はじめに

	ページ
安全に正しくお使いいただくために	4
おもな特長	8
付属品について	9
著作権について	9
各部のなまえ	10
ディスクについて	14

2章

準備

	ページ
本体とスピーカを設置する	18
スピーカを接続する	20
テレビを接続する	22
アンテナを接続する	24
リモコンに乾電池を入れる	24
電源コードを接続して、電源を入れる	25
時計を合わせる	26
音量を調整したり、表示部の明るさを変える ...	27

3章

DVD 再生

	ページ
DVD を再生する	28
見たい場面をさがす	30
見たい場面を静止画で見たり、スローで見る	31
見たい場面を選んで再生する	32
くり返して再生する	33
好きなチャプター順で再生する	34
ディスクのメニューから操作する	35
字幕や音声を変更する	36
画像の明るさや画質を調整する	37
画像の角度を変えたり、拡大表示する	38
DVD 再生設定画面からいろいろな設定を変える	39
DVD オーディオを再生するとき	40
DVD-RW (VR モード) を再生するとき	41

4章

SACD・CD再生

	ページ
SACD・CD を再生する	42
聞きたいところをさがす・順不同で再生する	44
くり返して再生する	45
好きなところを選んで再生する	46
好きなトラック順で再生する	47
SACD のハイブリッドディスクを再生するとき	48
MP3 ディスクを再生するとき	49
テレビや本体の表示内容を切り換える	50
ディスクの取り扱いについて	51

5章

ラジオ

	ページ
ラジオ放送を聞く	52
放送局を登録する	53

6章

サラウンド

	ページ
いろいろな音声を楽しむ	54

7章

初期設定

	ページ
DVDの初期設定を変える	58
アンプの初期設定を変える	62

8章

タイマー

	ページ
タイマー再生について	68
タイマー再生を使う	69
タイマー設定したあとの動作について	70
おやすみタイマーを使う	71
おやすみタイマーとタイマー再生を組み合わせる	72

9章

リモコン

	ページ
テレビを操作する	73

10章

システムアップ

	ページ
テレビの音声を楽しむ	74
ビデオの音声を楽しむ	75
CS / BS チューナーなどの音声を楽しむ	76
DVDやCDの音声をMDレコーダーなどで録音する	77
サブウーファ（アンプ非内蔵）を接続する	78
ヘッドホンを使う	78

11章

参考

	ページ
言語コード一覧表	79
“故障かな？”と思ったら	80
こんな表示が出たときは	82
屋外アンテナの接続	83
お手入れについて	83
別売品について	84
仕様	84
保証とアフターサービス	86
お客様ご相談窓口のご案内	裏表紙

再生できるディスク
くわしくは、14ページをごらんください。

はじめ

準備

DVD再生

SACD・CD再生

ラジオ

サラウンド

初期設定

タイマー

リモコン

システムアップ



参考

1章 安全に正しくお使いいただくために

はじめ

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。


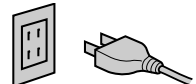
図記号の意味

	この記号は 気をつける必要があることを表しています。
	この記号は してはいけないことを表しています。
	この記号は しなければならないことを表しています。

警告


電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない



火災・感電の原因となります。


外国では使用しない



この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

雷について


雷が鳴りだしたら…安全のため、製品にさわらないでください



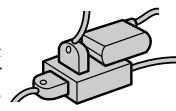
感電の原因となります。

電源コードについて


タコ足配線はしない



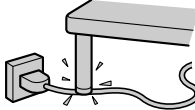
発熱により、火災の原因となります。




コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っばったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



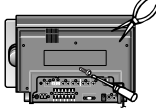

電源コードが傷ついたときは…販売店に交換をご依頼ください



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない



火災・感電・けがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

警告

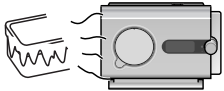
内部に物や水などを入れない

開口部(スライドドアやバスレフダクトなど)から金属類や燃えやすい物などを入れない



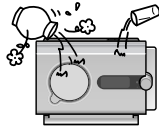
火災・感電・けがの原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない



火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない



こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください



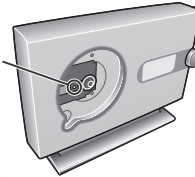
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

光ピックアップについて

光ピックアップの光源を直視しない



光ピックアップ



目を痛める原因となります。

高温部への接触について

使用中は、内部から発生する熱により、表面が熱くなります



長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。また、長時間使用するときは、放熱に注意してください。(P.19)

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

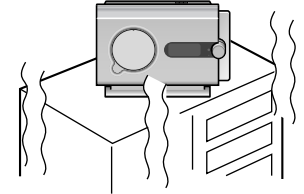


異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

置き場所について

不安定な場所に置かない



落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない



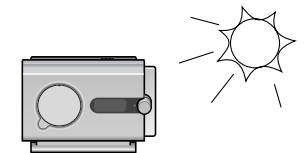
火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない



露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

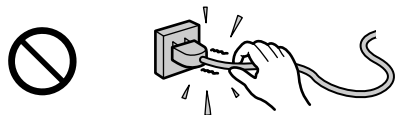


火災・事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

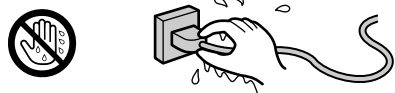
電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っばらない



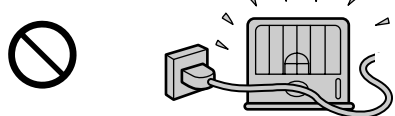
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

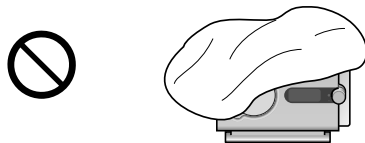
コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する



火災・感電の原因となることがあります。

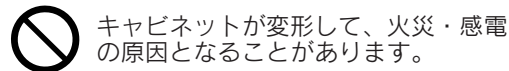
ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない



熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

この製品の上に物を置かない



機器の接続について

他の機器を接続するときは、指定のコードをお使いください



接続するときは、必ず電源を切り、他の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

また、付属のコードや指定以外のコードを使用すると、故障の原因となります。

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しない
- 金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない
- 水に濡らさない
- 加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない
- 分解しない
- ハンダ付けしない
- 端子をショート（短絡）させない
- 種類のちがう乾電池を混ぜて使用しない
- 充電電池（ニカド電池等）は使用しない



- 乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、表示どおり正しく入れてください

もし、液がもれた場合は、リモコンについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 注意

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける



思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

移動するときは

電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜いてください



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



スライドドアについて

スライドドアが開閉中は、指などはさまないよう注意してください



壁掛け等で使うときは



壁掛け等で使うときの部材(壁掛け用本体ブラケット)は、必ず指定のものを使ってください。(P.84) 強度が足りないと落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

特殊なディスクについて

特殊形状(ハート型や八角形など)のディスクは使用しない



高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。

外部アンテナの工事について



アンテナ工事には技術と経験が必要です。また、高いところでの作業は危険です。取り付ける場合は、販売店に相談してください。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



感電やけがの原因となることがあります。

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはECLIPSE TD インフォメーション(お客様相談窓口)までご連絡ください。(裏表紙)
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

1章 おもな特長

はじめ

おもな特長

フラットパネルコンセプトの 手軽なオールインワンシステム

奥行き122mm(スタンド部含む)の薄型ボディに1ビットデジタルアンプ・DVDプレーヤー・デコーダーを内蔵しています。液晶テレビやプラズマテレビと組み合わせて、リビングの壁際などにすっきりと設置できます。

迫力ある臨場感を再現

5.6MHz「1ビットデジタルアンプ」

1秒間に約560万回(約5.6MHz)という高速サンプリングで1ビット信号を生成・増幅することにより(CDの約128倍に相当するサンプリング)、高品位で解像度の高いサウンドを楽しめます。

1ビットサウンドを高音質で再現する

タイムドメインスピーカシステム

音の波形が出てから消えるまでの、時間的な変化を正しく再現し、再生される音の波形を限りなく原音に近づけるために生まれた、タイムドメイン理論に基づき設計しています。

空間再現力や繊細微妙な表現が、より忠実になりました。

SACD/DVDオーディオ/DVDビデオなどが再生できる マルチディスクプレーヤー

DVDビデオの映像のみならず、SACD/DVDオーディオの音楽再生ディスクも再生できます。

また、DVD-R/DVD-RW(VR/ビデオモード対応)/CD/CD-R/CD-RWや、MP3フォーマットで記録されたCD-R/CD-RWの再生も可能です。

プログレッシブ回路を搭載していますので、プログレッシブスキャンに対応したD端子付テレビに接続することにより、ちらつきの少ない映像が楽しめます。

いろいろなサラウンド方式を再現する

各種デコーダー

5.1chのサウンドを高音質で楽しめる、ドルビーデジタル方式、DTS方式やBSデジタル/地上デジタル放送のAAC方式に対応した各種デコーダーを搭載しています。

さらに、地上アナログ放送やビデオテープなどの2chステレオ音声を5.1chサラウンドに変換するドルビープロロジックIIデコーダーも搭載しています。

テレビ操作も可能なリモコン

リモコンで本体以外にテレビも操作できます。

付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

本体に同梱されている付属品		
 リモコン送信機×1	 単4乾電池×2 (リモコン用)	 映像コード×1
 FM用アンテナ×1	 AM用ループアンテナ×1	 取扱説明書(本書)×1 操作早見表×1 保証書×1
 フロント スピーカー「左」用(約5m)	 センター スピーカー用(約5m)	 フロント スピーカー「右」用(約5m)
 サブウーファ用(約5m)	 サラウンド スピーカー「左」用(約15m)	 サラウンド スピーカー「右」用(約15m)
スピーカーコード×6		

予備のサブウーファコードです。付属のサブウーファの接続には、サブウーファに同梱されているコード(RCAタイプ)をお使いください。

カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

著作権について

AV RECEIVER PMX-300

1章

はじめ

付属品について・著作権について

- ・ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- ・ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- ・本機は、マクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析(リバースエンジニアリング)または改造は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

“DTS”、“DTS Digital Surround”はDigital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

AACは正式名称をMPEG-2 Advanced Audio Codingといい、MPEG-2仕様の一部として標準化された音声圧縮技術です。

以下が米国特許番号です。

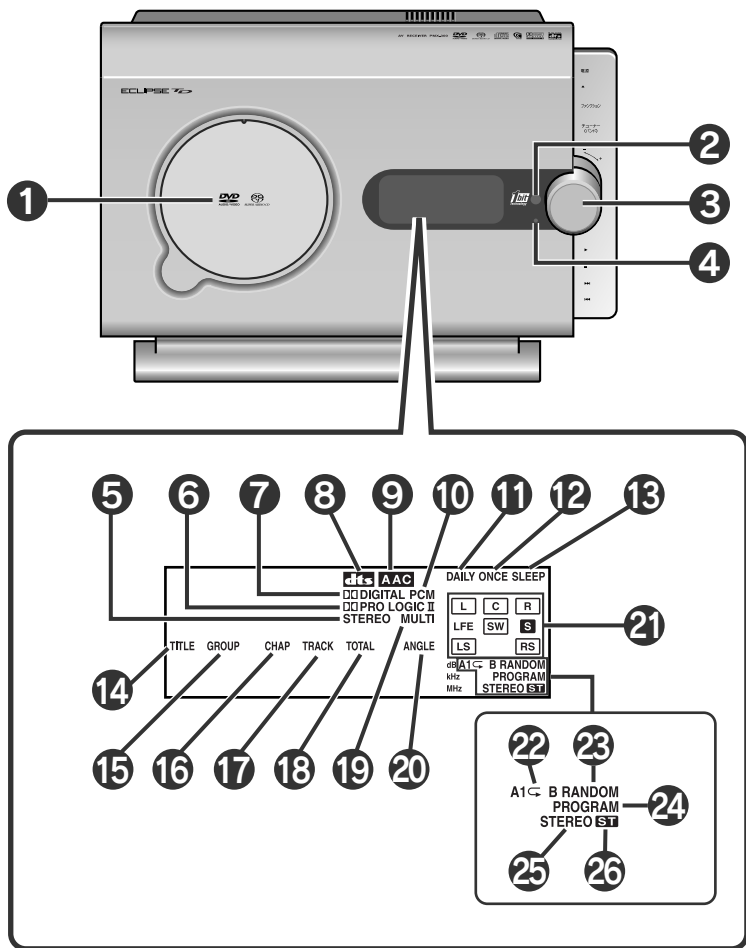
08/937,950	5 297 236	5,481,614
5,490,170	5848391	4,914,701
5,592,584	5,264,846	5,291,557
5,235,671	5,781,888	5,268,685
5,451,954	07/640,550	08/039,478
5,375,189	5 400 433	5,579,430
08/211,547	5,581,654	5,222,189
08/678,666	5,703,999	05-183,988
5,357,594	98/03037	08/557,046
5,548,574	5 752 225	97/02875
08/894,844	08/506,729	5,394,473
97/02874	5,299,238	08/576,495
5,583,962	98/03036	5,299,239
5,717,821	5,274,740	5,227,788
5,299,240	08/392,756	5,633,981
5,285,498	5,197,087	

1章 各部のなまえ

はじめ

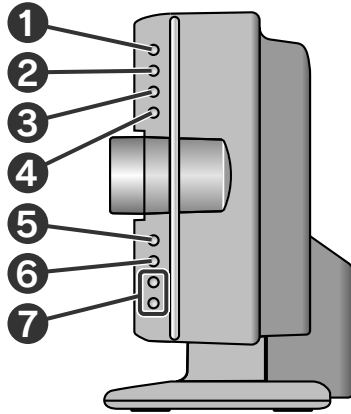
各部のなまえ

本体（正面）



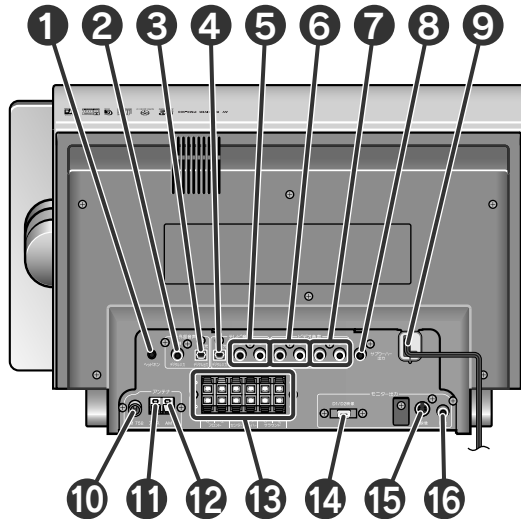
- ① スライドドア 28、42
- ② リモコン受信部 24
- ③ 音量調整つまみ 27
- ④ タイマー表示 70
- ⑤ SACD / DVD-AUDIO ステレオ表示 48
- ⑥ ドルビープロロジックII表示 55
- ⑦ ドルビーデジタル信号表示 54
- ⑧ DTS 信号表示 54
- ⑨ AAC 信号表示 54
- ⑩ PCM 信号表示 55
- ⑪ デイリータイマー表示 70
- ⑫ ワンスタイマー表示 70
- ⑬ スリープ表示 71
- ⑭ タイトル表示 50
- ⑮ グループ表示 50
- ⑯ チャプター表示 50
- ⑰ トラック表示 50
- ⑱ トータル表示 50
- ⑲ SACD / DVD-AUDIO マルチ表示 48
- ⑳ アングル表示 38
- ㉑ 音声信号 / スピーカ表示 55
- ㉒ リピート / 1 曲リピート / A-B リピート表示 45
- ㉓ ランダム表示 44
- ㉔ プログラム表示 47
- ㉕ FM ステレオモード表示 52
- ㉖ FM ステレオ受信表示 52

本体（右側面）



- | | | | | |
|---|------------------|-------|-------|-------|
| ① | 電源ボタン | | 25、81 | 参照ページ |
| ② | スライドドア開閉ボタン | | 28、42 | |
| ③ | 入力切換（ファンクション）ボタン | | 74 | |
| ④ | チューナー／バンドボタン | | 52 | |
| ⑤ | 再生ボタン | | 28、42 | |
| ⑥ | 停止ボタン | | 28、42 | |
| ⑦ | 頭出し／早送り／早戻しボタン | | 30、44 | |

本体（背面）



- | | | | | |
|---|---------------------|-------|----|-------|
| ① | ヘッドホン端子 | | 78 | 参照ページ |
| ② | 外部音声デジタル入力端子 | | 76 | |
| ③ | 外部音声デジタル出力端子 | | 77 | |
| ④ | テレビ音声デジタル入力端子 | | 74 | |
| ⑤ | テレビ音声入力端子 | | 74 | |
| ⑥ | ビデオ音声入力端子 | | 75 | |
| ⑦ | ビデオ音声出力端子 | | 75 | |
| ⑧ | サブウーハー出力端子 | | 78 | |
| | (付属のサブウーファを接続します。) | | | |
| ⑨ | 電源コード | | 25 | |
| ⑩ | FM アンテナ端子 (FM 75 Ω) | | 24 | |
| ⑪ | アース端子 | | 24 | |
| ⑫ | AM アンテナ端子 | | 24 | |
| ⑬ | スピーカー端子 | | 20 | |
| ⑭ | D1 / D2 映像出力端子 | | 23 | |
| ⑮ | S 映像出力端子 | | 23 | |
| ⑯ | 映像出力端子 | | 22 | |

1章 各部のなまえ (続き)

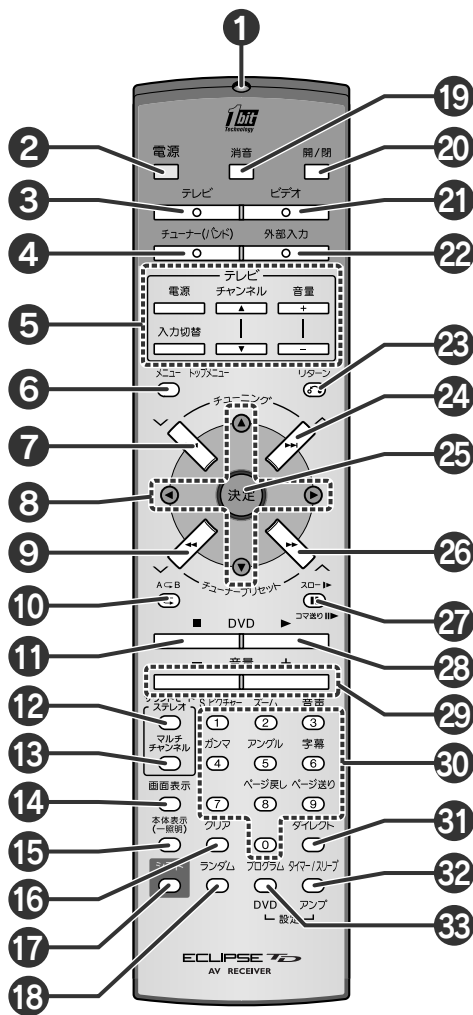
はじめ

各部のなまえ

リモコン

参照ページ

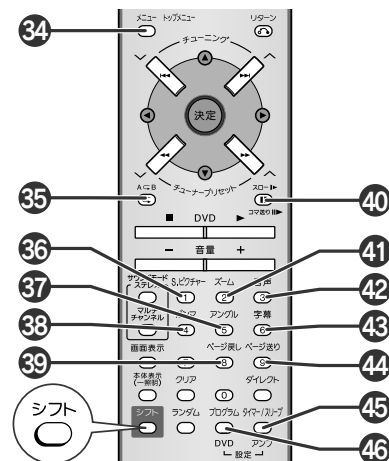
- 1 リモコン送信部 24
- 2 電源ボタン 25
- 3 テレビ入力切替ボタン 74
- 4 チューナー/バンド切替ボタン 52
- 5 テレビ操作ボタン 73
- 6 メニューボタン 35
- 7 頭出し/チューニングダウンボタン ... 30、44、52
- 8 カーソルボタン 26
- 9 早戻し/チューナープリセット
ダウンボタン 30、44、53
- 10 リpeatボタン 33、45
- 11 停止ボタン 28、42
- 12 ステレオ切替ボタン 57
- 13 マルチチャンネル切替ボタン 56
- 14 テレビ画面表示切替ボタン 50
- 15 本体表示切替ボタン 26、27、50
- 16 クリアボタン 34
- 17 シフトボタン 31
- 18 ランダムボタン 44
- 19 消音ボタン 27
- 20 スライドドア開閉ボタン 28、42
- 21 ビデオ入力切替ボタン 75
- 22 外部入力切替ボタン 76
- 23 リターンボタン 32
- 24 頭出し/チューニングアップボタン ... 30、44、52
- 25 決定ボタン 26
- 26 早送り/チューナープリセット
アップボタン 30、44、53
- 27 静止/コマ送り/一時停止ボタン ... 29、31、43
- 28 再生ボタン 28、42
- 29 音量調整ボタン 27



参照ページ

- 30 数字入力ボタン 32
- 31 ダイレクトボタン 32、46
- 32 タイマー/スリープボタン 26、71
- 33 プログラムボタン 34、47

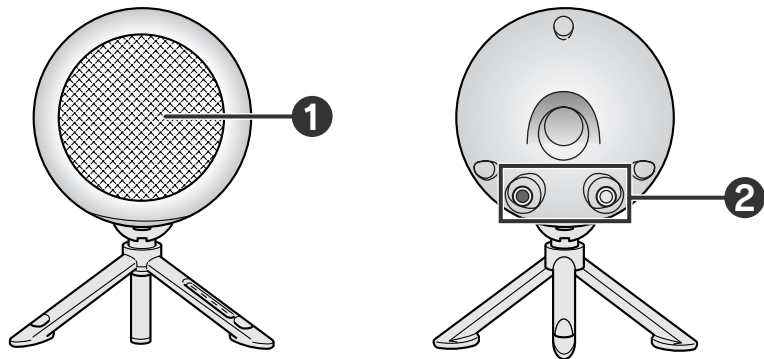
シフトボタンを押したまま操作するボタン (青文字)



- 34 DVD トップメニューボタン 35
- 35 A-B リpeatボタン 33、45
- 36 DVD スーパーピクチャーボタン 37
- 37 DVD アングルボタン 38
- 38 DVD ガンマ補正ボタン 37
- 39 DVD ページ戻しボタン 40
- 40 DVD スローボタン 31
- 41 DVD ズームボタン 38
- 42 DVD 音声切替ボタン 36
- 43 DVD 字幕ボタン 36
- 44 DVD ページ送りボタン 40
- 45 アンプ設定ボタン 63
- 46 DVD 設定ボタン 39

サテライトスピーカ×5

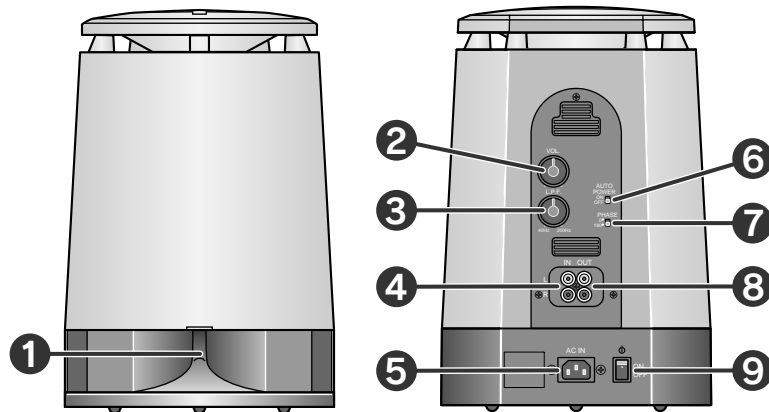
くわしくは、サテライトスピーカに付属している取扱説明書をごらんください。



- 参照ページ
- ① スピーカ
 - ② スピーカ端子 20

サブウーファ×1

くわしくは、サブウーファに付属している取扱説明書をごらんください。



- 参照ページ
- ① バスレフダクト
 - ② 音量つまみ
 - ③ L.P.F. 調整つまみ
 - ④ ライン入力端子 20
 - ⑤ 電源入力端子
 - ⑥ オートパワースイッチ
 - ⑦ 位相切替スイッチ
 - ⑧ ライン出力端子
 - ⑨ 電源スイッチ

1章 ディスクについて

はじめ

ディスクについて


■ 再生できるディスクについて

次のディスクを再生することができます。

DVD	
DVD ビデオ NTSC 方式 	DVD オーディオ NTSC 方式 
DVD-R NTSC 方式  ビデオモードで記録 (※)	DVD-RW NTSC 方式  ビデオモードまたはVRモードで記録 (※)

DVDによっては、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりの動作をしないことがあります。ディスクのジャケットなどもごらんください。

(※) 記録した機器やディスクの状態、ディスクの特性、キズ、汚れ、または光ピックアップの汚れなどにより、正しく再生できないことがあります。

SACD


CD		
音楽用 CD 	音楽用 CD-R  または、MP3フォーマットで記録された CD-R (※)	音楽用 CD-RW  または、MP3フォーマットで記録された CD-RW (※)

(※) 記録した機器やディスクの状態、ディスクの特性、キズ、汚れ、または光ピックアップの汚れなどにより、正しく再生できないことがあります。

■ DVD ビデオについて

DVDのなかでも一般的なディスクで、CDと同じ大きさのディスクに映像を主体に記録されたディスクです。

リージョン番号について…

DVDは、販売される国により、再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号を、リージョン番号といいます。

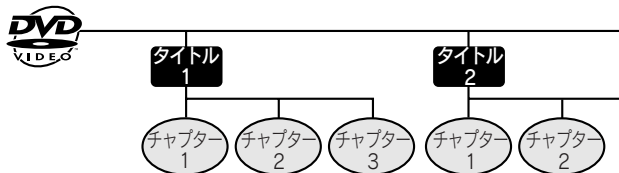
本機で再生できるのは、「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」の表示があるディスクです。

リージョン番号
(再生可能地域番号)



タイトル・チャプターについて…

DVDビデオは、「タイトル」と「チャプター」に区切り、構成されています。タイトルとは、例えば複数の映画が入っているディスクで各映画ごとをさします。チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。



■ DVD に表示されているマークについて

DVDのケースに記載されている機能マークを確認のうえお楽しみください。

表示例	内容
DVD に記録されている画面サイズ	接続するテレビの種類「ワイドテレビ」や「4:3のテレビ」に応じた画面サイズが選べます。
	4:3の画面サイズで記録されています。
	ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しめるように記録されています。
	ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビでは左右をカットした4:3の画像を楽しめるように記録されています。
字幕の種類 (例) 1: 日本語字幕 2: 英語字幕	記録されている字幕言語を表しています。好みの字幕が選べます。
アングル数 	DVD に記録されているアングル数が表示されています。好みのアングルが選べます。
音声トラック数や音声記録方式 (例) 1: オリジナル<英語> (ドルビーデジタル 5.1ch サラウンド) 2: 日本語 (ドルビーデジタル 2ch)	音声のトラック数や音声の記録方式を表しています。DVDに記録されている音声を切り換えることができます。記録されている音声や音声の記録方式は、DVDによって異なります。DVDの説明書で確認してください。

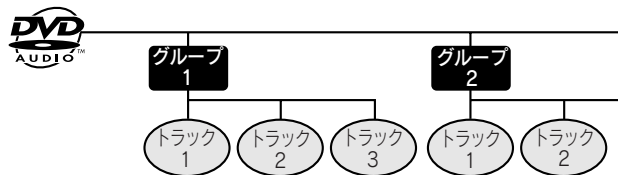
■ DVD オーディオについて

DVD ビデオが映像を主体に記録されたディスクであるのに対して、DVD オーディオは、ディスク容量のほとんどを音声データの記録に使用している、高音質オーディオのディスクです。(CDの約7倍の情報量があります。)

ディスクの物理的な構造はDVDビデオと同じですが、データ構造やディレクトリ構造などは大きく異なっており、中心を占めるオーディオパートと映像を記録するビデオパートに分かれています。

グループ・トラックについて…

DVD オーディオは、「グループ」と「トラック」に区切り、構成されています。グループとは、例えば複数の音楽が入っている音楽アルバム1枚分に相当します。トラックとは、グループ内の各曲ごとを表します。



■ DVD-R/DVD-RW の再生について

- ・再生できるDVD-Rは、ビデオモードで記録されているディスクです。
- ・再生できるDVD-RWは、ビデオモードまたはVRモード(ビデオレコーディングフォーマット)で記録されているディスクです。
- ・DVD-R/DVD-RWは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行ってください。
- ・DVD-RW(VRモード)でコピーコントロール情報のあるディスク(Ver. 1.1 CPRM対応)では、正常に再生できない場合があります。

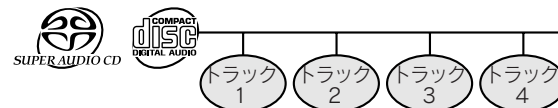
■ SACD (スーパーオーディオCD) について

SACDは、CDの約7倍の記録情報量を持っている高音質オーディオのディスクです。SACDには1層ディスク、2層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。

ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ち合わせています。SACDの中には、ステレオ2チャンネル以上のマルチチャンネル音声記録されているものもあります。

トラックについて…

SACDや音楽CDは、「トラック」に区切り、構成されています。トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

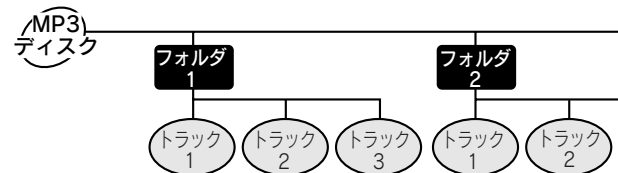


■ CD-R/CD-RW の MP3 ファイル形式について

MP3ファイルとは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データのことで、MP3ファイルには「.mp3」という拡張子がついています。(拡張子「.mp3」がついたファイルでも、MP3ファイル形式で記録されていない場合は、雑音が出たり再生できないことがあります。)

フォルダ・トラックについて…

MP3ディスクは、「フォルダ」と「トラック」に区切り、構成されています。



■ 再生できないディスクについて

本機では、次のディスクは再生できません。

- ・ リージョン番号の「2」または「ALL」が含まれていないDVD
(P.15)
- ・ PAL 方式の DVD
- ・ SECAM 方式の DVD
- ・ MPEG 音声の DVD
- ・ DVD-ROM
- ・ DVD-RAM
- ・ CDG
- ・ ビデオ CD
- ・ フォト CD
- ・ CD-ROM
- ・ 業務用など、特殊なフォーマットで記録されているディスクなど

- ・ 上記のものは、全く再生できないか、映像が出て音が出ない、音が出て映像が出ないことがあります。
誤って再生すると、大音量によってスピーカを破損したり、ヘッドホン使用時は聴力障害の原因となることがあります。絶対に再生しないでください。
- ・ 本機はNTSC方式に適合した機器です。海外で製造されたディスクには再生できないものがあります。ご購入の際は、記録方式を確認してください。
- ・ 正式な販売地域以外のディスクなど、規格を満たさないものがあります。
そのようなディスクは再生できません。

コピーコントロールCDについて…



ディスクレーベル面に左記マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

本機は、CD規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「コピーコントロールCD」などについて動作や音質を保証できません。このような特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細についてはディスクの発売元へお問い合わせをお願いします。

2章 本体とスピーカを設置する

AV RECEIVER PMX-300

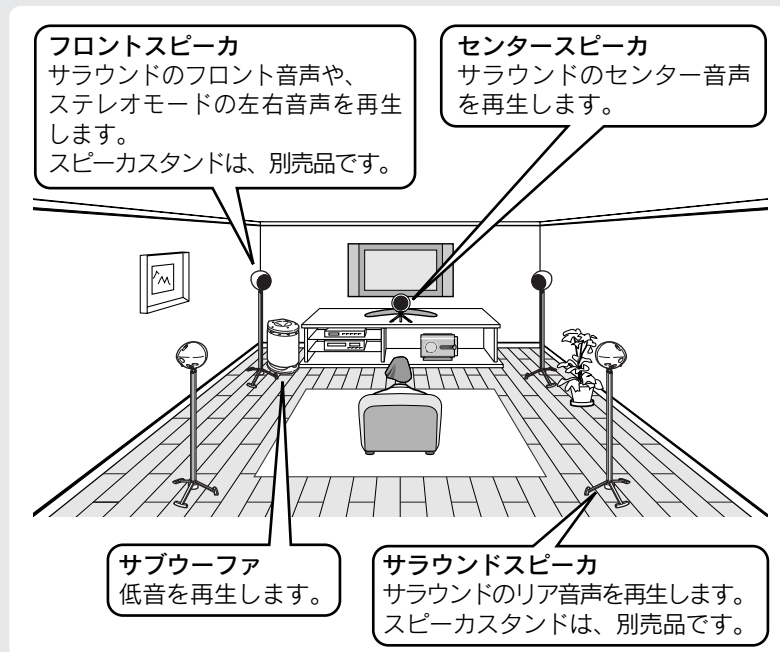
準備

本体とスピーカを設置する

■ スピーカを配置するとき

サラウンド効果を十分に引き出すために、各スピーカはお聞きになる位置からなるべく等距離に配置してください。

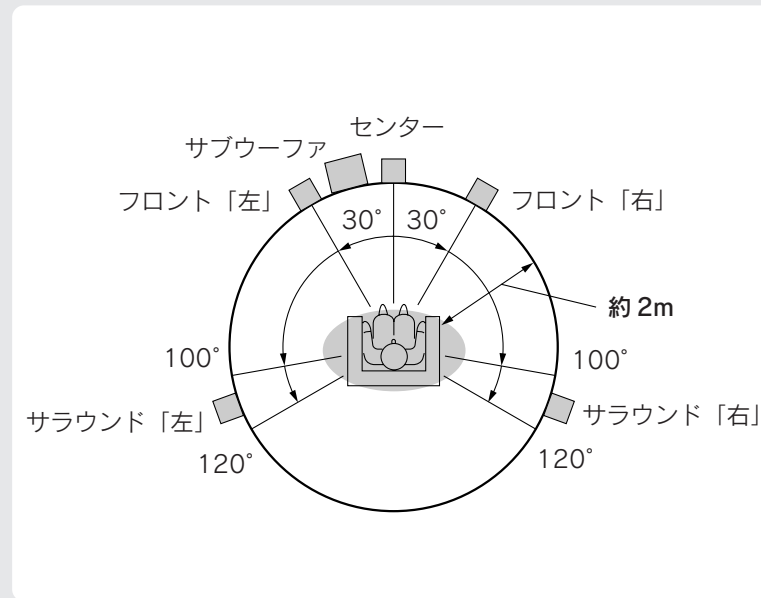
各スピーカの設置イメージです。



お知らせ.....

- フロントスピーカは、テレビを中心として左右に配置してください。
- センタースピーカは、テレビの近くに置くことをおすすめします。
- サブウーファからは低音が出ますので、振動しにくいしっかりした床に配置してください。
- サブウーファの低音は指向性が少ないため、設置位置をあまり限定しませんができるだけ左右フロントスピーカの近くに置くことをおすすめします。

図のような角度に配置することをおすすめします。



各スピーカを等距離（約2m）に配置できないときは、「アンプの初期設定を変える」をごらんください。（P.62）

ご注意.....

サブウーファは本体や他のスピーカと同じテーブルなどに設置しないでください。振動でテレビや本体などが動いたり、テレビ画像が乱れたり、音かとぎれたりすることがあります。

防磁対応スピーカについて…

サテライトスピーカは防磁対応されていますので、テレビの前や横に置くことができます。しかし、使うテレビによっては、テレビ画面に色ムラが生じることがあります。

テレビ画面に色ムラがおきたら…

いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

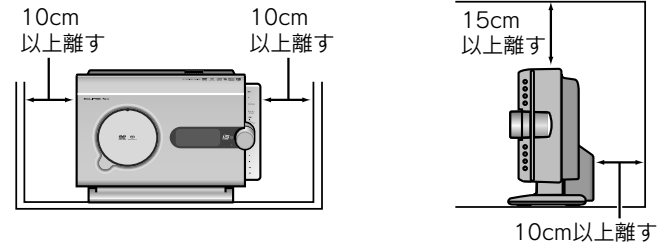
それでも色ムラが残るときは…

スピーカをさらにテレビから離してください。

近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカとの相互作用により、テレビ画面に色ムラが生じることがありますので、設置にご注意ください。

■ 本体を配置するとき

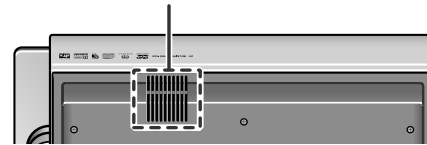
本体の天面や背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、本体の間は次のように離して置いてください。



空冷ファンについて…

本体の背面には、放熱をよくするために空冷ファンを内蔵しています。空冷ファンは、電源を入れると自動的に回転するようになっています。ファンの部分を物でふさがないようにしてください。

空冷ファン



高温部への接触について…

使用中は、内部から発生する熱により、表面が熱くなります。長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

お知らせ

- 5℃～35℃の場所でお使いください。
- 移動させるときは、ディスクを取り出してください。ディスクが破損する原因となることがあります。
- テレビ・パソコンなどの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。
- この製品の近くで携帯電話を使用すると、この製品が誤作動することがあります。また、携帯電話やこの製品に雑音が入ることがあります。

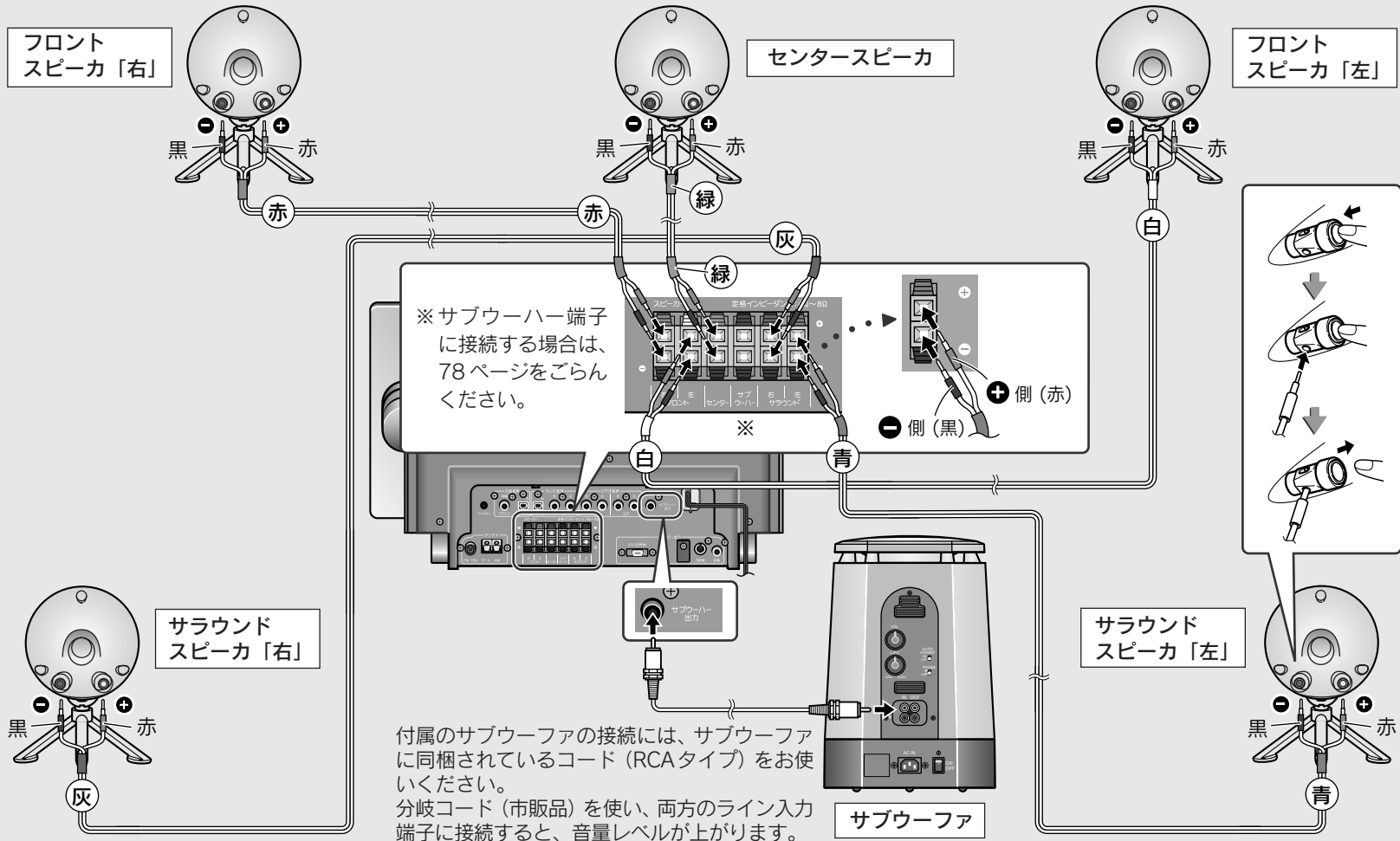
2章 スピーカを接続する

準備

スピーカーを接続する

接続するときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。

本体のスピーカー端子、スピーカコードのチューブはそれぞれ色分けをしています。同じ色どうして本体とスピーカコードを接続します。スピーカの設置方法については、18ページをごらんください。

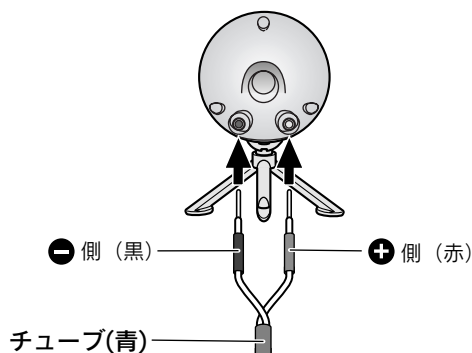


■ スピーカコードの接続方法

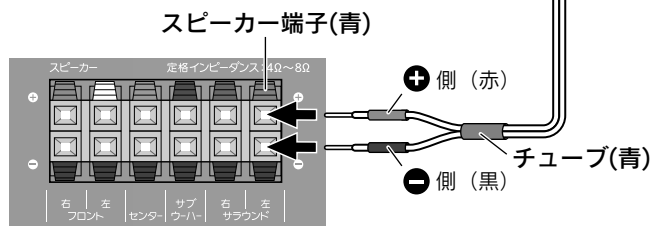
接続するときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
 スピーカ側を先に接続し、そのあと本体側を接続してください。
 接続の際には、スピーカコードの先端が隣の端子にふれることのないよう、
 確実に固定してください。(⊕と⊖がふれるとショートします。)
 サブウーハー端子に接続する場合は、78ページをごらんください。

例) サラウンドスピーカ「左」を接続するとき

- 1 本体側のスピーカー端子と同じ色のチューブがついているスピーカコードをスピーカにつなぐ。

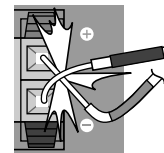


- 2 本体側のスピーカー端子の色 (青) を確認してスピーカコードのもう一方をつなぐ。



ご注意

- スピーカコードをショートさせないでください。
 電源が入っているときに、誤ってスピーカコードをショートさせてしまうと、保護回路が働いて電源が切れます。このときは、スピーカコードが正しく接続されていることを確かめたあと、再び電源を入れてください。
- スピーカコードの⊕ (プラス) と⊖ (マイナス)、左右をまちがえないように接続してください。
- センタースピーカやサラウンドスピーカを接続しないときは、スピーカサイズの設定を「C-NO」、「S-NO」に切り換えてください。(P.63)
 接続していないときに、センタースピーカやサラウンドスピーカから音が出るように設定していると、保護回路が働いて電源が切れることがあります。



お知らせ

スピーカの上に座ったり、立ったりしないでください。
 けがの原因となることがあります。

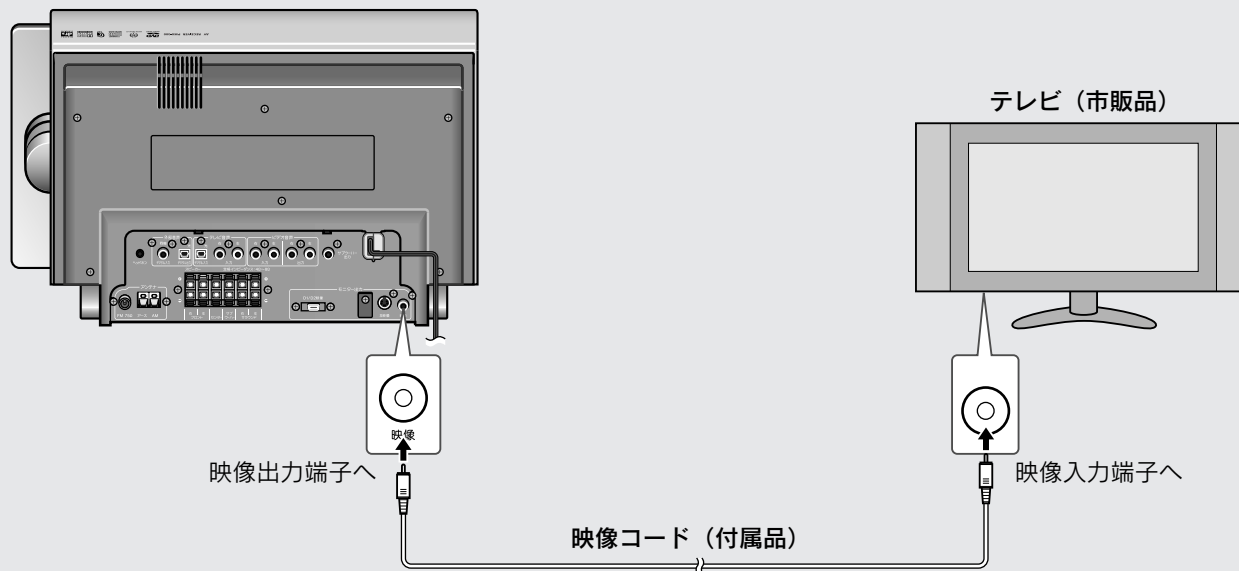
2章 テレビを接続する

準備

テレビを接続する

接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。

テレビを付属の映像コードで接続すると映像をお楽しみいただけます。



お知らせ.....
本機とテレビの間には、他の機器を接続しないでください。
ビデオなどを経由して接続すると、画像が乱れることがあります。

高画質で楽しむには

映像出力端子の他に、S映像出力端子・D1/D2映像出力端子を備えています。
市販の接続コードでテレビに接続すると、より高画質な映像をお楽しみいただけます。

P.23

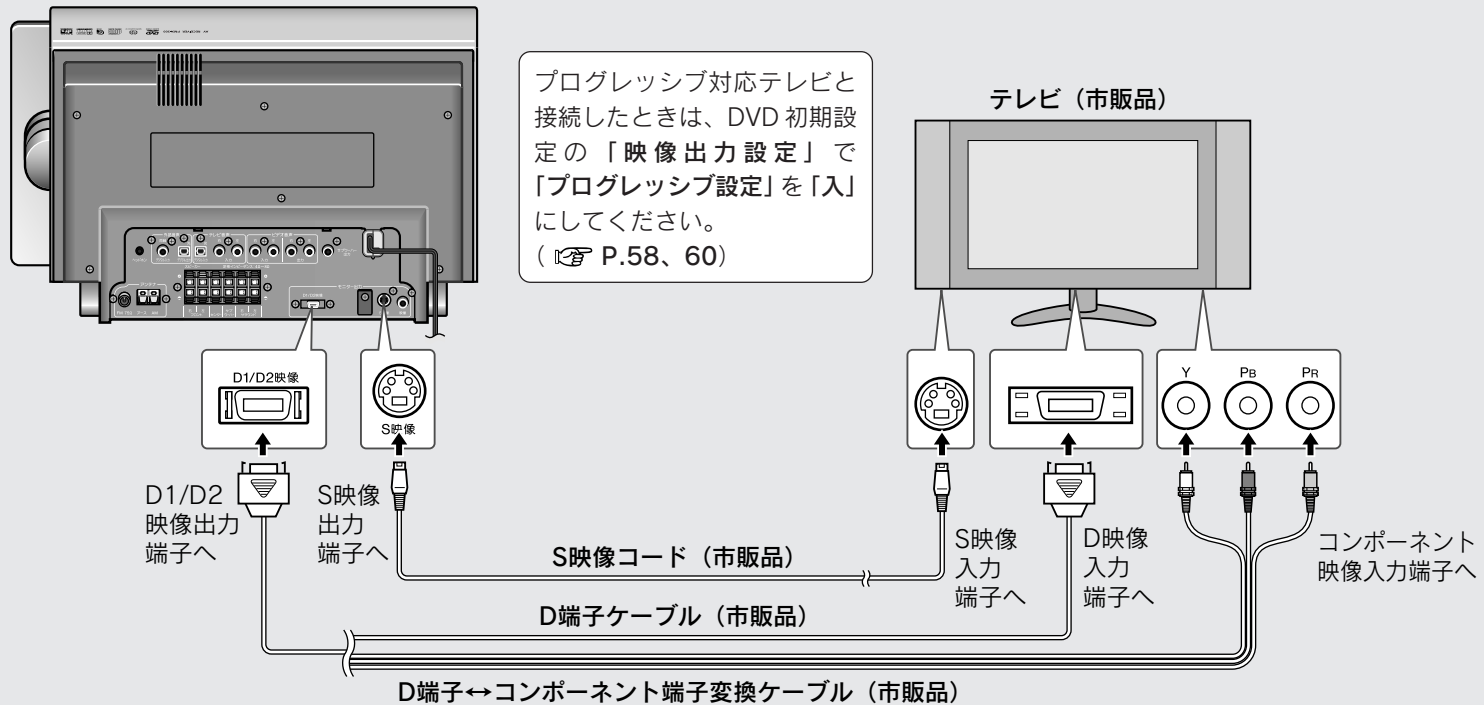
テレビの音声を聞くには

音声コード (市販品) を接続すると、テレビの音声を本機のスピーカーで聞くことができます。

P.74

接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。

お手持ちのテレビにS端子・D端子・コンポーネント端子がある場合は、市販の接続コードで接続すると高画質な映像をお楽しみいただけます。



お知らせ

- テレビの入力は、接続した端子にあわせてテレビ側で切り換えてください。
- テレビにより、D映像入力端子の表示が異なることがあります。本機は、D1/D2/D3/D4映像入力端子に接続できますが、機能の一部が制限されることがあります。くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。
- 映像コード、S映像コード、D端子ケーブルは、いずれか1つを接続することで映像を楽しむことができます。
- DVDに対応していないハイビジョン専用のコンポーネント映像入力(Y/PB/PR)には接続しないでください。(映像方式が異なりますので、映像が乱れたり、映らないことがあります。)

準備

テレビを接続する

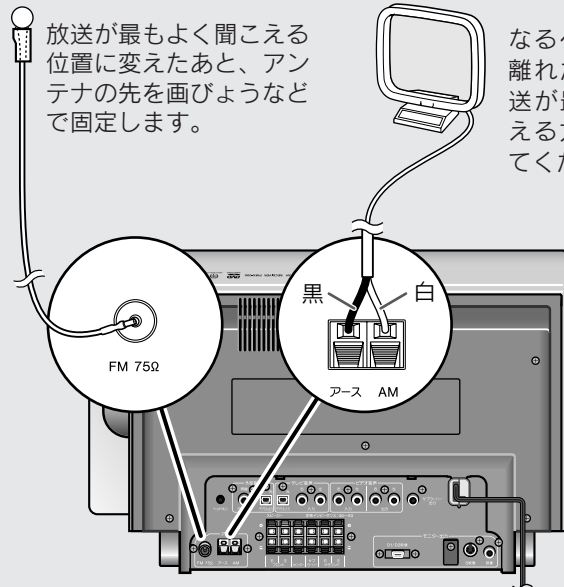
2章 アンテナを接続する

準備

アンテナを接続する・リモコンに乾電池を入れる

FM用アンテナ

放送が最もよく聞こえる位置に変えたあと、アンテナの先を画びょうなどで固定します。

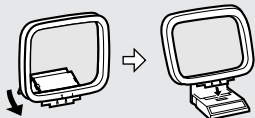


AM用ループアンテナ

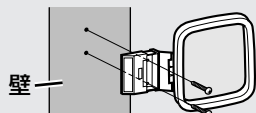
なるべく本体から離れた位置で、放送が最もよく聞こえる方向に調整してください。

AM用ループアンテナの取り付けかた：

組み立てかた



壁に取り付けるとき



ネジは付属していません。

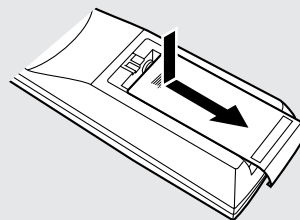
お知らせ

- FM・AM用アンテナは、本体や電源コード、スピーカコードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。
- 付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを設置することもできます。(P.83)

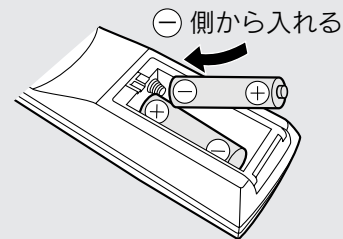
リモコンに乾電池を入れる

AV RECEIVER PMX-300

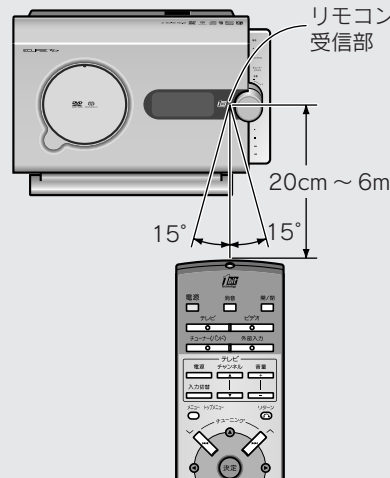
① 電池ブタを開ける。



② 単4乾電池を2本入れる。



リモコンの使える範囲 (目安)



リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年です。リモコン受信部に近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

- リモコン受信部に強い光が当たる場所では使用しないでください。誤動作の原因となります。
- リモコン受信部や送信部にシールなどを貼ったり、本体とリモコンの間には障害物などを置かないでください。リモコンの操作ができなくなることがあります。

ご注意

- 乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕、⊖をまちがえると、故障の原因となります。
- リモコンには充電電池（ニカド電池など）を使用しないでください。充電電池では正しく動作しません。

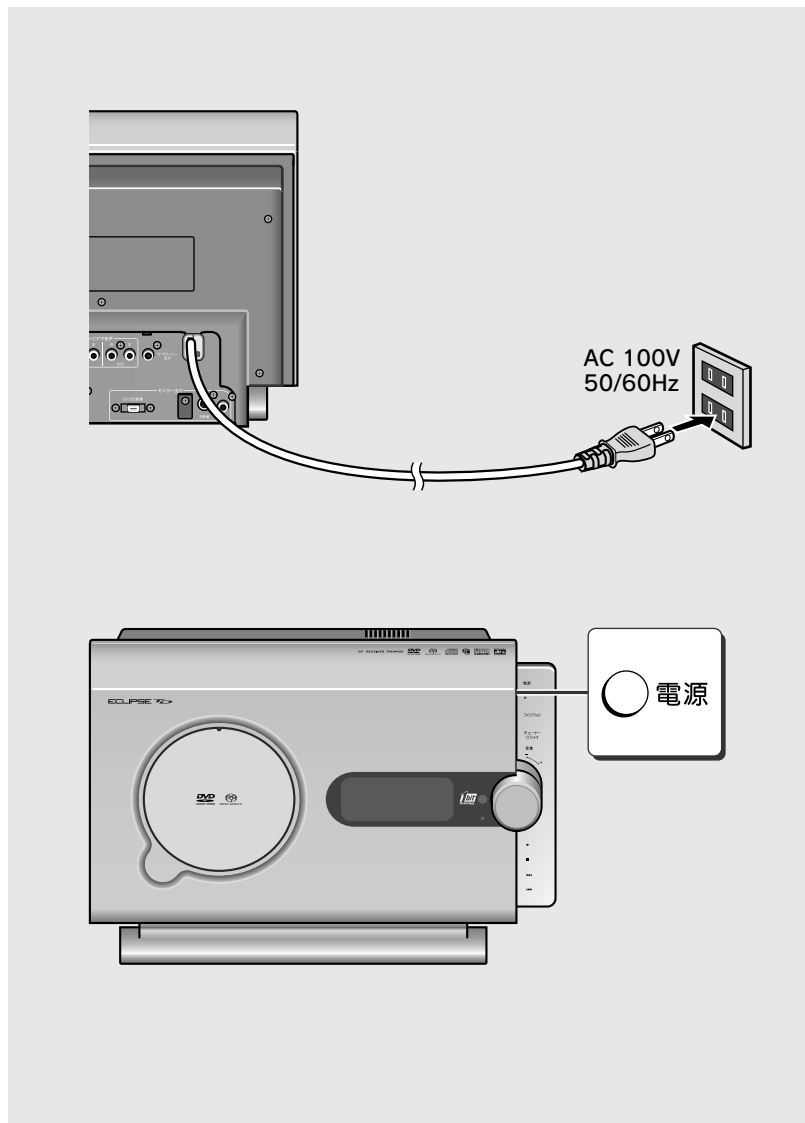
電源コードを接続して、電源を入れる

AV RECEIVER PMX-300

2章

準備

電源コードを接続して、電源を入れる



■ 電源コードを接続する

各機器の接続が終わったら、電源コードを家庭用電源コンセントに差し込んでください。

節電のために

旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。
(長時間電源コードを抜いていると、登録した内容は消え、各種の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)

電源コードを抜くときは


電源を切ってから、プラグを持って抜いてください。

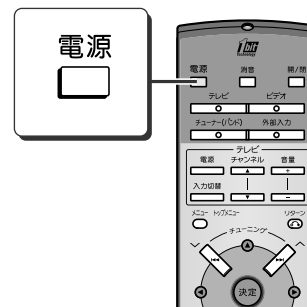
■ 電源を入れる

○電源を押す。

電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか確認してください。

電源を切るときは、もう一度、○電源を押してください。

- 電源を切ったあとの数秒は、すぐに電源が入りません。
- リモコンの  を押しても操作できます。

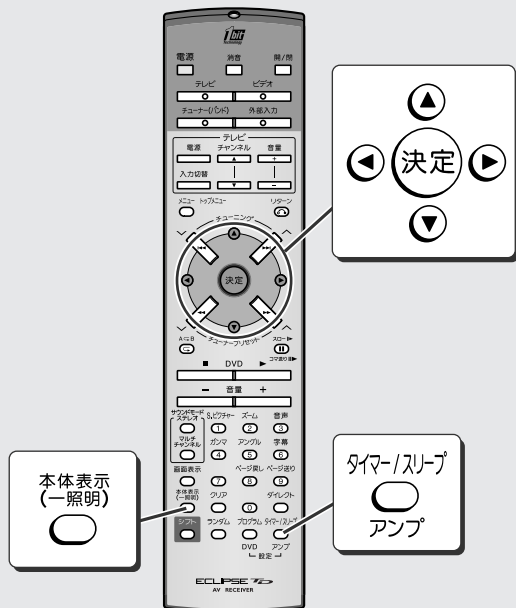


2章 時計を合わせる

準備

時計を合わせる

時刻を合わせると、時計としてはもちろん、
タイマー再生ができるようになります。



(例) 午前9時30分に合わせるとき

- 1** 電源を入れて (P.25) ...
タイマー/スリープ
アンブ を押す。

- 2** 10秒以内に... ▲または▼を押して、
“CLOCK ADJUST” を選ぶ。

CLOCK
ADJUST

- 3** 10秒以内に... 決定を押す。

CLOCK
AM 0:00

- 4** ◀または▶を押して、
“時” を合わせ、決定を押す。

CLOCK
AM 9:00

「時」を合わせる

 - 同じようにして、“分”を設定します。

CLOCK
AM 9:30

「分」を合わせる

 - 時刻は12時間制で表示されます。
午前 (AM) / 午後 (PM) の表示に注意してください。
AM 0:00 → 夜の12時 PM 0:00 → 昼の12時
 - 時計が動作し始めて約2秒たつと、もとの表示に戻ります。

時刻を確認するには
電源が切れているときは...

本体表示 (一照明)
◯を押す。

時刻が表示されて、約5秒たつと消えます。

電源が入っているときは...

- (1) ◯を押す。
- (2) 10秒以内に、
▲または▼を押して、
時刻を表示させる。
約10秒たつと、もとの表示に戻ります。

時刻を修正するには

左の操作①からやり直してください。
このとき、操作②では、
“ADJUST” のかわりに時刻が表示されます。

お知らせ
電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計が止まります。
時計を合わせ直してください。

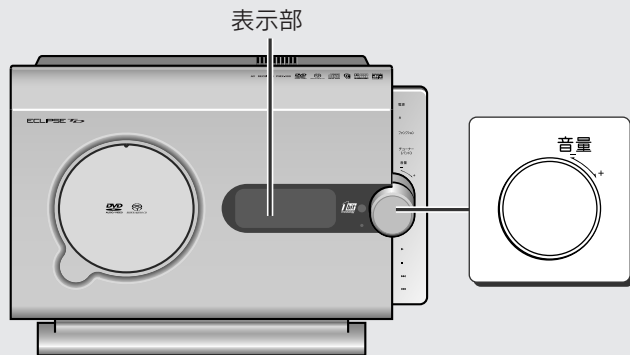
音量を調整したり、表示部の明るさを変える

AV RECEIVER PMX-300

2章

準備

音量を調整したり、表示部の明るさを変える



音量を調整する

音量を回す。

VOLUME 23

音量0 (小) ~ 40 (大)

右に回すと、音量は大きくなり、
左に回すと、音量は小さくなります。

リモコンのときは、音量+ を押すと、音量は大きくなり、
音量- を押すと、音量は小さくなります。

一時的に音を消す

消音 を押す。

MUTE

- もう一度押すと、解除できます。
- 音量を調整しても解除できます。

表示部の明るさを変える

電源を入れて… 本体表示 (一照明) を3秒以上押す。

押すたびに、切り換わります。

DIM ON 暗い

↓

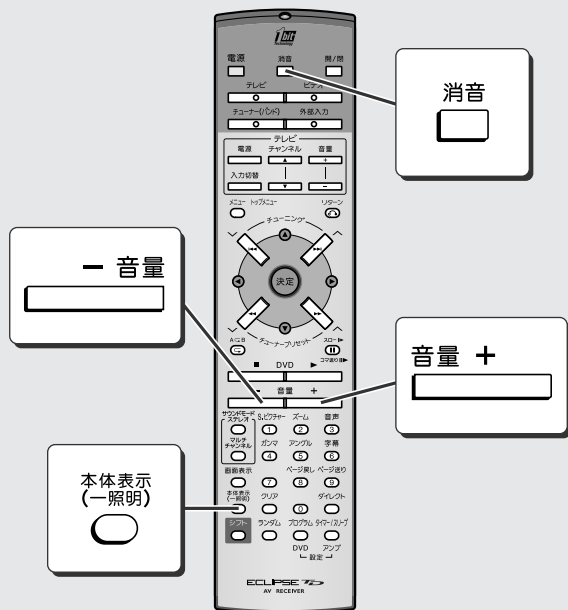
DIM AUTO

↓

DIM OFF 明るい

DVDビデオの再生を始めると約5秒後に表示が暗くなり、停止するともとの明るさに戻ります。DVDビデオ以外のときは、明るさは変わりません。

本体右部の青色照明は “DIM ON” または “DIM AUTO” で表示部が暗くなると、照明が消えます。

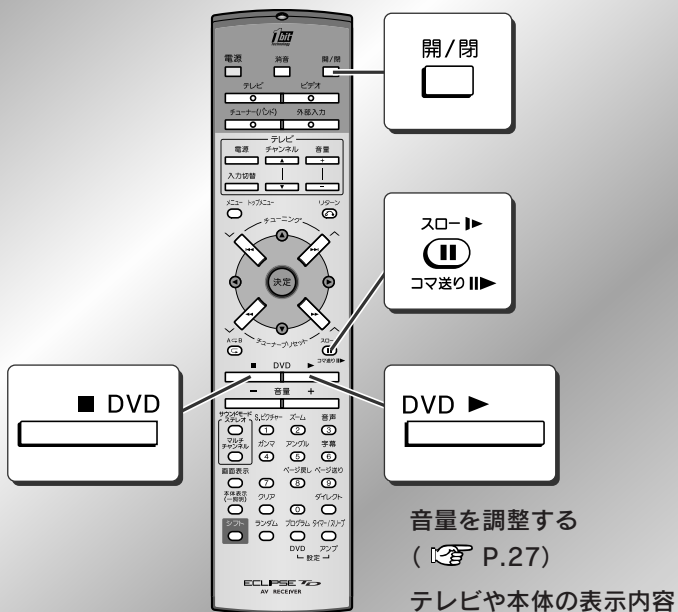
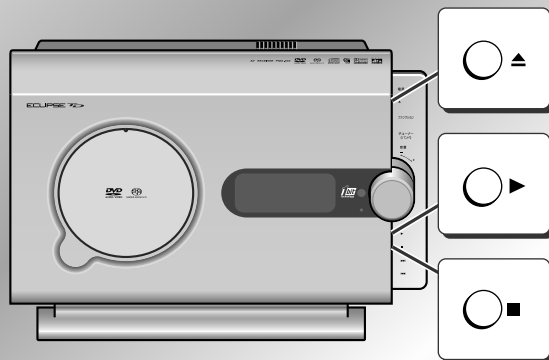


3章

DVD を再生する

DVD
再生

DVDを再生する

音量を調整する
(P.27)テレビや本体の表示内容を切り換える
(P.50)

- ご使用のテレビがワイドテレビのときは、映像出力設定を [16:9] に変更してください。(P.59)
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を「ビデオ1・ビデオ2」などに設定してください。

1

電源を入れたあと…

■ DVD
[] を押して、
入力を「DVD」にする。

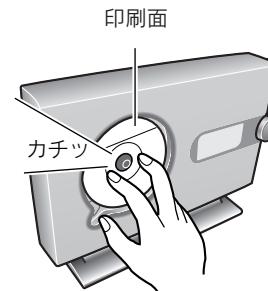
本体の○■を押しても、操作することができます。



2

開/閉
[] を押して、スライド
ドアを開ける。

スライドドアは、開いたまま約2分たつと、自動的に閉まります。



3

DVD を入れる。

ディスクを傷つけないように、確実に装着してください。

4

開/閉
[] を押して、スライド
ドアを閉じる。

オートプレイのディスクを入れたときは、再生が始まります。












5

操作4で再生が始まらないときは…

DVD [] を押して、再生を始める。

スライドドアが開いているときに [] を押すと、スライドドアが閉じて再生が始まります。

本体の○▲や○▶を押しても、操作することができます。

DVDの再生中にできる操作			
動作	リモコン	本体	操作
停止する	■ DVD 		1回押すと、「RESUME」が表示されます。もう1回押すと、停止状態になります。 「RESUME」が表示されているときに、  (リモコン) または  (本体) を押すと、停止した位置から再生されます。 (つづき再生:  P.31)
一時停止する (静止)	スロー▶  コマ送り▶▶		再生中に押す。 一時停止中に  (リモコン) または  (本体) を押すと、止めた位置から再生します。

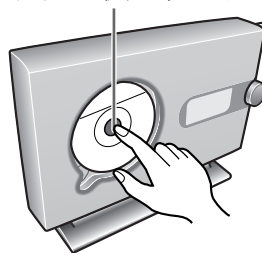
DVDの取り出しかた

1 DVDを停止させたあと…

 を押す。

2 中央のディスク取りはずしボタンを押して、DVDを取り出す。

ディスク取りはずしボタン





3 を押して、スライドドアを閉じる。


スライドドアが開いているときに電源を切ると、スライドドアは閉じます。

ご注意 ……
スライドドアは、電動で開閉しますので手で無理に止めたり、動かしたりしないでください。故障の原因となります。また、開閉中に指などはさまないようにしてください。

お知らせ

- DVDによっては、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりの動作をしないことがあります。ディスクのジャケットなどもごらんください。
- 操作中、テレビ画面に「」マークが表示されることがあります。これは、ディスク側で操作を禁止していることを表します。
- DVD-R・DVD-RWの再生は、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。そのときは、DVD-R・DVD-RWを録音する機器の録音/記録スピードや、使用するディスクを換えてみると再生できることがあります。くわしくは、録音する機器の取扱説明書をごらんください。
- 電源を入れたときや、他の入力から「DVD」に切り換えたときは、ディスクの初期設定を行いますので、数秒間は操作を受け付けません。
- ディスクの内容によっては、音量の上げすぎで音とびをおこすことがあります。そのときは、音量を下げてお聞きください。
- ディスクを2枚以上入れないでください。ディスクを破損する原因となります。

次のような場合、テレビ画面にエラーメッセージが表示され、再生されません。( P.82)

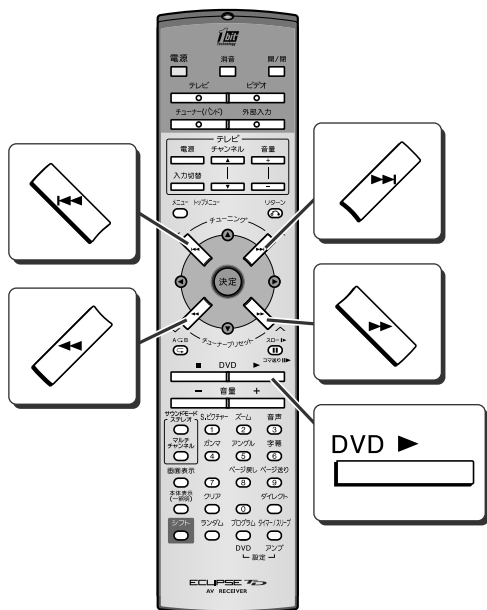
- キズがあるディスクを使用したとき
- 再生できないディスクを使用したとき
- リージョン番号の違うディスクを使用したとき
- 視聴制限(※)により、制限されたディスクを使用したとき
(※) DVDの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための制限をしているものがあります。
( P.61)

3章 見たい場面をさがす



再生しているチャプターをとばして、次のチャプターを再生したり、再生しているところを確認しながら、早送り／早戻しすることができます。

DVD
再生





見たい場面をさがす





■ 頭出しをする (スキップ)

再生中に…  または  を押す。

1



-  を押すと、次のチャプターが再生されます。
-  を押すと、チャプターの頭から再生し、続けて押すと前のチャプターが再生されます。
- 本体の  または  を押しても、操作することができます。

■ 早送り / 早戻しをする (サーチ)

再生中に…  または  を押す。



1

例)





 を押したとき 


サーチ速度

2

 または  をくり返し押して、サーチ速度を選ぶ。

1 (約2倍速) → 2 (約8倍速) → 3 (約32倍速)

-  で進み、 で戻ります。
- 本体の  または  を2秒以上押しても、操作することができます。

通常の再生に戻すには、 を押す。

お知らせ

- ディスクによっては、スキップが禁止されているものがあります。また、チャプター表示をしないものがあります。
- タイトル(グループ)をまったくスキップはできません。(ディスクによっては、できるものもあります。)
- DVDオーディオでは、チャプターかわりにトラックがスキップされます。

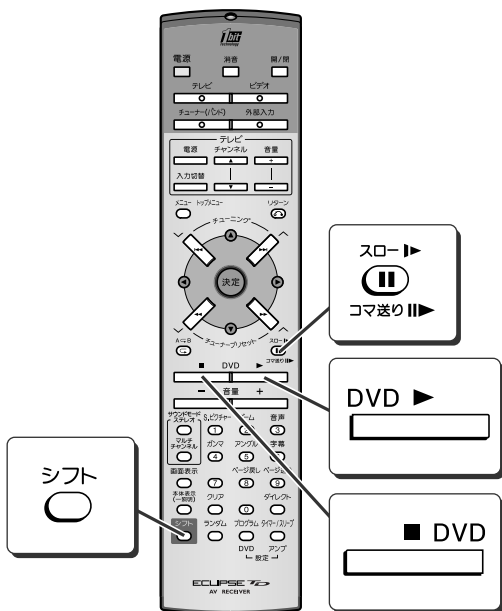
お知らせ

- ディスクによっては、サーチが禁止されているものがあります。
- タイトル(グループ)をまったくサーチはできません。
- 1 (約2倍速) で早送りサーチ時のみ音声と字幕が再生されます。
- ディスクや再生しているシーンによっては、サーチ速度が本書に記載の速度と合わないことがあります。

見たい場面を静止画で見たり、スローで見る

AV RECEIVER PMX-300

画像を静止することができます。
静止させたときは、画面をコマ送りすることができます。
また、再生する速度を遅くさせて、スローで見ることもできます。



■ 静止画/コマ送りで見ると見る (静止画再生/コマ送り再生)

1 再生中に… **スロー** **コマ送り** を押す。
静止画再生になります。

2 コマ送りで見ると見るには
静止画再生中に… **スロー** **コマ送り** を押す。
押すたびに、コマ送りされます。

■ スローモーションで見ると見る (スロー再生)

1 再生中に… **シフト** **スロー** を押したまま、**コマ送り** を押す。

2 **シフト** **スロー** を押したまま、**コマ送り** をくり返し押して、
再生速度を選ぶ。
1 (約 1/2 倍速) → 2 (約 1/8 倍速) → 3 (約 1/16 倍速)

■ 停止した位置から続けて再生する (つづき再生)

1 再生中に… **DVD** を押す。
停止した位置を記憶します。

2 **DVD** を押す。
停止した位置から再生されます。

通常の再生に戻すには

DVD を押す。

お知らせ

- ディスクによっては、コマ送り再生が禁止されているものがあります。
- DVD オーディオでは、コマ送り再生できません。

通常の再生に戻すには

DVD を押す。

お知らせ

- ディスクによっては、スロー再生が禁止されているものがあります。
- DVD オーディオでは、スロー再生できません。

解除するには

本体表示部に「RESUME」と表示しているときに、**DVD** を押す。

お知らせ

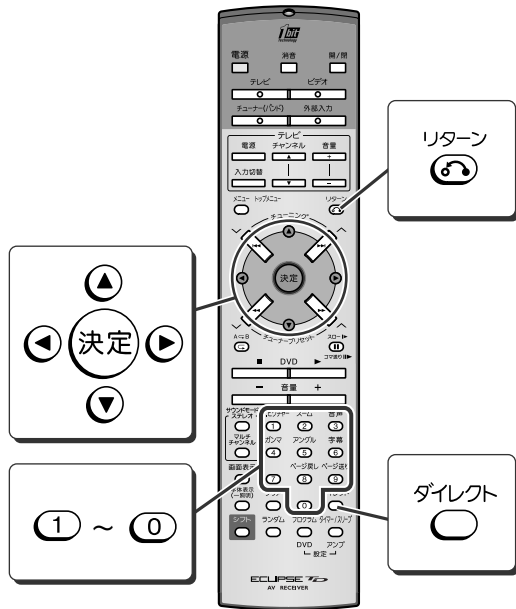
ディスクによっては、つづき再生ができないものがあります。また、停止位置の前から再生されることもあります。

3章 見たい場面を選んで再生する

好きなタイトルやチャプターを選んで再生したり、時間を指定して再生することができます。

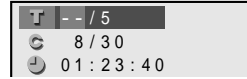
DVD
再生

見たい場面を選んで再生する

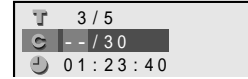


■ タイトルやチャプターを選んで再生する (ダイレクト再生)

1 タイトルを選ぶ
再生中に... **ダイレクト** を押す。



チャプターを選ぶ
再生中に... **ダイレクト** を2回押す。



2 10秒以内に...
① ~ ⑩ で入力し、**決定** を押す。

- 数字をまちがえたときは、再度入力してください。
- 途中でやめるときは、**リターン** を押します。
- **① ~ ⑩** のかわりに、**▲** または **▼** を押しても選ぶことができます。

■ 時間を指定して再生する (タイムサーチ)

1 再生中に... **ダイレクト** を3回押す。



2 10秒以内に...
① ~ ⑩ で入力し、**決定** を押す。

- 1時間23分40秒を指定するには、「012340」と入力してください。
- 数字をまちがえたときは、**① ~ ⑩** で再度入力してください。
- 途中でやめるときは、**リターン** を押します。
- **① ~ ⑩** のかわりに、**▲** または **▼** を押しても入力することができます。そのときは、**◀** または **▶** を押して時間、分、秒を切り換えます。
- DVDビデオでは、タイトル経過時間を指定します。
DVDオーディオでは、トラック経過時間を指定します。

指定のしかた

例) 28曲目

② **⑧** → **決定**

お知らせ

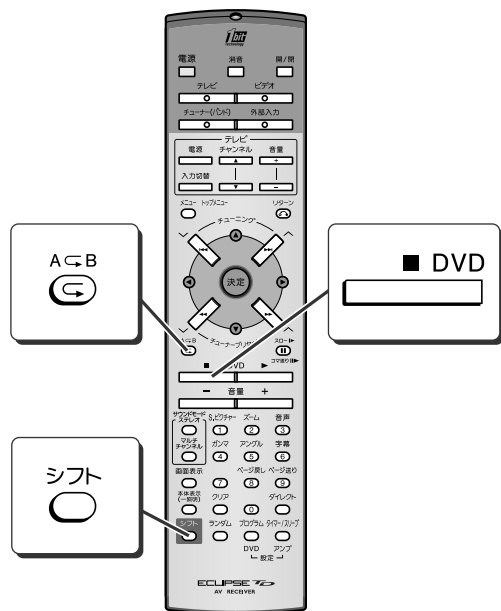
- ディスクによっては、ダイレクト再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。
- プログラム再生中は、この操作はできません。
- DVDオーディオでは、タイトルのかわりにグループが、チャプターのかわりにトラックがダイレクト再生されます。

お知らせ

- タイトルをまたぐタイムサーチはできません。
- DVDオーディオでは、トラックをまたぐタイムサーチはできません。
- ディスクによっては、指定した時間からの再生ができないことがあります。
- 特定の時間だけの再生ができないディスクがあります。
- プログラム再生中は、この操作はできません。

くり返して再生する

タイトルやチャプターなどを選んで、くり返し再生することができます。また、指定した位置間をくり返して再生することもできます。




■ タイトルやチャプターをくり返して再生する(リピート再生)


1 再生中に…  を押す。 

2  をくり返し押して、再生モードを選ぶ。

チャプターリピート再生 タイトルリピート再生 通常再生

「」 → 「」 → 「消灯」

- DVD オーディオでは、**T** (トラック)、**G** (グループ)、消灯 (通常再生) の順に切り換わります。
- DVD-RW (VR モード) では、**T** (トラック)、 (ディスク)、消灯 (通常再生) の順に切り換わります。

通常の再生に戻すには、 を押して、通常再生を選ぶ。



■ 指定した位置間をくり返して再生する (A-Bリピート再生)

1 再生中に…   を押したまま、 を押す。 

くり返したいはじめの位置(A)が登録されます。


2 もう一度…  を押したまま、 を押す。 

くり返したい終わりの位置(B)が登録され、A-B間がくり返して再生されます。

通常の再生に戻すには、もう一度  を押したまま、 を押す。

リピート再生は、止めるまで続きます。
ごらんになったあとは、必ず停止してください。


お知らせ

- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- プログラム再生中は、リピート再生はできません。 ■ DVD
- リピート再生中に  を押すと、リピート再生は解除されます。

DVD再生

くり返して再生する

お知らせ

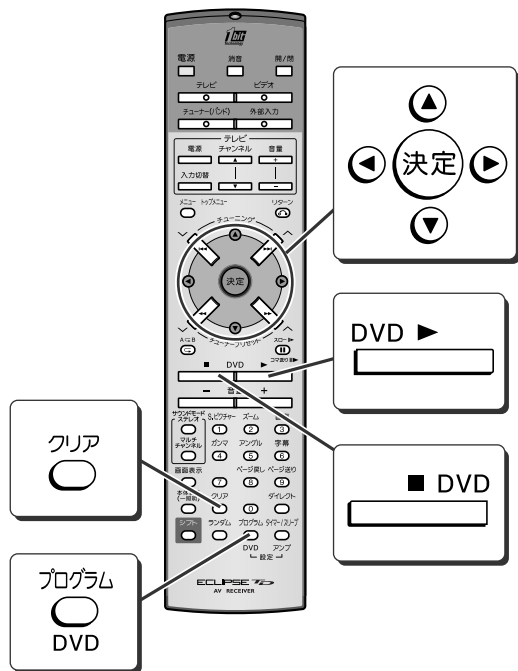
- ディスクによっては、A-Bリピート再生が禁止されているものがあります。
- A-Bリピート再生は、同じタイトル(トラック)の中で行ってください。
- 終わりの位置(B)を設定する前にタイトル(トラック)が終了した場合は、そこが終わりの位置(B)になります。
- プログラム再生中は、A-Bリピート再生はできません。 ■ DVD
- A-Bリピート再生中に  を押すと、A-Bリピート再生は解除されます。

3章 好きなチャプター順で再生する

同じタイトル内の好きなチャプター順で再生することができます。最大24件まで登録することができます。(プログラム再生)タイトルは、プログラム再生できません。

DVD再生

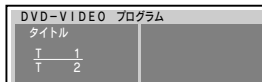
好きなチャプター順で再生する



1 ディスクを入れたあと… **DVD** を押す。

2 停止中に… **プログラム/DVD** を押す。

プログラム画面が表示されます。



3 ▲または▼を押して、登録するタイトル番号を選び、**決定**を押す。

チャプター選択画面が表示されます。



▲または▼を押して、再生したいチャプター番号を選び、**決定**を押す。

4

- 確定エリアにチャプターが登録されます。
- 続けて別のチャプター番号を登録するときは、くり返して操作します。
- チャプター番号をまちがえたときは、▶を押して、カーソルを確定エリアに移動したあと▲または▼を押して、取り消したい番号を選び、**クリア**を押します。取り消したあと、◀を押すと、カーソルが選択エリアに戻ります。



5 **DVD ▶** を押す。

登録した順番で再生したあとと停止します。ディスクを取り出すまで、登録内容を覚えていきます。

登録内容を追加するには操作**2**と**4**をくり返す。

前に選んでいる番号のあとに、追加されます。

登録内容を全て取り消すには

- (1) 停止中に… **プログラム/DVD** を押す。
- (2) ◀を押してカーソルを確定エリアに移動する。
- (3) **クリア**を4秒以上押す。

登録を途中で止めるには

プログラム/DVD を押す。

同じディスクでもう一度プログラム再生するには

プログラム/DVD を押したあと、**DVD ▶** を押す。

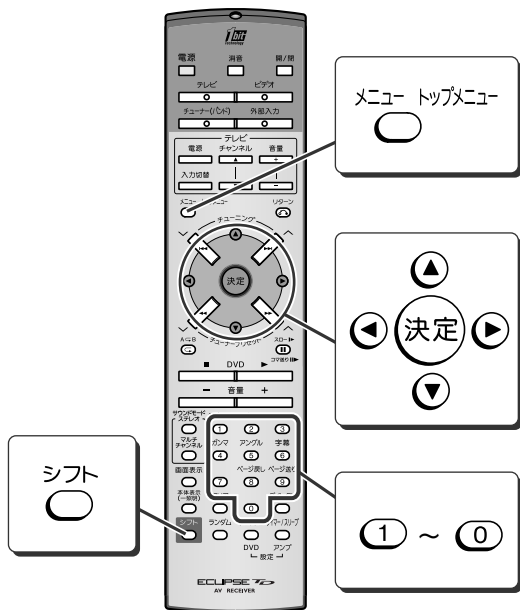
停止すると、プログラム再生は解除されます。

お知らせ

- 再生中や一時停止中に登録することはできません。
- タイトルやチャプターが記録されていないディスクやプログラム再生が禁止されているディスクでは、プログラム再生することはできません。
- 別のタイトルのチャプターを同時に登録することはできません。
- DVDオーディオでは、タイトルのかわりにグループを、チャプターのかわりにトラックを選んでプログラム再生してください。

ディスクのメニューから操作する

ディスクのトップメニューからタイトルを選んだり、メニューから字幕や音声言語、音声出力などを変更することができます。(DVDにトップメニューが記録されていないときは、トップメニューは表示されません。)



■ ディスクのトップメニューからタイトルを選ぶ

1 停止中や再生中に…
シフト
○ を押したまま、
メニュー トップメニュー
○ を押す。

トップメニュー画面の例

1 ドラマ	2 アクション
3 SF	4 コメディ

2 ▲、▼、◀ または ▶ を押してタイトルを選び、
決定 を押す。

- 選んだタイトルが再生されます。
- ディスクによっては、①～⑩を押してもタイトルを選ぶことができます。

お知らせ ……………

- 左記の手順は、基本的な操作手順です。DVDによっては手順が異なりますので、DVDの説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
- DVD オーディオでは、タイトルのかわりにグループを選んで再生してください。
- プログラム再生中は、ディスクのトップメニューから設定することはできません。

DVD
再生

ディスクのメニューから操作する

■ ディスクのメニューから字幕や音声などを変更する

1 停止中や再生中に…
メニュー トップメニュー
○ を押す。

メニュー画面の例

メニュー	
1	音声
2	字幕

2 ▲、▼、◀ または ▶ を押してメニューを選び、
決定 を押す。

ディスクによっては、①～⑩を押してもメニューを選ぶことができます。

お知らせ ……………

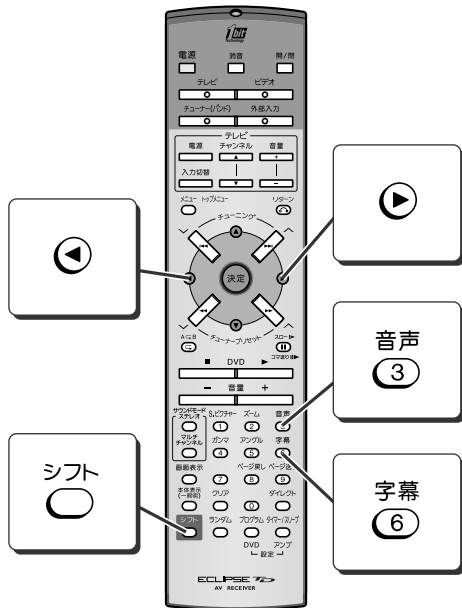
- 左記の手順は、基本的な操作手順です。DVDによっては手順が異なりますので、DVDの説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
- プログラム再生中は、ディスクのメニューから設定することはできません。

3章 字幕や音声を変更する

DVD
再生

字幕や音声を変更する

字幕言語や音声言語を変更しても、電源を切ったり、ディスクを入れ換えると、初期設定で設定している字幕言語や音声言語になります。いつも希望する字幕言語や音声言語にしたいときは、初期設定画面で希望する言語を設定してください。
(P.58)



■ 字幕言語を変更する、字幕を消す

1 再生中に… **シフト** を押したまま、**字幕** を押す。

シフト を押したまま、**字幕** を押して

字幕言語を選ぶ。



2

- 押すたびに、DVDに含まれている字幕言語が切り換わります。
(例) 「英語」→「日本語」→…→「スペイン語」
- 字幕を消すには、字幕言語が表示されているときに、 または を押して、「切」を選びます。

お知らせ

- DVDによっては、字幕言語の変更ができないものがあります。
- 字幕が記録されていないディスクのときは、「XX」が表示されます。
- 選んだ字幕言語に切り換わるまで、少し時間がかかることがあります。

■ 音声言語（音声出力）を変更する

1 再生中に… **シフト** を押したまま、**音声** を押す。

シフト を押したまま、**音声** を押して

音声言語（音声出力）を選ぶ。



2 押すたびに、音声言語（音声出力）が切り換わります。
(例)

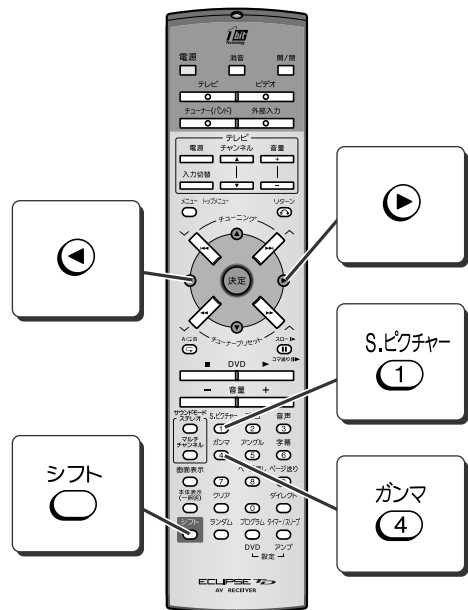
- 1 DD 5.1ch** 1: オリジナル<英語>
(ドルビーデジタル5.1ch サラウンド)
- 2 dts** 2: オリジナル<英語>
(DTS 5.1ch サラウンド)
- 3 DD 2ch** 3: 日本語
(ドルビーデジタル2ch)

お知らせ

- DVDによっては、音声言語の変更ができないものがあります。
- 音声言語や音声方法の種類については、ディスクの説明書をご覧ください。
- DVD オーディオを再生中に音声言語（音声出力）を切り換えると、再生しているトラックの先頭に戻ることがあります。その場合、切り換えに少し時間がかかります。
- CD を再生中に音声言語（音声出力）を切り換えると、「L+R」、「L」、「R」と切り換わります。

画像の明るさや画質を調整する

再生中に画像が暗くて、見づらい部分を明るく補正したり、細かな部分や輪郭を強調して、鮮明な画質にすることができます。



■ 画像を明るくする (ガンマの調整)

- 再生中に… **シフト** を押したまま、**ガンマ** を押して「入」を選ぶ。
押すたびに「入」、「切」が切り換わります。
- 10秒以内に… または を押して、レベルを設定する。

レベル	設定内容
切	通常の明るさ
入 <▶▶▶	少し明るく
入 <▶▶▶▶	より明るく
入 <▶▶▶▶▶	さらに明るく

もとの明るさに戻すには
操作 **1** で、「切」を選ぶ。

■ 画質を鮮明にする (スーパーピクチャーの調整)

- 再生中に… **シフト** を押したまま、**S.ピクチャー** を押して「入」を選ぶ。
押すたびに「入」、「切」が切り換わります。
- 10秒以内に… または を押して、レベルを設定する。

レベル	設定内容
切	通常の画質
入 <▶▶▶▶	少し鮮明に
入 <▶▶▶▶▶	より鮮明に
入 <▶▶▶▶▶▶	さらに鮮明に
入 <▶▶▶▶▶▶▶	やわらかな画質

もとの画質に戻すには
操作 **1** で、「切」を選ぶ。

DVD
再生

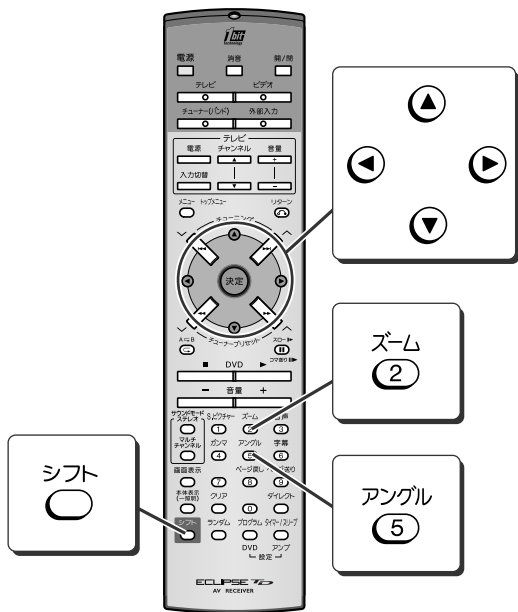
画像の明るさや画質を調整する

3章 画像のアンブルを変えたり、拡大表示する

DVDにアンブルが記録されていると、1つの場面をいろいろな角度で見ることができます。また、画像を拡大して表示させることもできます。

DVD再生

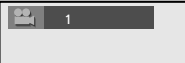
画像のアンブルを変えたり、拡大表示する



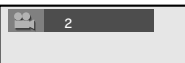
■ アンブルを変更する

1 再生中、本体表示部に“ANGLE”が表示されたら…

シフト を押したまま、^{アンブル} を押す。



2 ^{シフト} を押したまま、^{アンブル} を押してアンブル番号を選ぶ。

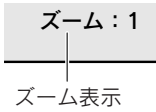


押すたびに、アンブルが切り換わります。

■ 画像を拡大表示する (ズーム)

1 一時停止中や再生中に…

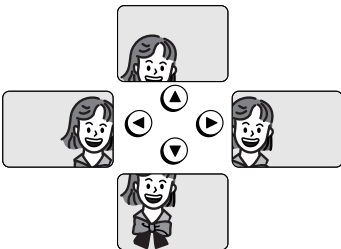
シフト を押したまま、^{ズーム} を押す。



押すたびに、「ズーム : 1 (約 1.2倍)」→「ズーム : 2 (約 1.5倍)」→「ズーム : 3 (約 2.0倍)」→「ズーム表示消灯 (解除)」の順に切り換わります。

2 拡大した部分を移動するにはズーム中に…

、、 または を押す。



お知らせ

- DVDによっては、アンブルの変更が禁止されているものがあります。
- アンブルが記録されていないディスクでは、アンブル番号は表示されません。「XX」が表示されます。
- ディスクによっては操作が異なりますので、ディスクの説明書をごらんください。

通常の画面に戻すには

操作 **1** で、「ズーム表示消灯 (解除)」を選ぶ。ズームを解除すると、拡大画面の移動も解除されます。

お知らせ

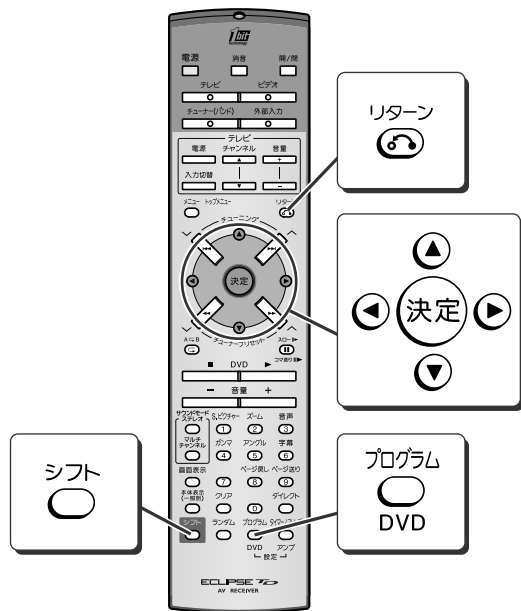
- ズーム切換のとき、画面が乱れることがあります。
- 字幕はズームされません。
- 画面の移動中にズーム表示が白色から赤色に変わると、それ以上移動できません。

DVD 再生設定画面からいろいろな設定を変える

AV RECEIVER PMX-300

3章

DVD再生設定画面からは、いろいろな項目の設定を同時に変更することができます。設定をまとめて変更するときなどに便利です。



- 1 再生中に… **シフト** を押したまま、 **プログラム** / **DVD** を押す。

- 2 **▲** または **▼** を押して項目を選び、 **決定** を押す。

スーパーピクチャー切換表示 ビットレート表示 (変更できません。)

- 3 **▲**、**▼**、**◀** または **▶** を押して設定を変更し、 **決定** を押す。
 例) ガンマ切換を選んだとき

指示に従い操作をくり返す。
(くり返す回数は、設定項目により異なります。)

続けて他の設定を変更するときは、操作2からくり返してください。

- 4 **リターン** **決定** を2回押す。
 設定が登録され、再生画面に戻ります。

お知らせ

- ディスクにより項目が選べないことがあります。
- 項目や設定を選んでいるときに、**リターン** **決定** を押すと、一つ前の画面に戻ります。
- DVDオーディオでは、タイトルかわりにグループが、チャプターかわりにトラックが表示されます。

ダイレクトボタンなどを使って直接設定項目を選ぶには、下記のボタンを押します。

設定項目	ボタン	参照ページ
タイトル番号	ダイレクト 1 (1回)	P.32
チャプター番号	ダイレクト 2 (2回)	P.32
再生経過時間	ダイレクト 3 (3回)	P.32
字幕言語	シフト 6 + 字幕	P.36
アンクル番号	シフト 5 + アンクル	P.38
音声言語	シフト 3 + 音声	P.36
ガンマ切換	シフト 4 + ガンマ	P.37
スーパーピクチャー切換	シフト 1 + S.ピクチャー	P.37

DVD 再生

DVD再生設定画面からいろいろな設定を変える

3章 DVD オーディオを再生するとき

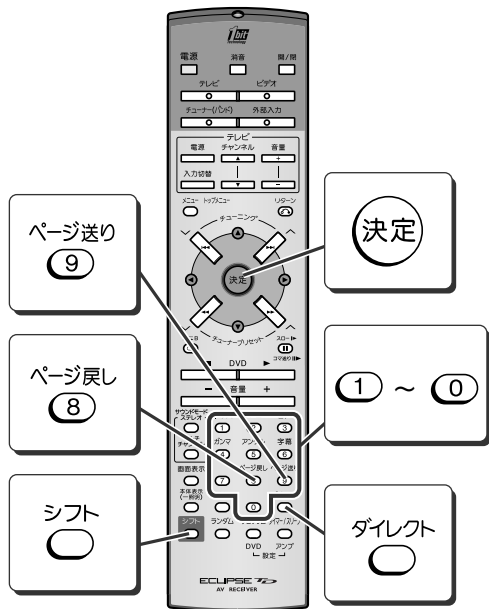
DVD
再生

DVD
オーディオを再生するとき

DVD オーディオには、ページめくりのできる静止画が収録されているものがあります。ディスクによっては好きな静止画を選んで見ることができます。

また、ボーナスグループと呼ばれるグループが収録されているものがあります。


ボーナスグループは、4ケタの暗証番号を入力することで再生できるものがあります。



■ DVD オーディオの静止画像を切り換える

- 1 DVD オーディオを再生する。(参照 P.28)
- 2 再生中に… ^{シフト} **○** を押したまま、 ^{ページ戻し} **(8)** または ^{ページ送り} **(9)** を押す。
押すたびに画像が切り換わります。

■ ボーナスグループを再生する

- 1 再生中に… ^{ダイレクト} **○** を押す。
- 2 ボーナスグループの番号を **(1) ~ (0)** で入力し、 **(決定)** を押す。

- 3 **(1) ~ (0)** で4ケタの暗証番号を入力し、 **(決定)** を押す。

お知らせ

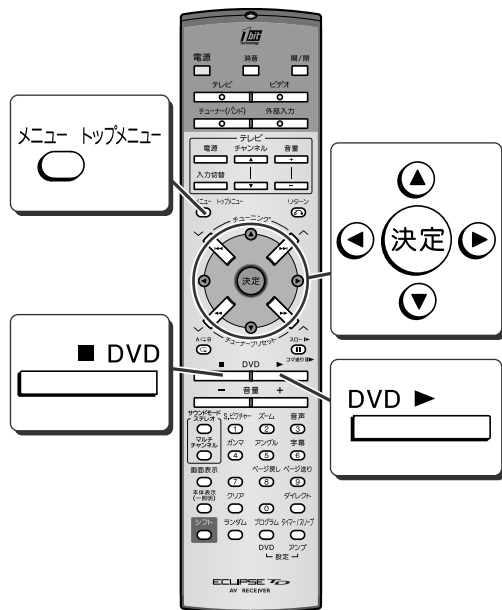
- 静止画の種類によっては、操作できないものもあります。
- DVD ビデオでは、マルチチャンネルモードやステレオモードを切り換えることにより、いろいろな音声を楽しむことができます。(参照 P.56、57) (DVD オーディオのオーディオパートでは、マルチチャンネルモードやステレオモードを切り換えることができません。)

お知らせ

- 4ケタの暗証番号については、ディスクのジャケットなどをごらんください。
- ディスクによっては、暗証番号を入力しなくても、ボーナスグループが再生されるものもあります。

DVD-RW (VRモード) を再生するとき

VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RWは、画面に表示されたタイトル映像を選んで再生することができます。



■ タイトル映像を選んで再生する（ディスクナビ）

1 DVD-RW(VRモード)を入れたあと… **■ DVD** を押す。
 ここで **DVD ▶** を押すと、1番目のタイトルから再生が始まります。

2 **メニュー トップメニュー** を押す。 タイトル名
 タイトル番号
 タイトル映像

ディスクナビ (ORG) 1 / 2		
No.	Date Time	Title
1	08/21 00:10	8/21 0:10A M 8CH SP
2	10/01 00:55	***IV*** * *10/01 *0:55
3	12/20 12/20 01:30A	

- ディスクナビ画面が表示されます。
- もう一度押すと、スタートアップ画面に戻ります。

3 **▲** または **▼** を押してタイトルを選び、**決定** を押す。

- 選んだタイトルの再生が始まります。
- タイトルが4つ以上ある場合は、**▼** を押すとページが切り換わります。

ディスクナビ画面を切り換える

プレイリストが作成されているディスクの場合は、「オリジナル (ORG)」のディスクナビ画面や「プレイリスト (PL)」のディスクナビ画面に切り換えることができます。

ディスクナビ画面を表示中に…

◀ または **▶** を押す。

押すたびに切り換わります。

「ORG」または「PL」

ディスクナビ (ORG)		
No.	Date	Title

お知らせ

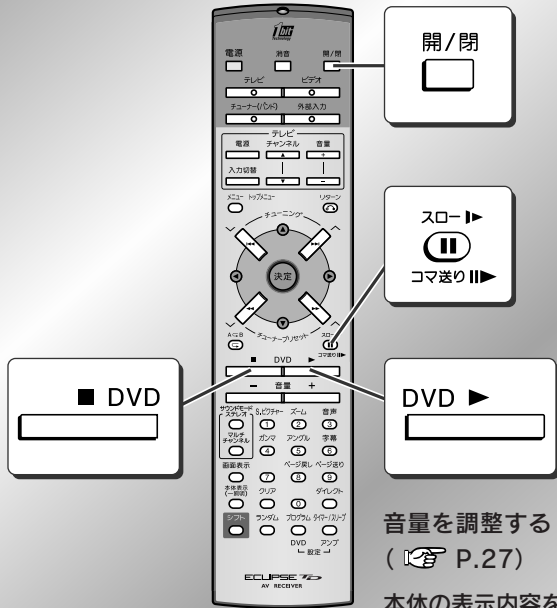
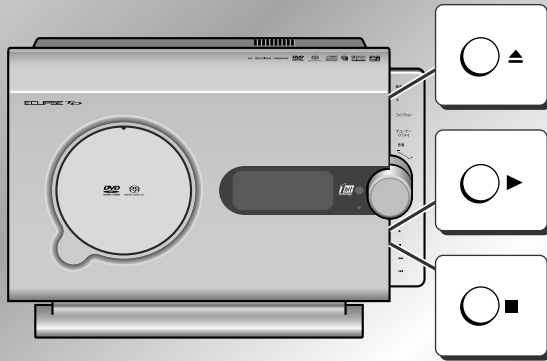
- ファイナライズされていないディスクは再生できない場合があります。そのときは、記録したDVDレコーダーでファイナライズをしてください。
- VRモードで記録されたDVD-RWでは、データの書き込み状態により、音声および画像が途切れることがあります。
- 再生を停止すると、つづき再生の情報（P.31）が記憶され、スタートアップ画面に切り換わります。この状態でディスクナビ画面を出すと、つづき再生の情報は解除されます。
- 漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。
- ディスクナビ画面を表示したとき、タイトル映像が出るまでには多少時間がかかることがあります。
- プレイリストについては、記録したDVDレコーダーの取扱説明書をごらんください。

4章

SACD・CDを再生する

SACD・CD再生

SACD・CDを再生する



音量を調整する
(P.27)

本体の表示内容を切り換える
(P.50)

1

電源を入れたあと…

■ DVD を押して、

入力を「DVD」にする。

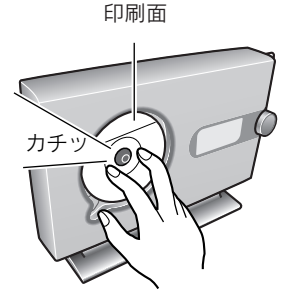
本体の○■を押しても、操作することができます。



2

開/閉 を押して、スライド
ドアを開ける。

スライドドアは、開いたまま約2分たつと、自動的に閉まります。



3

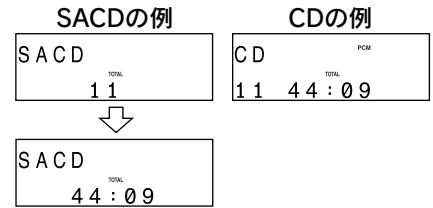
SACD・CDを入れる。

ディスクを傷つけないように、確実に装着してください。

4

開/閉 を押して、スライド
ドアを閉じる。

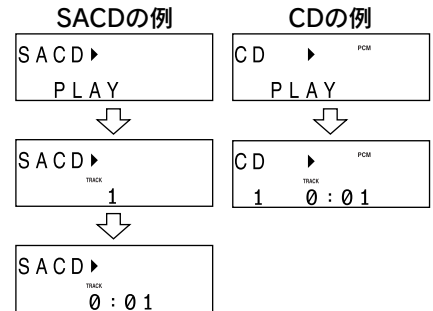
入力表示は「SACD」または「CD」になります。



5









DVD ▶ を押して、
再生を始める。

スライドドアが開いているときに
DVD ▶ を押すと、スライドドア
が閉じて再生が始まります。



本体の○▲や○▶を押しても、操作することができます。

SACD・CDの再生中にできる操作

動作	リモコン	本体	操作
停止する			1回押すと、“RESUME”が表示されます。もう1回押すと、停止状態になります。 “RESUME”が表示されているときに、  (リモコン) または  (本体) を押すと、停止した位置から再生されます。(つづき再生)
一時停止する			再生中に押す。 一時停止中に  (リモコン) または  (本体) を押すと、止めた位置から再生します。

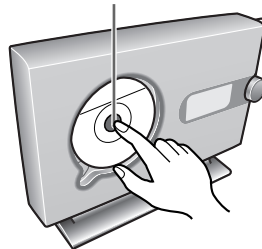
SACD・CDの取り出しかた

1 SACD・CDを停止させたあと…

 を押す。

2 中央のディスク取りはずしボタンを押して、SACD・CDを取り出す。

ディスク取りはずしボタン

3  を押して、スライドドアを閉じる。

スライドドアが開いているときに電源を切ると、スライドドアは閉じます。

ご注意……………
スライドドアは、電動で開閉しますので手で無理に止めたり、動かしたりしないでください。故障の原因となります。また、開閉中に指などはさまないようにしてください。

お知らせ……………

- CD-R・CD-RWの再生は、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。そのときは、CD-R・CD-RWを録音する機器の録音/記録スピードや、使用するディスクを換えてみると、再生可能になることがあります。くわしくは、録音する機器の取扱説明書をごらんください。
- 電源を入れたときや、他の入力から「DVD」に切り換えたときは、ディスクの初期設定を行いますので、数秒間は操作を受け付けません。
- ディスクの内容によっては、音量の上げすぎで音とびをおこすことがあります。そのときは、音量を下げてください。
- ディスクを2枚以上入れないでください。ディスクを破損する原因となります。
- CDやSACDのCDレイヤーでは、マルチチャンネルモードやステレオモードを切り換えることにより、いろいろな音声を楽しむことができます。(P.56、57) (SACDのSACDレイヤーでは、マルチチャンネルモードやステレオモードを切り換えることができません。)

- 特殊形状(ハート型・八角形やふち取りをしているものなど)のディスク、またはアダプターを付けた8cmディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。
- セロハンテープまたはラベル(レンタルCDなど)の、のりがはみだしていたり、はがしたあとがあるディスク、厚いラベルがはつてあるディスクは、使用しないでください。ディスクが傷ついたり、取り出せなくなる場合があります。

次のような場合、本体表示にエラーメッセージが表示され、再生されません。(P.82)

- キズがあるディスクを使用したとき
- 再生できないディスクを使用したとき

SACD・CD再生

SACD・CDを再生する

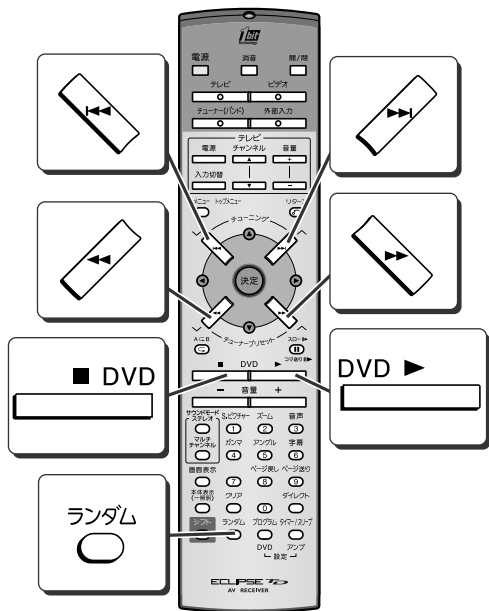
4章 聞きたいところをさがす・順不同で再生する

AV RECEIVER PMX-300

再生しているトラックをとばして、次のトラックを再生したり、早送り/早戻しすることができます。
また、順不同に再生することもできます。

SACD・CD再生

聞きたいところをさがす・順不同で再生する



■ 頭出しをする (スキップ)

- 1 再生中に… または を押す。
- を押すと、次のトラックが再生されます。
 - を押すと、トラックの頭から再生し、続けて押すと前のトラックが再生されます。

■ 早送り/早戻しをする (サーチ)

- 1 再生中に… または を押す。 SACD ▶
TRACK
1 : 12
- 2 または をくり返し押して、サーチ速度を選ぶ。
- 1 (約2倍速) → 2 (約8倍速) → 3 (約32倍速)
- 1 (約2倍速) で早送り時のみ音声があります。(SACDは音声がありません。)
 - で進み、 で戻ります。

■ 順不同で再生する (ランダム再生)

- 1 再生中や停止中に… を押す。 SACD
RANDOM
- 2 停止中に操作したときは… を押す。
全曲を順不同に再生したあと、停止します。

ランダム再生を解除するには、もう一度 を押す。
ランダム再生中に を押すと、ランダム再生は解除されます。

お知らせ

- 本体の または を押しても、操作することができます。
- MP3 ディスクでは、再生中のトラックがあるフォルダ内でスキップされます。

通常の再生に戻すには

を押す。

お知らせ

- 本体の または を2秒以上押しても、操作することができます。

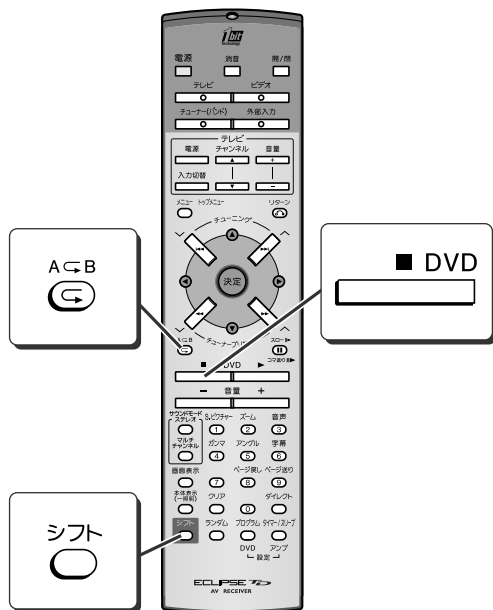
お知らせ

- プログラム再生中は、ランダム再生できません。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。(自分で選曲できません。)
- MP3 ディスクのランダム再生はできません。
- ランダム再生中に を押すと、ランダム再生は解除され、リピート再生になります。

くり返して再生する

全曲や1曲だけをくり返して再生することができます。

また、指定した位置間をくり返して再生することもできます。



くり返して再生する (リピート再生)

1 再生中に… **A-G-B** を押す。

A-G-B をくり返し押して、再生モードを選ぶ。

1 曲リピート再生 全曲リピート再生 通常再生
 “1-REPEAT” → “REPEAT” → “NORMAL”

1 曲リピート再生	1 曲をくり返し再生します。
全曲リピート再生	全曲をくり返し再生します。
通常再生	全曲を再生したあと、停止します。

MP3 ディスクでは、**T** (トラック)、**□** (フォルダ)、消灯 (通常再生) の順に切り換わります。

リピート再生は、止めるまで続きます。
 お聞きになったあとは、必ず停止してください。

- お知らせ
- 停止中に操作したときは、再生モードを選んだあと、再生を始めてください。
 - プログラム再生中にリピート再生すると、プログラム再生がくり返されます。
 - リピート再生中に **ランダム** を押すと、リピート再生は解除され、ランダム再生になります。

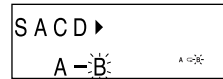
SACD・CD再生

くり返して再生する

指定した位置間をくり返して再生する (A-Bリピート再生)

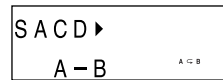
1 再生中に…
シフト を押したまま、**A-G-B** を押す。

くり返したいはじめの位置(A)が登録されます。



2 もう一度…
シフト を押したまま、**A-G-B** を押す。

くり返したい終わりの位置(B)が登録され、A-B間がくり返して再生されます。



- お知らせ
- A-B リピート再生は、同じトラックの中で行ってください。
 - 終わりの位置(B)を設定する前にトラックが終了した場合は、そこが終わりの位置(B)になります。
 - プログラム再生中は、A-B リピート再生はできません。
 - MP3 ディスクのA-Bリピート再生はできません。
 - A-B リピート再生中に **DVD** を押すと、A-B リピート再生は解除されます。

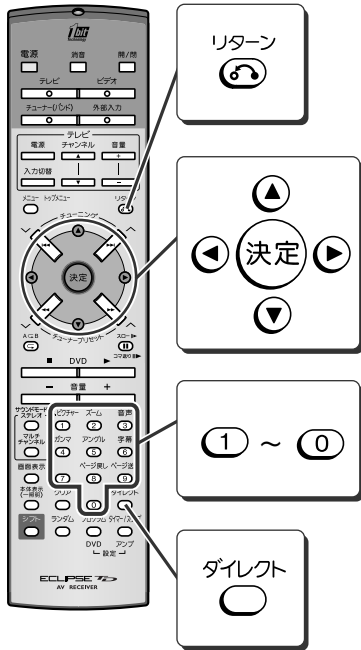
通常再生に戻すには、もう一度 **シフト** を押したまま、**A-G-B** を押す。

4章 好きなところを選んで再生する

好きなトラックを選んで再生したり、時間を指定して再生することができます。

SACD・CD再生

好きなところを選んで再生する



■ トラックを選んで再生する (ダイレクト再生)

1 再生中に… **ダイレクト** を押す。



10秒以内に…

① ~ ⑩で入力し、**決定**を押す。

- 数字をまちがえたときは、再度入力してください。
- 途中でやめるときは、**リターン**を押します。
- ① ~ ⑩のかわりに、**▲**または**▼**を押しても選ぶことができます。

■ 時間を指定して再生する (タイムサーチ)

1 再生中に… **ダイレクト** を2回押す。



10秒以内に…

① ~ ⑩で入力し、**決定**を押す。

- 2分40秒を指定するには、「0240」と入力してください。
- 数字をまちがえたときは、① ~ ⑩で再度入力してください。
- 途中でやめるときは、**リターン**を押します。
- ① ~ ⑩のかわりに、**▲**または**▼**を押しても選ぶことができます。そのときは、**▲**または**▶**を押して「分」、「秒」を切り換えます。

指定のしかた

例) 28曲目

② ⑧ → **決定**

お知らせ

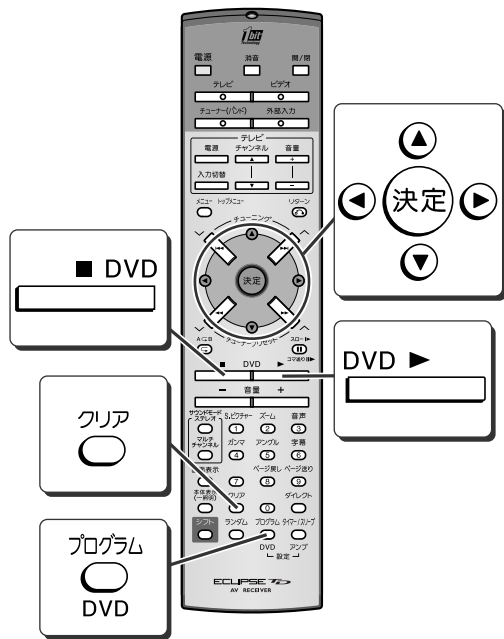
- ダイレクト再生するときは、操作**2**だけで再生できます。
- プログラム再生中は、この操作はできません。

お知らせ

- プログラム再生中は、この操作はできません。
- トラックをまたぐタイムサーチはできません。
- MP3ディスクのタイムサーチはできません。

好きなトラック順で再生する

好きなトラック順で再生することができます。最大24件まで登録することができます。(プログラム再生)



1 ディスクを入れたあと… **DVD** を押す。

2 停止中に… **プログラム DVD** を押す。
プログラム画面が表示されます。 トラック番号

3 **▲**または**▼**を押して、登録するトラック番号を選び、**決定**を押す。

• 続けて別のトラック番号を登録するときは、くり返し操作します。
• トラック番号をまちがえたときは、**▶**を押したあと**▲**または**▼**を押して取り消したいプログラム番号を選び、**クリア** **○**を押します。
取り消したあと**▶**を押すと、再びプログラム登録をすることができます。

4 **DVD ▶** を押す。
登録した順番で再生したあと停止します。ディスクを取り出すまで、登録内容を覚えています。

登録内容を追加するには
操作 **2** ~ **3** をくり返す。
前に選んでいる番号のあとに、追加されます。

登録内容を全て取り消すには
(1) 停止中に… **プログラム DVD** を押す。
(2) **▶**を押してプログラム番号を選ぶ。
(3) **クリア** **○**を4秒以上押す。

登録を途中で止めるには
プログラム DVD **○**を押す。

同じディスクでもう一度プログラム再生するには
プログラム DVD **○**を押したあと、**DVD ▶** を押す。
停止すると、プログラム再生は解除されます。

お知らせ
• 再生中や一時停止中に登録することはできません。
• MP3 ディスクのプログラム再生はできません。

SACD・CD再生

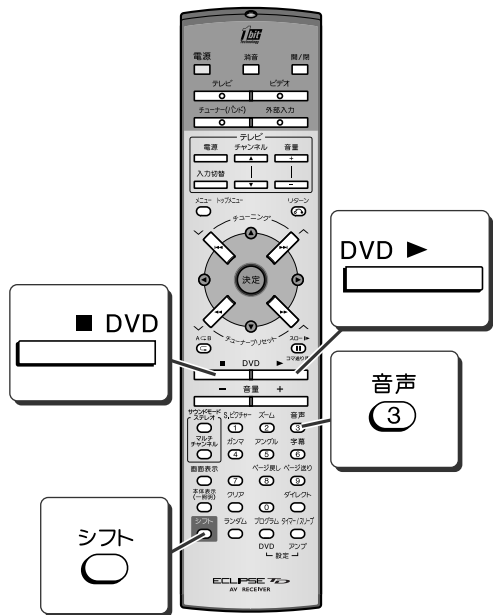
好きなトラック順で再生する

4章 SACDのハイブリッドディスクを再生するとき

SACDレイヤーとCDレイヤーとが2層になっているディスク（ハイブリッドディスク）では、お聞きになりたい音声を選んで再生することができます。

SACD・CD再生

SACDのハイブリッドディスクを再生するとき



■ ハイブリッドディスクの音声を選んで再生する

1 SACDを入れたあと… **DVD** を押す。

停止中に…
シフト **○** を押したまま **音声 3** を押して、
聞きたいレイヤーに切り換える。

テレビ画面



音声出力を切り換えるときは、ディスクの情報を読み取るため、切り換えに数秒かかります。

2 (例) マルチチャンネルのSACDを再生するにはステレオ2chとマルチチャンネルの両方が記録されているSACDでは、音声出力を切り換えることができます。

	テレビ画面	本体表示
SACDレイヤー 5.1ch	MULTI	MULTI
SACD2ch	2 ch	STEREO
CDレイヤー 2ch	C D	PCM

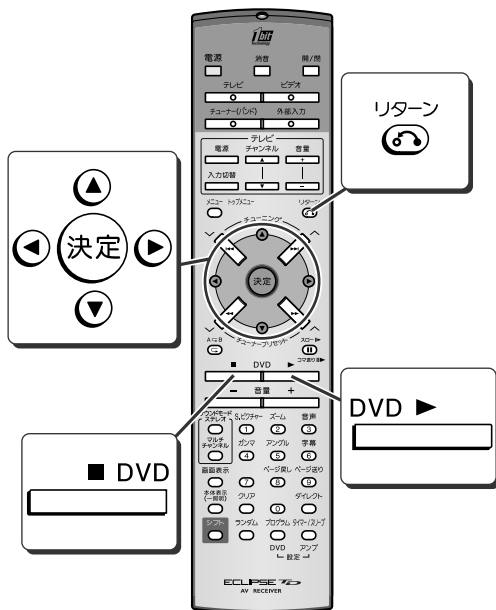
3 **DVD** を押す。
再生が始まります。

お知らせ

- 音声の種類については、ディスクの説明書をごらんください。
- SACDの音声切換は、ディスクを取り出すと、SACDレイヤーの「MULTI」に戻ります。
- CDやSACDのCDレイヤーでは、マルチチャンネルモードやステレオモードを切り換えることにより、いろいろな音声を楽しむことができます。
(P.56、57)
(SACDのSACDレイヤーでは、マルチチャンネルモードやステレオモードを切り換えることができません。)

MP3 ディスクを再生するとき

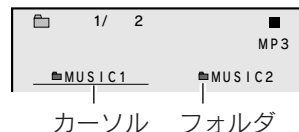
MP3 ファイル形式で記録された CD-R/
CD-RW を再生することができます。



■ MP3 ディスクのフォルダを選んで再生する

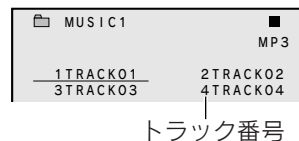
MP3 ディスクを入れたあと…

1 ■ DVD を押す。



フォルダ選択画面が表示されます。

2 ▲、▼、◀または▶を
押してフォルダを選び、
決定を押す。



トラック選択画面が表示されます。

- フォルダにカーソルを合わせて **DVD** を押すと、そのフォルダ内のトラックの先頭から再生が始まります。
- **リターン** を押すと、フォルダ選択画面に戻ります。

3 ▲、▼、◀または▶を押してトラックを選び、
決定を押す。

選んだトラックから再生が始まります。

再生中にスキップをする

再生中に… **▲** または **▼** を押す。

再生中のトラックがあるフォルダ内でスキップされます。

くり返して再生をする (リピート再生)

再生中に… **ACB** を押す。

押すたびに「**T** (トラック)」→「**📁** (フォルダ)」→「消灯 (通常再生)」の順に切り換わります。

お知らせ ……………

- ①～④を押してトラック番号を入力し、**決定**を押しても再生することができます。
- 再生中のトラックでないところにカーソルを移動しているときに、10秒以上操作がないときは、カーソルのあるトラックが再生されます。
- 記録されているトラックの順番通りに再生されないことがあります。
- 認識できる階層は、フォルダ、トラックを含め8階層までです。
- トラックは256件まで認識できます。
- マルチセッションディスクも再生することができます。
- 第1セッションがCDフォーマット形式で記録されている場合、音楽用CDと認識されCDフォーマット形式のみ再生されます。
- フォルダ数が多いときや、フォルダツリーの構造によっては、読み取りに時間がかかることがあります。
- フォルダ名、トラック名は8文字まで表示できます。文字や記号によっては、正しく表示されないものがあります。
- 高速でデータを記録したディスクの場合、雑音が出たり、再生できないことがあります。
- MP3 ファイルを音楽用CDとして記録されたCD-R/CD-RWは、MP3 ディスクの操作はできません。そのときは、CDの操作をしてください。

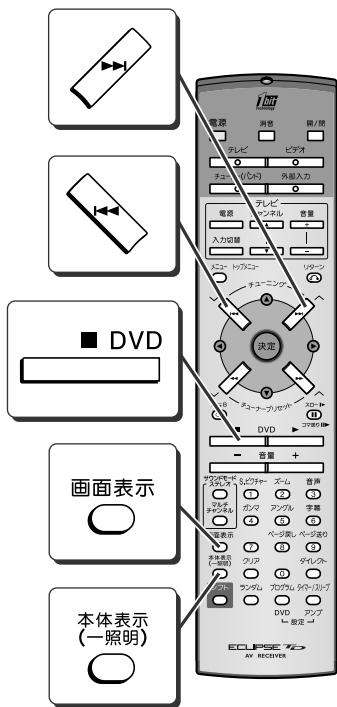
SACD・
CD再生

MP3ディスクを再生するとき

4章 テレビや本体の表示内容を切り換える

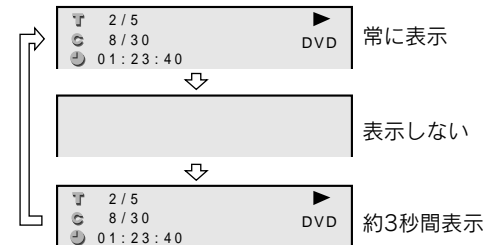
SACD・CD再生

テレビや本体の表示内容を切り換える



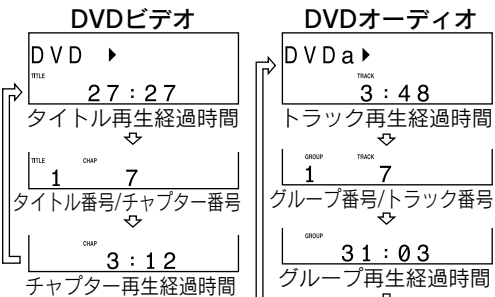
■ テレビ画面の表示を切り換える

DVDの再生中に… **画面表示** を押す。
押すたびに切り換わります。



■ 本体表示部の表示内容を切り換える

DVDの再生中に… **本体表示 (一照明)** を押す。
押すたびに切り換わります。

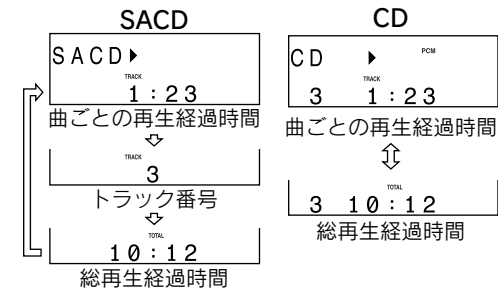


※ サンプル周波数の表示は、ディスクによって異なります。また、表示が出ないものがあります。



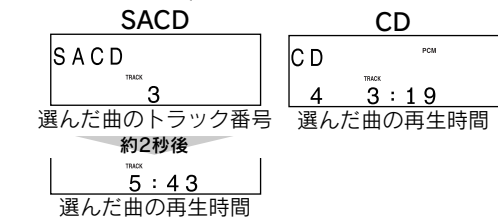
■ 再生経過時間を切り換える

SACD・CDの再生中に… **本体表示 (一照明)** を押す。
押すたびに切り換わります。



■ 再生時間を切り換える

SACD・CDの停止中に… **または** を押して、曲番を選ぶ。



お知らせ

- ディスクによってはタイトル番号、チャプター番号、再生経過時間を表示しないものがあります。
- ジャケットなどに記載されている再生時間には、曲間の無音時間などが含まれていないものもあります。そのため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。
- MP3の再生中は、総再生経過時間は表示されません。また、再生時間を切り換えることはできません。

ディスクの取り扱いについて

AV RECEIVER PMX-300

■ 取り扱い上のご注意

ディスクを持つときは、再生面に触れないように、必ずふちを持ってください。
再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。



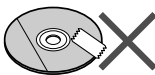
ケースから出し入れするときは、再生面に触れないようにしてください。

印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。



ラベルやシールを貼らないでください。

セロハンテープやラベル（レンタルCDなど）などのリガはみ出していたり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。
そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。



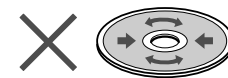
特殊形状（ハート型や八角形やふち取りをしているものなど）のディスクは、使用しないでください。
故障の原因となります。



■ お手入れ

ディスクに汚れやキズがあると、映像や音声が乱れることがあります。
ディスクを取り出し、汚れを落としてから、再生してください。

- 再生面に指紋や汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽くふき取り、乾いた布でから拭きしてください。
- ふちから中央の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくとキズがつくことがあります。



次のものは使用しないでください。

- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のクリーナー
- 静電防止剤

■ 保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

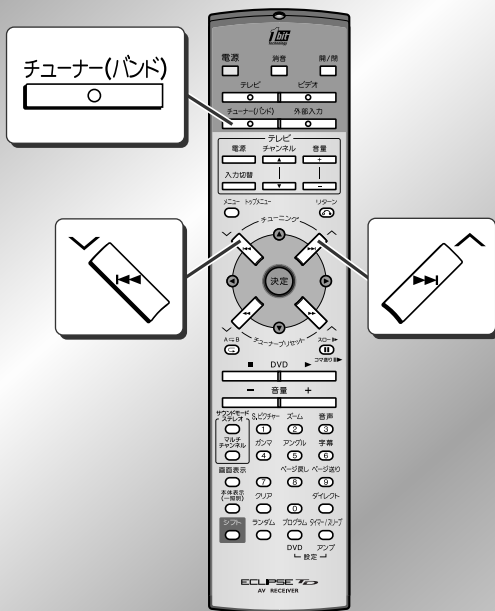
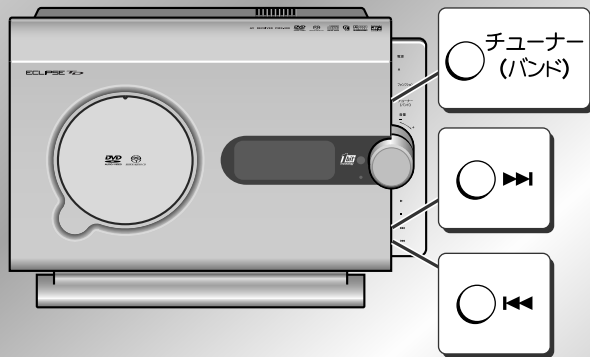
- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

SACD・CD再生

ディスクの取り扱いについて

5章

ラジオ放送を聞く



音量を調整する
(P.27)

ラジオ

ラジオ放送を聞く

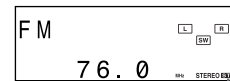
- 電源を入れたあと…
チュナー(バンド)を押して、入力を「FM(AM)」にする。
- チュナー(バンド)を押して、“FM STEREO”、“FM” または “AM” を選ぶ。

FM STEREOモード FM モノラルモード AM
- または を押して、放送局を選ぶ。

自動同調：ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。
 手動同調：ボタンを小さく押し続けて、希望する放送局を受信します。
 テレビ音声は次の周波数で受信できます。
 1チャンネル：FM 95.75MHz 3チャンネル：FM 107.75MHz
 2チャンネル：FM 101.75MHz

FM ステレオ放送の受信について…

FM ステレオモードで、FM ステレオ放送を受信すると、“ST” が点灯します。



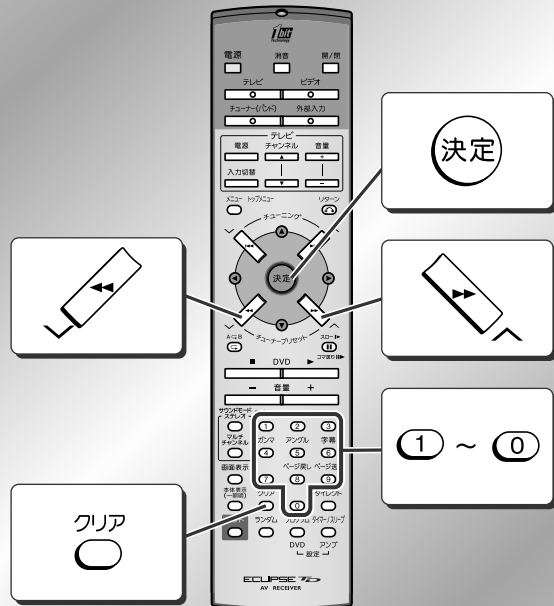
FM ステレオ放送を受信しても電波が弱いと“ST” が点灯しません。
 このときは、音が出ませんので、FM モノラルモードに切り換えてください。

お知らせ

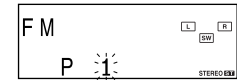
- 本体のチュナー(バンド)、◀◀や▶▶を押しても、操作することができます。
- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。そのときは、手動同調をお使いください。
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM 放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、テレビの2または3チャンネルの音声を受信したときに、FM 放送が混信することがあります。
- テレビ音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声やAM放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。

放送局を登録する

AM 放送・FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。

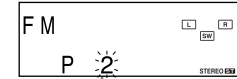


1 登録したい放送局を受信したあと…
決定を押して、登録モードにする。



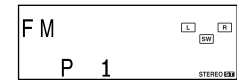
FM 放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも登録されます。

2 5 秒以内に…
 ← または → を押して、
 登録する番号を選ぶ。



登録する番号

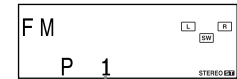
3 5 秒以内に…
決定を押す。



- 放送局が登録されます。
- すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。
- 他の放送局を登録するには、操作 1 からの手順をくり返します。

登録した放送局を呼び出すには

← または → 押して、登録した番号を選ぶ。



登録した番号

① ~ ⑩ で呼び出すとき：

登録した番号を入力し**決定**を押す。 例) 28 局目 ② ⑧ → **決定**

- ボタンを続けて押すときは、5 秒以内に操作してください。
- 入力をまちがえたときは、入力し直してください。

登録した放送局をすべて消すには

1. **クリア** を 4 秒以上押す。
2. 10 秒以内に… **決定** を押す。



お知らせ ……………
 電源コードを抜いていたり、停電になっても、約 2 ~ 3 時間は登録した内容を覚えて
 ています。(バックアップ機能)
 登録した放送局が消えたときは、もう一度登録し直してください。


ラジオ

放送局を登録する

6章 いろいろな音声を楽しむ (サラウンド)

この製品は、ドルビーデジタル方式・DTS方式・デジタル放送のAAC方式に対応した各種デコーダーを搭載していますので、臨場感あふれる迫力のあるサウンドをお楽しみいただけます。

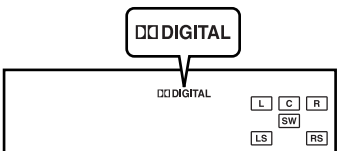
ドルビー デジタル
DOLBY DIGITAL




上記のマークつきディスクの
デジタル入力

劇場向けデジタル音声システムの1つです。立体的な音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。

ドルビーデジタル方式で記録されているディスクで音声出力をドルビーデジタルに設定すると、本体表示部の ドルビー DOLBY DIGITAL 信号表示が点灯します。
(P.36)



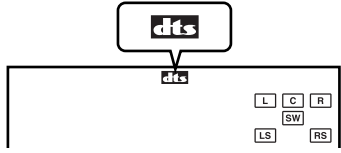
デジタル シアター システムズ
DTS (Digital Theater Systems)




上記のマークつきディスクの
デジタル入力

劇場向けデジタル音声システムの1つです。低圧縮率のため、よりリアルな音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。

DTS方式が記録されているディスクで音声出力をDTSに設定すると、本体表示部のDTS信号表示が点灯します。
(P.36)



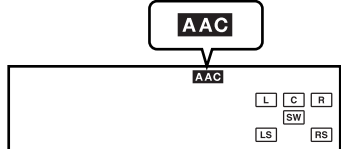
アドバンスド オーディオ コーディング
AAC (Advanced Audio Coding)



BSデジタル放送

BSデジタル放送に採用されるデジタル音声システムです。デジタルチューナーを光デジタルケーブルを使って接続したときは、最大5.1chの高音質が楽しめます。

AAC方式で放送されているデジタル放送の音声が入力されると、本体表示部のAAC信号表示が点灯します。



2ch ステレオ音声を 5.1ch サラウンドに拡張するドルビープロロジックIIも搭載しています。

ドルビー プロ ロジック
DOLBY PRO LOGIC II

ステレオ音声で録音されているディスクやビデオテープなどの入力

ステレオ音声で録音されているディスクやビデオテープなどの2ch 音声が入力されると、ドルビープロロジックIIにより、5.1chのサラウンド音声に拡張され、立体的な音響効果が得られます。

ドルビープロロジックIIが働くと、本体表示部のDOLBY PRO LOGIC II表示が点灯します。

リニア PCM

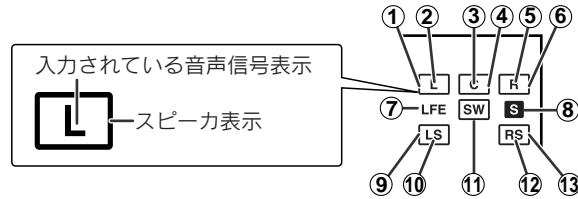
音声の圧縮を行わない方式

ミュージカルや音楽コンサートなどを収録したDVDやCDなどに使われている方式です。

PCM

音声信号表示やスピーカ表示について…

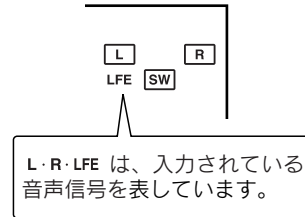
入力されている音声信号に応じて音声信号表示が点灯し、スピーカへの出力状態に応じてスピーカ表示が点灯します。



例えば ……………

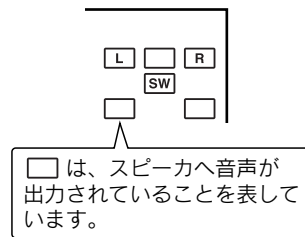
2.1chディスクに記録されている音声信号 (L・R・LFE) が入力されているときは、音声信号表示の“L”、“R”、“LFE”が点灯します。

(右図ではL、Rの2chで再生していることを表わしています)



ドルビープロロジックIIが働くと…

2ch 音声が5.1chサラウンドに拡張されたときは、全てのスピーカ表示 (□) が点灯します。



お知らせ ……………

- 音声の種類(ドルビーデジタルやDTSなど)が複数記録されているディスクを再生するときは、音声を切り換えることができます。(P.36)
- ディスクによっては、サブウーファから音声がでないことがあります。
- DVD オーディオのオーディオパートやSACDのSACDレイヤー、またラジオ放送受信中はマルチチャンネルモードやステレオモードを切り換えることができません。(P.56、57)

音声信号表示 / スピーカ表示

- ① フロントスピーカ「左」表示
- ② フロント「左」信号表示
- ③ センター信号表示
- ④ センタースピーカ表示
- ⑤ フロント「右」信号表示
- ⑥ フロントスピーカ「右」表示
- ⑦ LFE「低域効果」信号表示
- ⑧ サラウンド「モノラル」信号表示 (サラウンドスピーカの入力信号がモノラルのときに点灯します。)
- ⑨ サラウンドスピーカ「左」表示
- ⑩ サラウンド「左」信号表示
- ⑪ サブウーファ表示
- ⑫ サラウンド「右」信号表示
- ⑬ サラウンドスピーカ「右」表示

サラウンド

いろいろな音声を楽しむ

6章 いろいろな音声を楽しむ (サラウンド) (続き)

ドルビーデジタル方式、DTS方式、AAC方式で記録された音声を広がりのある音で楽しむことができます。

また、2chステレオ音声もドルビープロロジックIIで広がりのある音を楽しむことができます。

DVD(ドルビーデジタル方式、DTS方式)やBSデジタル放送(AAC方式)など

CDやビデオテープ(2chステレオ音声)など

マルチチャンネル(5.1chなど)で聞くと

再生中に… **マルチチャンネル** を押す。

例) DTS方式のとき



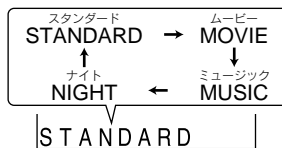
最大5.1chのサラウンド音声が生再生され、立体的な音響効果が楽しめます。

例) 2chステレオ音声のとき



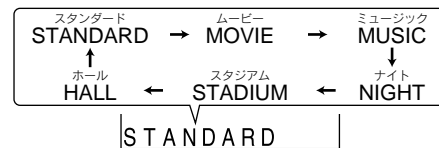
CDなどの2chステレオ音声もドルビープロロジックIIで5.1chに拡張します。

一回押すと最後に設定した内容が表示され、3秒以内に続けて押すと、次のように切り換わります。

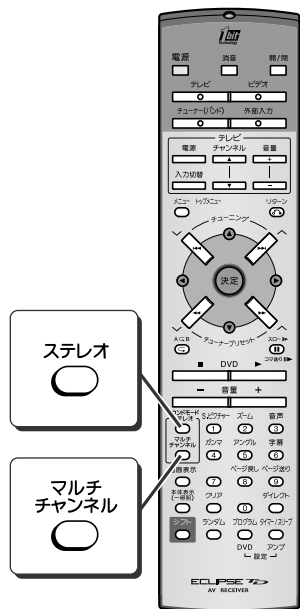


- STANDARD** (スタンダード) 標準の音でサウンドが楽しめます。
- MOVIE** (ムービー) 低音のレベルを増やし、迫力のある音声が楽しめます。
- MUSIC** (ミュージック) 歯切れを良くし、メリハリのある音声が楽しめます。
- NIGHT** (ナイト) 小さい音量でもソフトで迫力のある音声が楽しめます。

ドルビーデジタル方式、DTS方式、AAC方式の音声を聞いているときは、「STADIUM」や「HALL」に設定することはできません。



- STANDARD** (スタンダード) 標準の音でサウンドが楽しめます。
- MOVIE** (ムービー) 低音のレベルを増やし、迫力のある音声が楽しめます。
- MUSIC** (ミュージック) 歯切れを良くし、メリハリのある音声が楽しめます。
- NIGHT** (ナイト) 小さい音量でもソフトで迫力のある音声が楽しめます。
- STADIUM** (スタジアム) 球場やスタジアムホールのような音響効果が楽しめます。
- HALL** (ホール) コン서트ホールのような音響効果が楽しめます。



サラウンド

いろいろな音声を楽しむ

DVD(ドルビーデジタル方式、DTS方式)や
CDやビデオテープ(2chステレオ音声)など

BS デジタル放送(AAC方式)

ステレオ(2ch)で聞くととき

再生中に… **ステレオ**
○を押す。

ステレオ 2ch の音声が楽しめます。

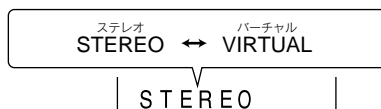
例) DTS方式のとき



例) AAC方式のとき



一回押すと最後に設定した内容が表示され、3秒以内に
続けて押すと、次のように切り換わります。



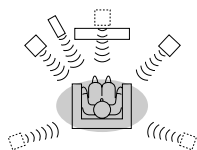
ステレオ
STEREO

フロントスピーカとサブウーファからの
音声が楽しめます。

バーチャル
VIRTUAL

サラウンドスピーカからは音は出ま
せんが、サラウンドスピーカがあるよ
うな音響効果が楽しめます。

□にもスピーカがあるように感じます。



AAC方式の音声を聞いているときは、「**VIRTUAL**」に
設定することはできません。



ステレオ
STEREO

フロントスピーカとサブウーファからの
音声が楽しめます。

お知らせ

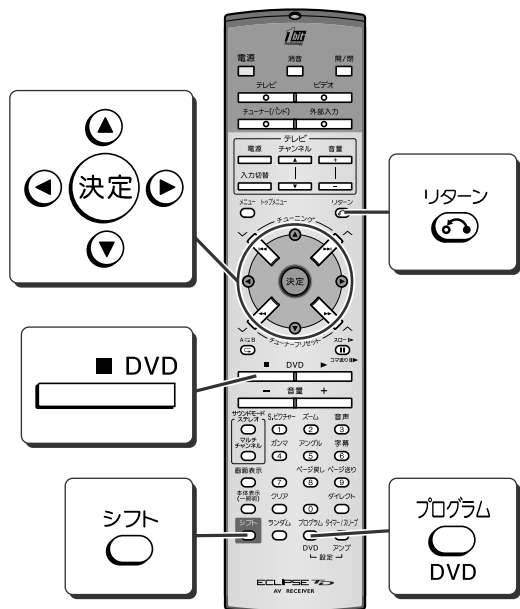
- DVD オーディオのオーディオ
パートや SACD の SACD レイ
ヤー、またラジオ放送受信中は
マルチチャンネルモードやステ
レオモードを切り換えること
ができません。
- 音楽ソースによっては聞きづ
らい音になる場合があります。
そのときは、マルチチャンネル
モードやステレオモードを
切り換えてください。
- モノラル信号をマルチチャン
ネルモードで再生したときは、セ
ンタースピーカとサブウーファ
のみ音がでます。
- マルチチャンネルモードやス
テレオモードの設定は、各入
力(DVD/CD、TV、AUX、VTR)
ごとで覚えています。
- 「**STEREO**」や「**VIRTUAL**」の
とき、モノラル信号では 2ch
(L、R)同じ音声を再生します。
- ディスクの中には、サンプリ
ング周波数が 96kHz で記録さ
れたものがあります。このよう
なディスクを再生したときは、
自動的に「**STEREO**」に切り換
わります。また、再生中はサラ
ウンドの切り換えができません。
「**STADIUM**」や「**HALL**」に設
定しているときに、ドルビー
デジタル方式、DTS 方式、
AAC 方式の音声を再生する
と、サラウンドは自動的に
「**STANDARD**」になります。

サウンド

いろいろな音声を楽しむ

7章 DVDの初期設定を変える

初期設定を変更すると、電源を切っても変更した内容を記憶しています。もとに戻したり、変更するときは、もう一度設定し直してください。



1 ■ DVD を押したあと…

シフト **決定** を押したまま、 **プログラム DVD** を押す。

初期設定画面が表示されます。

The screenshot shows a menu titled "DVD設定" (DVD Settings) with the following options: 映像出力設定 (Video Output Setting), 視聴制限設定 (Viewing Restriction Setting), 音声出力設定 (Audio Output Setting), and テキスト言語設定 (Text Language Setting). At the bottom, there are buttons for "戻る" (Back), "決定" (Enter), and "進む" (Next).

2 ▲ または ▼ を押して設定項目を選び、**決定** を押す。

設定項目は、59 ページの表をごらんください。

3 ▲、▼、◀ または ▶ を押して項目を選び、**決定** を押す。

続けて他の設定を変更するときは、操作 2 からくり返してください。

例) 映像出力設定







The example shows three sequential screenshots of the "映像出力設定" (Video Output Setting) menu. In the first, "4:3 LB" is selected. In the second, "4:3 PS" is selected. In the third, "4:3 PS" is selected and "16:9" is also visible. Arrows indicate the navigation between these options.

4 リターン **決定** を 2 回押す。

設定した内容が登録されます。

お知らせ

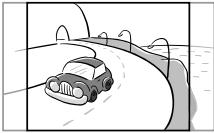

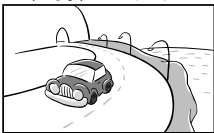
- ディスクの再生中は初期設定画面が表示されません。
- 項目や設定を選んでいるときに、**リターン** を押すと一つ前の画面に戻ります。

設定項目	選択できる項目		設定内容	参照ページ
映像出力設定 	映像出力設定	4:3 [PS] 4:3 [LB] ※ 16:9	接続するテレビのタイプに合わせて設定します。	P.60
	プログレッシブ再生	「入」 「切」 ※	接続するテレビがプログレッシブスキャン方式に対応している場合は、「入」にすると高密度の映像が楽しめます。対応していない場合は、「切」にしてください。	P.60
	DVD-AUDIO (ディスクを入れないときのみ 選択できます。)	AUDIO ※ VIDEO	DVD オーディオには、DVD-AUDIO と DVD-VIDEO の両方が記録されているものがあります。このうち、どちらを優先して再生するかを設定します。	P.40
視聴制限設定 (パレンタル) 	パスワード	4ケタのパスワード を入力	視聴制限設定の「レベル」と「国コード」を変更するときに必要な4ケタのパスワードを設定します。パスワードを忘れたときは、数字ボタンのかわりに  を4回連続して押せば解除できます。	P.61
	レベル	レベル1～8 切※	DVD ソフトの視聴制限のレベルを設定します。	P.61
	国コード	アメリカ カナダ 日本※ …	ディスクが指定している視聴制限の国コードを設定します。	P.61
音声出力設定 	 DIGITAL 出力	ビットストリーム※ D-PCM	外部音声デジタル出力端子 (光デジタル) に他の機器を接続したときは、他の機器に合った音声出力に設定することができます。	P.77
ディスク言語設定 	音声言語	日本語 英語※ オリジナル その他	スピーカから聞こえる音声言語の種類を設定します。 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が再生されます。 オリジナル …… ディスクの最優先言語で再生したいときに設定します。	P.61
	字幕言語	日本語※ 英語 オート その他	テレビに表示される字幕言語の種類を設定します。 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が表示されます。 オート …… 音声言語に合わせて自動的に字幕を表示します。(例: 音声言語で日本語を選んでいるとき、日本語の音声再生されたときは、字幕を表示しません。英語など日本語以外の音声再生されたときは、日本語の字幕を表示します。)	P.61
	メニュー言語	JA ※ …	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定します。 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が表示されます。	P.62

(※は、お買いあげ時の設定)

7章 DVDの初期設定を変える (続き)

■ 接続するテレビの画面サイズについて

選択項目	設定内容
4:3 [PS]	<p>ワイド画像 (16:9記録) のディスクを再生したとき、画像の左右をカット (パンスキャン) して、4:3のサイズで映像を出力します。違和感の少ない画像を楽しむことができます。ただし、パンスキャン [PS] 指定のないワイド画像 (16:9記録) のディスクは、4:3 [LB] で再生されます。</p>  <p>4:3 画像のディスクは、そのまま 4:3 で再生されます。</p>
4:3 [LB]	<p>ワイド画像 (16:9記録) のディスクを再生したとき、画像の上下に黒い帯を入れて、4:3のサイズで映像を出力します。ワイド画像 (16:9記録) の全体を楽しむことができます。</p>  <p>4:3 画像のディスクは、そのまま 4:3 で再生されます。</p>
16:9	<p>ワイド画像 (16:9記録) のディスクを再生したとき、ワイド画像 (16:9記録) のサイズで出力します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 4:3 画像のディスクを再生したときは、接続したテレビの設定により表示が変わります。 4:3 のテレビを接続した状態で [16:9] を選んでいるとき、ワイド画像 (16:9記録) のディスクを再生すると、縦長の画面になります。

お知らせ
 画像の形が固定されているディスクでは、テレビの画面サイズを変更しても、画像の形は変わりません。

■ プログレッシブ再生の設定について

プログレッシブ対応のテレビに、D端子ケーブル (またはD端子↔コンポーネント端子変換ケーブル) で接続し、ディスクを再生すると、ちらつきの少ないきれいな映像を楽しむことができます。

選択項目	設定内容
入 (プログレッシブ) ※1	<p>プログレッシブ対応のテレビに接続したときはこの設定にします。 プログレッシブ方式で映像を出力し、ちらつきの少ないきれいな映像を楽しむことができます。</p>
切 (インターレース) ※2	<p>プログレッシブ対応されていないテレビに接続したときはこの設定にします。 インターレース方式で映像が出力されます。</p>

※1: プログレッシブ

とび越し走査 (インターレース) しないで1フィールド目で525本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

※2: インターレース (とび越し走査)

525本の走査線のうち、まず奇数番目の走査線 (262.5本) を1/60秒で描きます。(この1画面を1フィールドと言います)
 次に偶数番目の走査線 (262.5本) を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像 (この画像を1フレームと言います) を作っていく方式のことです。

プログレッシブ対応されていないテレビと接続したときのお願い

この製品の「プログレッシブ再生」の設定を「入」にすると、テレビ映像が出力されなくなります。そのときは、付属の映像コードを接続したあとテレビをビデオ入力に切り換えて、「プログレッシブ再生」の設定を「切」にしてください。

プログレッシブ対応テレビの互換性について

一部のプログレッシブ対応テレビは、この製品と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。不具合が生じた場合は、「プログレッシブ再生」の設定を「切」にしてください。

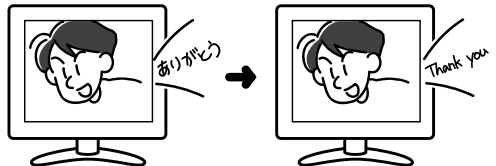
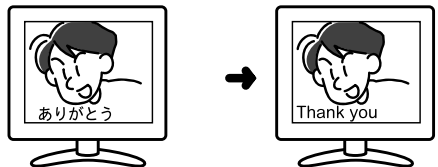
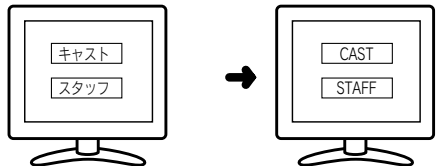
■ 視聴制限（パレンタル）レベルについて

選択項目	設定内容		
レベル1	子供向けディスクを再生することができます。 成人向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）は再生できません。 ・レベル1のディスクは誰でも楽しめる内容です。		
レベル2～3	子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を除く）を再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R指定）ディスクは再生できません。		
レベル4～7	子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）を再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。 ・レベル4～7のディスクは中学生以下が見ることができない内容です。		
レベル8	すべてのディスクを制限なしに再生することができます。 ・レベル8のディスクは成人しか見ることができない内容です。		
「切」	視聴制限を解除します。		
国コード	ディスクが指定している視聴制限の国コードです。		
	アメリカ	スウェーデン	マレーシア
	カナダ	オランダ	インドネシア
	日本	ノルウェー	台湾
	ドイツ	デンマーク	フィリピン
	フランス	フィンランド	オーストラリア
	イギリス	ベルギー	ロシア
	イタリア	香港	中国
	スペイン	シンガポール	
	スイス	タイ	

お知らせ

- 初めてパスワードを入力するときは、任意の4ケタの数字（例：1234）を入力すると、その数字がパスワードとして登録されます。次からパスワードを入力するときは、「1234」と入力してください。
- 視聴制限が記録されているディスクを再生中に、見ることができない場面では、視聴制限の一時変更画面が表示されることがあります。そのときは、パスワードを入力して一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

■ ディスク言語について

選択項目	設定内容
音声言語	再生したい音声の言語を設定します。 優先的に設定した言語でセリフやナレーションが聞こえます。 日本語に設定したとき 英語に設定したとき 
字幕言語	再生したい字幕の言語を設定します。 優先的に設定した言語で字幕が表示されます。 日本語に設定したとき 英語に設定したとき 
メニュー言語	再生したいメニューの表示言語を設定します。 優先的に設定した言語でメニュー画面が表示されます。 日本語に設定したとき 英語に設定したとき 

7章 DVDの初期設定を変える(続き)

■「その他」の言語、「メニュー言語」の設定について

設定したいメニュー言語の言語コードを確認する。(言語コード一覧表 P.79)

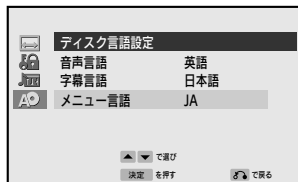
例) メニュー言語に、HU (ハンガリー語) を選ぶ場合

1

初期設定画面で「ディスク言語設定」を選んだあと (P.58: 操作 1 ~ 2)、

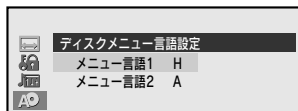
「メニュー言語」を選び、

決定を押す。



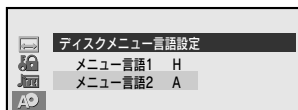
2

◀または▶を押して、1文字目のアルファベット「H」を選ぶ。



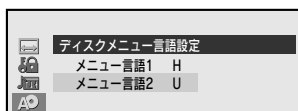
3

▲または▼を押して、カーソルを2文字目に移動させる。



4

◀または▶を押して、2文字目のアルファベット「U」を選ぶ。



5

決定を押す。

6

リターンを2回押す。

設定した内容が登録されます。

アンプの初期設定を変える

AV RECEIVER PMX-300

接続したスピーカにあわせて、アンプのいろいろな初期設定を変更することができます。

スピーカサイズの設定 (P.63)

スピーカディレイの設定 (P.64)

スピーカ音量レベルの設定 (P.65)

テストトーンでの確認 (P.66)

例えば、右のサラウンドスピーカが視聴位置から3m離れているときは、次のような方法で設定を変更してください。(SRを調整します。)

- 1 「スピーカディレイの設定」で右のサラウンドスピーカ (SR) の設定を 3.0m にします。(P.64)
- 2 他のスピーカに比べて少し遠いので、「スピーカ音量レベルの設定」で右のサラウンドスピーカ (SR) の音量レベルを少し大きくします。(P.65)
- 3 「テストトーンでの確認」で各スピーカの音を確認します。(P.66)

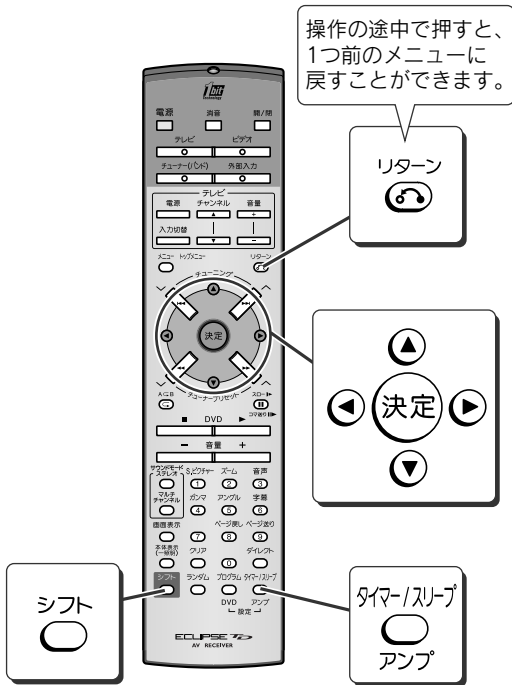
設定方法

お知らせ SACD/DVD オーディオの再生中に、アンプの初期設定を変えることはできません。

付属のスピーカを接続している場合は、スピーカサイズの設定を変更する必要はありません。

フロントスピーカ、センタースピーカ、サラウンドスピーカのスピーカサイズの設定を変更することができます。

また、センタースピーカ、サラウンドスピーカから音を出さないように設定することもできます。



■ スピーカサイズの設定

- 1 シフト を押したまま、 を押す。
SP SIZE
- 2 10 秒以内に…
▲または▼で「SP SIZE」を選び、 を押す。
SP SIZE
- 3 10 秒以内に…
▲または▼を押して、設定したいスピーカを選ぶ。
選んだスピーカが点滅
- 4 10 秒以内に…
◀または▶を押して、スピーカサイズを選ぶ。
F-SMALL
- 5 リターン を 2 回押す。
アンプの初期設定を終了します。

【LARGE】を選んだときは、そのチャンネル信号の全帯域がそのスピーカに出力されます。

【SMALL】を選んだときは、そのチャンネル信号の 120Hz 以下の低音域はサブウーファに出力されます。

ご 注 意 ……
センタースピーカやサラウンドスピーカを接続しないときは、スピーカサイズの設定を「C-NO」や「S-NO」に切り換えてください。
接続していないときに、センタースピーカやサラウンドスピーカから音が出るように設定していると、保護回路が働いて電源が切れることがあります。

スピーカの種類	スピーカサイズ	
フロントスピーカ [左] [右]	F-SMALL*	小口径
	F-LARGE	大口径
センタースピーカ	C-SMALL*	小口径
	C-LARGE	大口径
	C-NO	切
サラウンドスピーカ [左] [右]	S-SMALL*	小口径
	S-LARGE	大口径
	S-NO	切

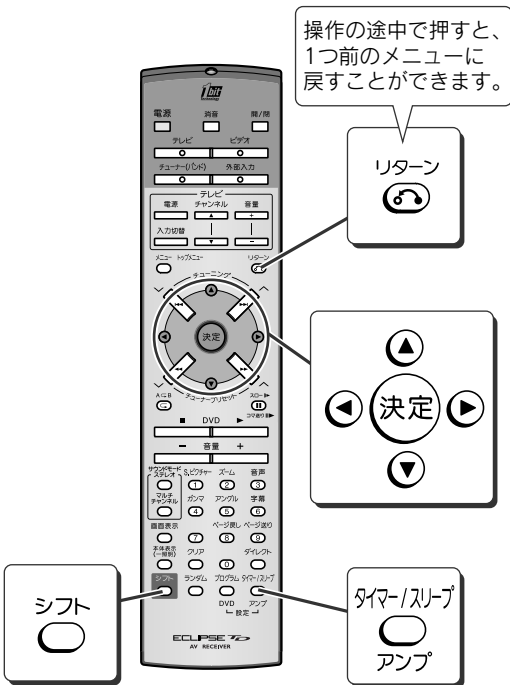
*印は、お買い上げ時の設定です。

お知らせ ……

- スピーカサイズの設定は、入力がチューナーのときやサラウンドの設定が「STEREO」や「VIRTUAL」のときは、設定することができません。
- サブウーファのスピーカサイズは設定を変更することができません。
- DVD オーディオや SACD のディスクによっては、スピーカサイズを「SMALL」に設定してもサブウーファから音がでないものがあります。

7章 アンプの初期設定を変える (続き)

スピーカディレイを調整すると、スピーカとの距離のちがいによる音の遅延を補正して各スピーカを等距離に設置できないときでも、等距離に設置したときと同じような効果が得られます。



■ スピーカディレイの設定

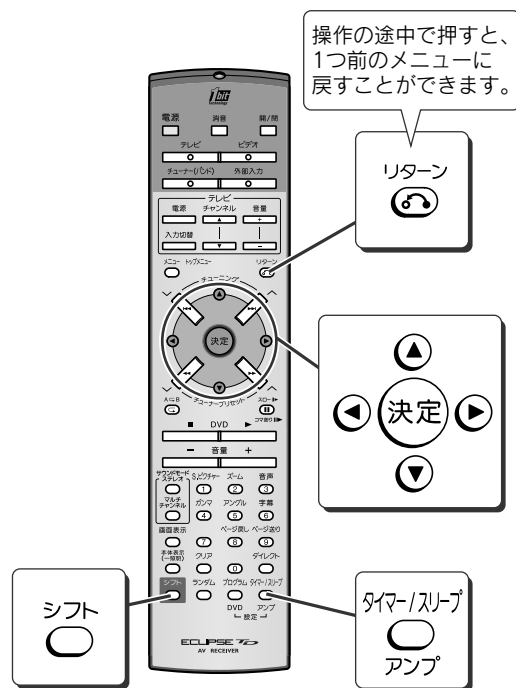
- 1 **シフト** を押したまま、**タイマー/スリープ アンプ** を押す。
SP SIZE
- 2 10秒以内に…
▲または**▼**で「SP DELAY」を選び、**決定** を押す。
SP DELAY
- 3 30秒以内に…
▲または**▼**を押して、設定したいスピーカを選ぶ。
SR 2.0m
選んだスピーカが点滅
- 4 30秒以内に…
◀または**▶**で距離を選ぶ。
SR 3.0m
点滅
- 5 **リターン** を2回押す。
アンプの初期設定を終了します。

スピーカの種類	調整範囲	初期値
FL フロントスピーカ「左」	0.1～9.0m	2m
CT センタースピーカ	0.1～9.0m	2m
FR フロントスピーカ「右」	0.1～9.0m	2m
SR サラウンドスピーカ「右」	0.1～9.0m	2m
SL サラウンドスピーカ「左」	0.1～9.0m	2m
SW サブウーファ	0.1～9.0m	2m

お知らせ

- スピーカディレイの設定は、入力がチューナーのときやサステレオラウンドの設定が「STEREO」
バーチャル
や「VIRTUAL」のときは、フロントスピーカとサブウーファの設定しかできません。
- サブウーファの距離の設定を変更すると、スピーカー端子(サブウーハー)に接続されたサブウーファも同じ設定になります。別々に設定することはできません。
- DVD オーディオ、SACDの再生時は、スピーカディレイの設定は無効になります。SACDのCDレイヤーでは有効になります。

各スピーカから聞こえる大きさが合っていないときは、同じような音量レベルに調整することができます。



■ スピーカ音量レベルの設定

- 1 シフト を押したまま、 を押す。
SP SIZE
- 2 10秒以内に…
▲または▼で「SP LEVEL」を選び、 を押す。
SP LEVEL
- 3 10秒以内に…
▲または▼を押して、設定したいスピーカを選ぶ。
SR 0
選んだスピーカが点滅
- 4 10秒以内に…
◀または▶を押して、レベルを調整する。
SR + 3
点滅
 - レベルの調整は、1dB単位で切り換えることができます。
 - 他のスピーカレベルを調整するときは、操作 3 からくり返してください。
- 5 リターン を2回押す。
アンプの初期設定を終了します。

スピーカの種類	調整範囲	初期値
FL フロントスピーカ「左」	-6dB~+6dB	0dB
CT センタースピーカ	-6dB~+6dB	0dB
FR フロントスピーカ「右」	-6dB~+6dB	0dB
SR サラウンドスピーカ「右」	-6dB~+6dB	0dB
SL サラウンドスピーカ「左」	-6dB~+6dB	0dB
SW サブウーファ	-10dB~+10dB	0dB

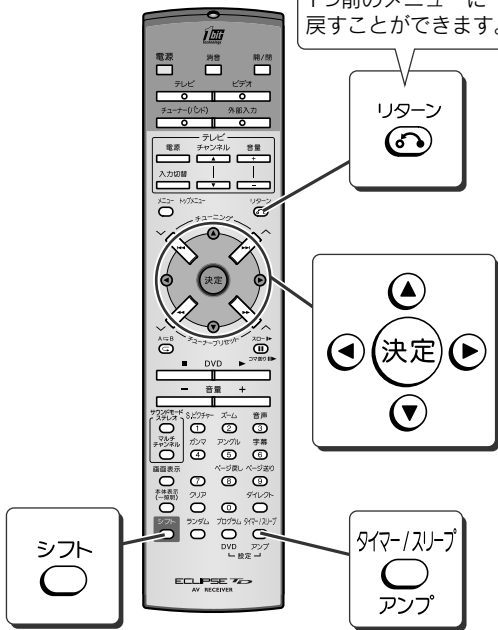
お知らせ

- スピーカ音量レベルの設定は、入力がチューナーのときやサラウンドの設定が「STEREO」
ステレオ
バーチャル
や「VIRTUAL」のときは、フロントスピーカとサブウーファの設定しかできません。
- サブウーファの音が大きすぎて歪むときは、サブウーファのレベルを下げてください。
- サブウーファのレベルの設定を変更すると、スピーカ端子(サブウーハー)に接続されたサブウーファも同じ設定になります。別々に設定することはできません。

7章 アンプの初期設定を変える (続き)

各スピーカに一定音(「ザー」という音)を出し、音の確認ができます。
 このとき、「スピーカ音量レベルの設定」(P.65)で調整した音量レベルを再調整することができます。

操作の途中で押すと、
 1つ前のメニューに戻ることができます。



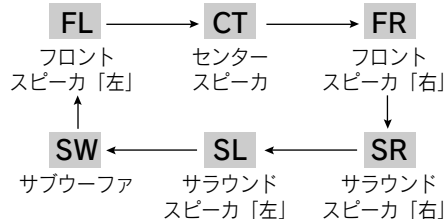
■ テストトーンでの確認

各スピーカの音量感が同じになるように調整してください。
 音量の上げすぎには注意してください。

1 シフト を押したまま、^{タイマー/スリーブ} を押す。

10秒以内に…
▲または**▼**で「^{トーン}TONE」を選び、**決定**を押す。

フロントスピーカ「左」から順に、2秒間のテストトーン(「ザー」という音)を各スピーカにくり返し出力します。



3 リターン を2回押す。
 アンプの初期設定を終了します。

お知らせ

- テストトーンは、入力がチューナーのときやサラウンドの設定が「STEREO」や「VIRTUAL」のときは、フロントスピーカとサブウーファの確認しかできません。
- スピーカサイズの設定で、NO(切)を選んだスピーカはテストトーンがでません。

レベル調整が合っていないときは


テストトーン出力中に…

◀または▶を押して、スピーカレベルを調整します。

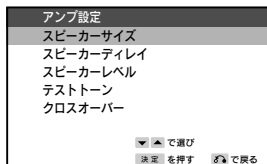
▲または▼を押すと、スピーカを選ぶことができます。


ディスクの停止中には、テレビ画面でもアンプ設定ができます。

1 ■DVDを押したあと…

シフトを押したまま、を押す。

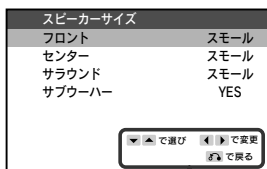
- アンプ設定画面が表示されます。
- テレビ画面（アンプ設定）の中に「クロスオーバー」の表示が出ますが、この項目を選択することはできません。




2 ▲または▼を押して、項目を選び、を押す。

3 ▲、▼、◀または▶を押して、設定を変更する。

- 続けて他の設定を変更するときは、操作②からくり返してください。
- テレビ画面（スピーカーサイズ）の中に「サブウーハー」の表示が出ますが、この項目を選択することはできません。



指示に従い操作をくり返す。
(くり返す回数は設定項目により異なります。)

4 リターンを2回押す。

アンプの初期設定を終了します。

お知らせ
DVD/CD以外の入力のときは、テレビ画面でアンプ設定をすることはできません。

8章 タイマー再生について

設定した時刻に、CDなどのディスクやラジオ放送を聞くことができます。(タイマー再生)
この製品には、「ワンスタイマー」と「デイリータイマー」の2種類があります。

ワンスタイマーとは？

1回だけタイマー動作させることができます。

こんなときに便利

その日だけのラジオ放送を聞くときなど…
(終了後、タイマー設定は解除されます。)

デイリータイマーとは？

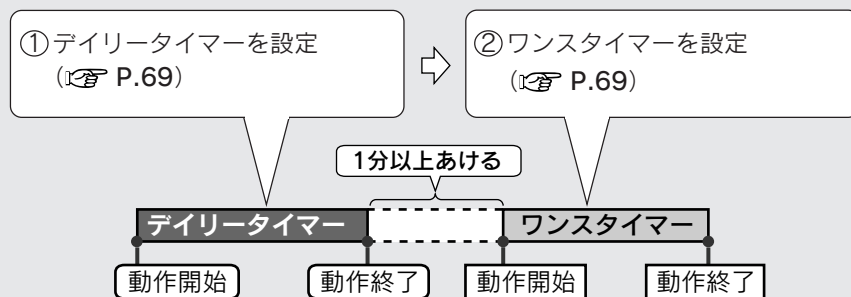
毎日同じ時刻にタイマー動作させることができます。

こんなときに便利

毎朝の目覚ましとして使ったり、毎日同じ時刻のラジオ放送を聞くときなど…

『ワンスタイマーとデイリータイマーは、組み合わせて使用可能』

たとえば、デイリータイマーで毎朝目覚ましとして使いながら、ワンスタイマーで、その日のラジオ放送を聞くことができます。



- デイリータイマーとワンスタイマーの開始時刻を同じ時刻に設定すると、ワンスタイマーが優先されます。
- デイリータイマーとワンスタイマーの終了時刻と開始時刻の間隔は1分以上あけてください。時間が重なると、後から動作する方のタイマーは動作しません。

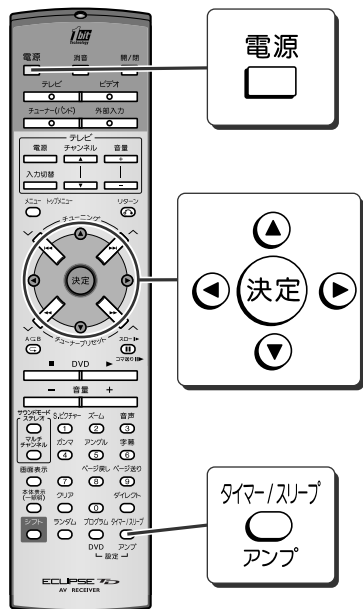
■ タイマーを使う前に

- 1 時計を合わせる。(P.26)
時計を合わせていないと、タイマーは使用できません。
- 2 再生の準備をする。
 - 再生に必要なディスクを入れてください。
 - ラジオ放送を聞くときは、放送局を登録してください。(P.53)

お知らせ

- メニュー画面の表示されるDVDでは、タイマー再生をしてもメニュー画面で止まったままになります。
- タイマーを設定したあとに、電源コードを抜いたり停電があると、時計が止まり、タイマー設定も解除されます。そのときは、もう一度、時計設定とタイマー設定をやり直してください。
- 他の機器を、この製品のタイマーで操作することはできません。
- タイマーの開始時刻に電源が入っていると、タイマー再生は始まりません。

タイマー再生を使う



- 1** 電源を入れて、^{タイマー/スリーブ} **電源** を押す。
- 2** 10秒以内に… ^{タイマー} **▲** または ^{ワンズ} **▼** を押して、“^{タイマー} **TIMER ONCE**” または “^{タイマー} **TIMER DAILY**” を選び、**決定** を押す。

ワンスタイマー	デイリータイマー
TIMER ONCE	TIMER DAILY
- 3** 10秒以内に… ^{ワンズ} **▲** または ^{デイリー} **▼** を押して、“^{ワンズ} **ONCE SET**” または “^{デイリー} **DAILY SET**” を選び、**決定** を押す。

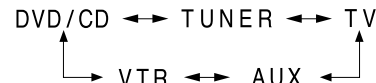
ワンスタイマー	デイリータイマー
ONCE SET	DAILY SET
- 4** **▲** または **▼** を押して、開始時刻の「時」を合わせ、**決定** を押す。

ON
AM 1:00
- 5** **▲** または **▼** を押して、開始時刻の「分」を合わせ、**決定** を押す。

ON
AM 7:00
- 6** 操作 **4** ~ **5** と同じ手順で、終了時刻を設定する。

OFF
AM 8:00

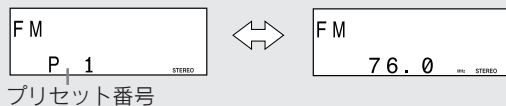
7 **▲** または **▼** を押して、聞きたい入力を選び、**決定** を押す。



「TV」または「AUX」、「VTR」を選んだときは、他の機器とこの製品を接続して、それぞれのタイマーを設定してください。

^{チューナー} 「TUNER」を選んだときは…
▲ または **▼** を押して、希望の放送局を選び、**決定** を押す。

放送局が登録されていないと、“NO P.SET” と表示され、設定操作が終了します。このときは、放送局を登録したあと、操作 **1** からやり直してください。



8 **▲** または **▼** を押して、音量を設定し、**決定** を押す。

VOLUME:20

音量をあまり大きくしないように注意してください。

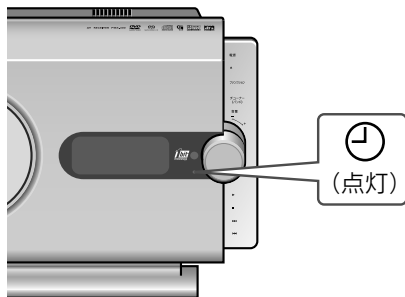
9 **電源** を押して、電源を切る。

- タイマーの待機状態になります。(タイマー表示が点灯します。P.70)
- タイマーの設定内容は、一度設定すると覚えています。

8章 タイマー設定したあとの動作について

タイマーを設定したあとは…

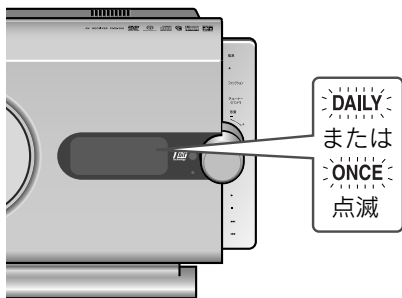
1



- タイマーの待機状態になっています。
- “”表示が点灯しないときは、電源を入れてタイマー設定をやり直してください。

タイマー開始時刻になると…

2



タイマー再生が始まります。
音量は徐々に大きくなります。

3

タイマー終了時刻になると…
電源が自動的に切れます。

タイマーの待機状態のときに…

ワンスタイマーまたはデイリータイマーの設定内容を確認したいとき

- 1 を押す。
 - 2 または で “タイマー ワンス” または “タイマー デイリー” を選び、 を押す。
 - 3 または で “ワンス コール” または “デイリー コール” を選び、 を押す。
- 設定内容が順に表示されます。

ワンスタイマーまたはデイリータイマーを解除したいとき

- 1 を押す。
 - 2 または で “タイマー ワンス” または “タイマー デイリー” を選び、 を押す。
 - 3 または で “ワンス オフ” または “デイリー オフ” を選び、 を押す。
- タイマーは解除されます。
(設定した内容は消えません。)

タイマー動作が終わったあとに、同じ設定内容で再びタイマーを使うとき…

ワンスタイマーでは

タイマー設定が解除されて、“ONCE OFF”の状態になります。

- 1 電源を入れて、 を押す。
- 2 または で “タイマー ワンス” を選び、 を押す。
- 3 または で “ワンス オン” を選び、 を押す。
- 4 電源を切る。

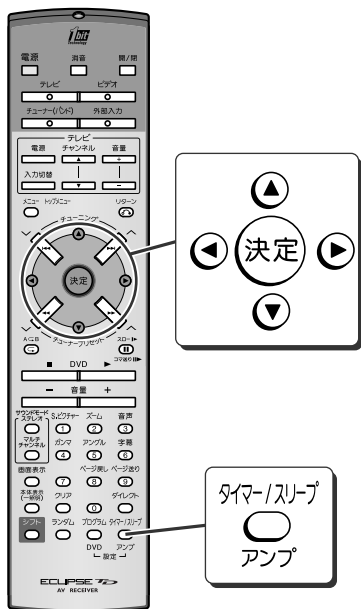
デイリータイマーでは


電源を切っておくだけで、次の日も同じ時刻になると、再びタイマーが動作します。


デイリータイマーの設定を解除するまで、毎日タイマーが動作します。
使わないときは、デイリータイマーを解除してください。
再び、同じ内容でデイリータイマーを設定するときは、左の操作で “タイマー ワンス ONCE” のかわりに “タイマー デイリー DAILY” を、
“ワンス ONCE オン” のかわりに “デイリー オン DAILY オン” を選んでください。


おやすみタイマーを使う

CDなどのディスクや、ラジオ放送を聞きながら設定した時間で電源を切ることができます。(スリープ)

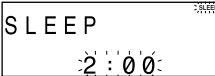


1 再生中に、^{タイマー/スリープ}  を押す。
_{アンプ}


2 10秒以内に…
▲または▼を押して、“SLEEP SET”を選び、
 を押す。

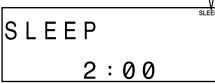


3 ◀または▶を押して、
スリープ時間を設定する。



- 1分～2時間まで設定できます。
- 5分から2時間までは5分単位で、1分から5分までは1分単位で設定できます。


4  を押す。



スリープ動作が始まります。

スリープ終了時刻になると再生が終わり、電源が切れます。
終了1分前になると、音量が徐々に小さくなります。このとき、音量を変えることはできません。

■ スリープ中に残り時間を確認するには


1. スリープ動作中に、^{タイマー/スリープ}  を押す。
2. 10秒以内に…▲または▼を押して、“SLEEP”を選ぶ。




- 約10秒後にもとの表示に戻ります。
- 残り時間を表示中に、左の操作 **2**～**4** で時間を変更することができます。

■ スリープを解除するには電源を切ると、スリープは解除されます。

電源を切らずに、スリープだけを解除することもできます。

1. スリープ動作中に、^{タイマー/スリープ}  を押す。
2. 10秒以内に…▲または▼を押して、^{スリープ} ^{オフ} “SLEEP OFF”を選ぶ。



3. 10秒以内に…
 を押す。
^{スリープ} (“SLEEP” 消灯)

おやすみタイマーを使う

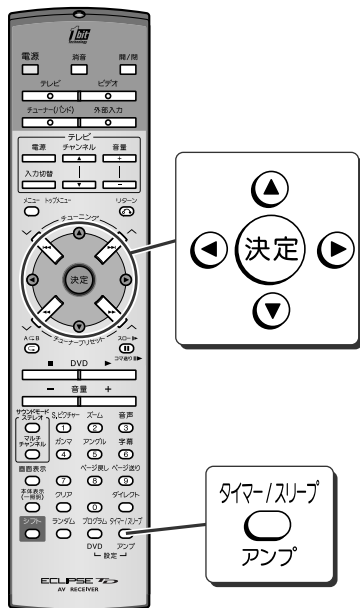
タイマー

8章 おやすみタイマーとタイマー再生を組み合わせる

AV RECEIVER PMX-300

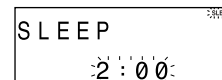
おやすみタイマーと
タイマー再生を組み合わせる

たとえば、ラジオ放送を聞きながらおやすみになり、次の日の朝、CDの音楽で目覚ましをすることができます。



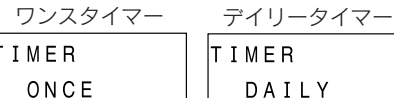
1

スリープを設定する。
(☞ P.71：操作 1～4)
スリープ動作が始まります。



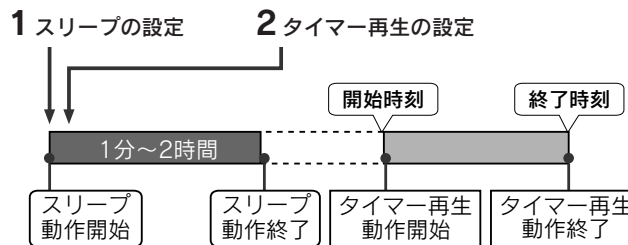
2

タイマー再生を設定する。
(☞ P.69：操作 1～8)



スリープの設定時間にタイマー再生の開始時刻が重ならないように設定してください。

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマー再生の開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー再生が始まります。

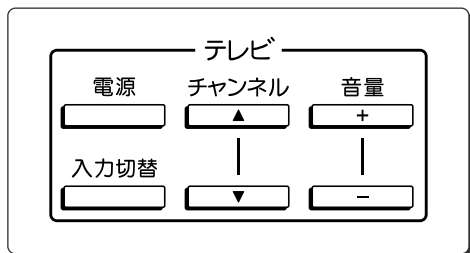


タイマー

テレビを操作する

お買いあげ時は、シャープ製のテレビを操作できるようになっています。

シャープ製以外のテレビや、シャープ製でも操作できないテレビは、メーカー設定を変えるとリモコンで操作ができるようになります。



■ テレビを見る

- 1 リモコンをテレビに向けて…
テレビ電源 を押して、テレビの電源を入れる。
- 2 テレビチャンネル または テレビチャンネル を押して、テレビのチャンネルを合わせる。

■ テレビのメーカー設定を変える

- 1 テレビ電源 を押したまま、テレビチャンネル を押す。
- 2 30秒以内に…
①～⑩で、メーカー設定番号(2ケタ)を入力する。
- 3 テレビ電源 を押す。
設定したあと、正しく動作するか、確かめてください。

メーカー名	設定番号
シャープ	01(*),02
松下電器	03,04
日本ビクター	06
ソニー	09
三菱電機	10,11
日立製作所	14
東芝	18

メーカー名	設定番号
パイオニア	20
三洋電機	21,22
富士通	25
アイワ	26
フナイ	27,28,29,30
SAMSUNG	33,34

*お買いあげ時のメーカー番号は、01(シャープ)に設定されています。

テレビを見るときに使用できるその他のボタン

操作	ボタン
音量調整	テレビ音量 + -
入力切替	テレビ入力切替

お知らせ

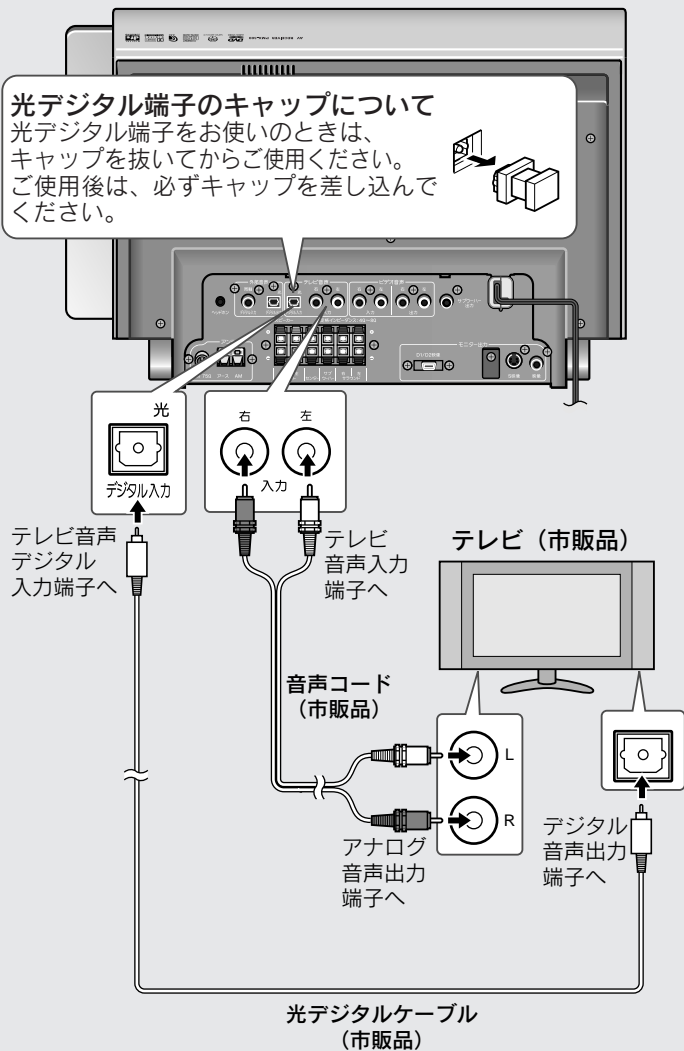
- シャープ製のテレビでも、一部の機種は操作できないものがあります。
- メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してみてください。
- 操作の途中で30秒以上たつと登録されません。そのときは、もう一度登録してください。
- メーカー番号を登録すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの乾電池を交換したときは、メーカー番号をお買いあげ時の設定に戻ることがあります。そのときは、もう一度登録してください。
- テレビによっては、設定できないものがあります。また、設定できても一部のボタンが使えないことがあります。

テレビを操作する

リモコン

10章 テレビの音声を楽しむ

光デジタル端子のキャップについて
光デジタル端子をお使いのときは、
キャップを抜いてからご使用ください。
ご使用後は、必ずキャップを差し込んで
ください。



光デジタルケーブルや音声コードを接続すると、テレビの音声を本機のスピーカーで聞くことができます。

光デジタルケーブルまたは音声コードのどちらか1つを接続すれば、聞くことができます。

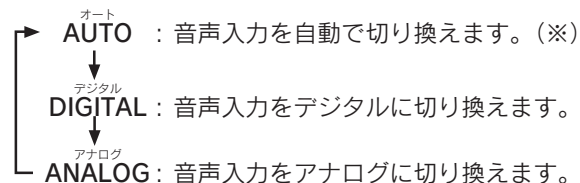
- 光デジタルケーブルや音声コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。
- 音声コードは、抵抗の入っていないものをお買い求めください。抵抗の入っている音声コードを使うと音が小さくなります。

接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。

テレビの音声を聞くには…

電源を入れて… **テレビ** を押す。

押すたびに入力が切り換わります。



(※) デジタル信号とアナログ信号が同時に入力されると、デジタル信号が優先されます。
地上波アナログ放送はアナログ信号が、BS/CSデジタル放送はデジタル信号が出力されますので、「AUTO」にしておくとう便利です。

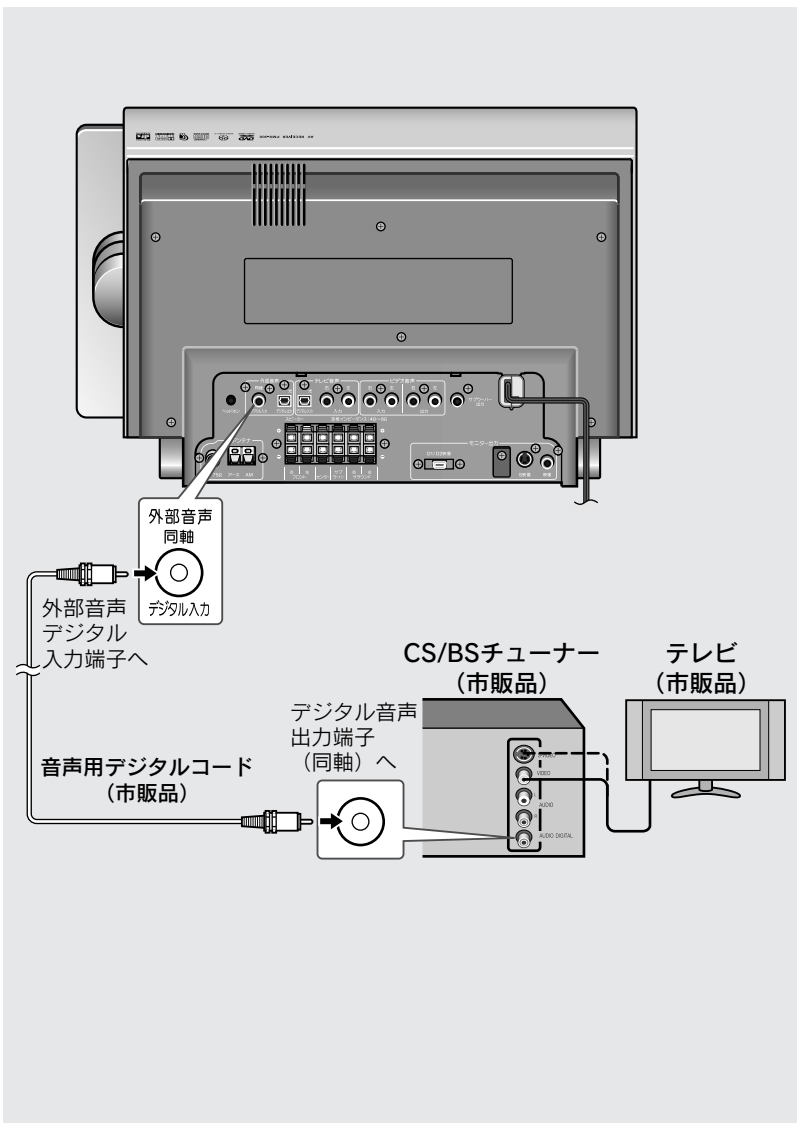
お知らせ

- 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。雑音の原因となります。
- 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。
- 本体の○**ファンクション**を押しても、入力をテレビにすることができます。

10章 CS / BS チューナーなどの音声を楽しむ

AV RECEIVER PMX-300

CS / BS チューナーなどの音声を楽しむ

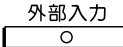


音声用デジタルコードを接続すると、CS/BSチューナーなどの音声を本機のスピーカーで聞くことができます。


音声用デジタルコードは付属されていません。
市販品をお買い求めください。

接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。

CS / BS チューナーの音声を聞くには…

電源を入れて…  を押す。

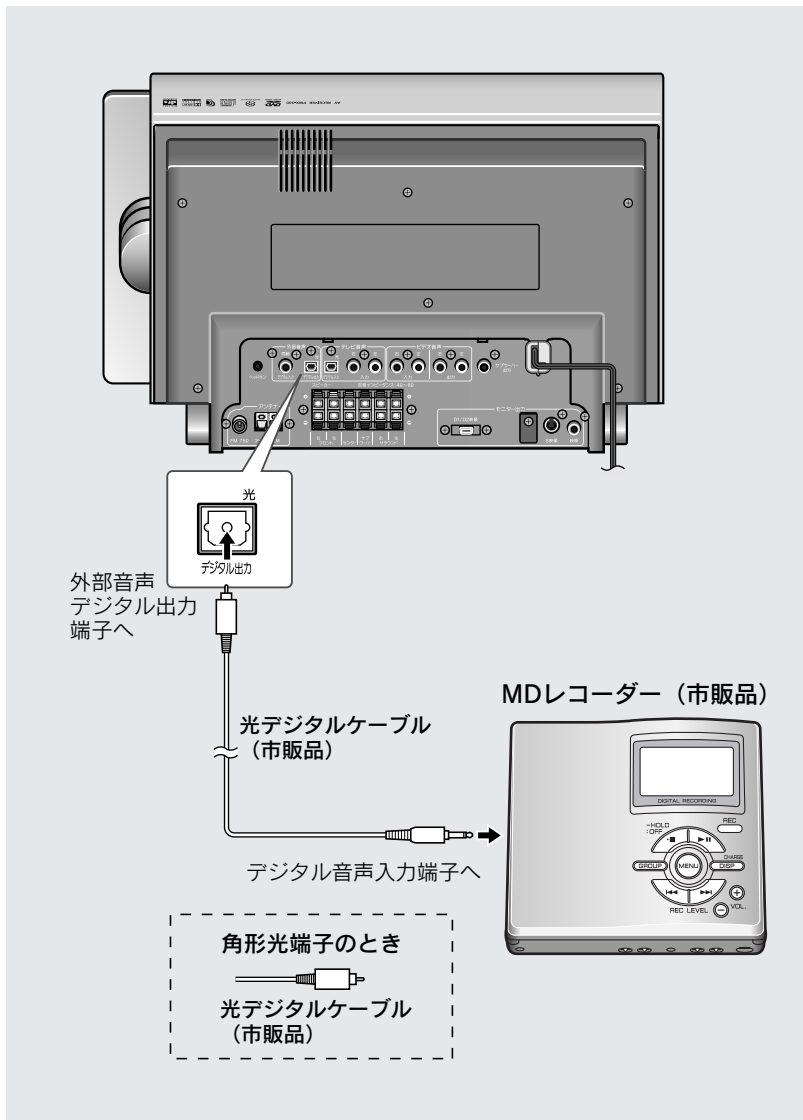
お知らせ

- CS / BS デジタルチューナーの AAC サラウンドは、デジタル音声を入力したときのみ働きます。
- テレビ音声デジタル入力端子に接続しても、CS / BS デジタルチューナーの音声を聞くことができます。その場合は入力をテレビにしてください。(P.74)
- 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。雑音の原因となります。
- 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。
- 本体の  を押しても、入力を外部入力にすることができます。

システム
アップ

DVD や CD の音声を MD レコーダーなどで録音する

AV RECEIVER PMX-300



外部音声デジタル出力端子に光デジタルケーブルを接続すると、ディスクの音声を MD レコーダーなどで録音することができます。

光デジタルケーブルは付属されていません。

市販品をお買い求めください。

接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。

外部音声デジタル出力端子に MD レコーダーなどを接続するときは、音声出力設定の DIGITAL 出力を「D-PCM」に設定してください。(P.59)

ビットストリーム	5.1chのドルビーデジタル/DTS デジタルサラウンド対応プロセッサーなど
D-PCM	2chのデジタル入力端子つきアンプなど

ディスクの音声を MD レコーダーなどで録音するには…

電源を入れて… DVD を押す。

お知らせ ……………

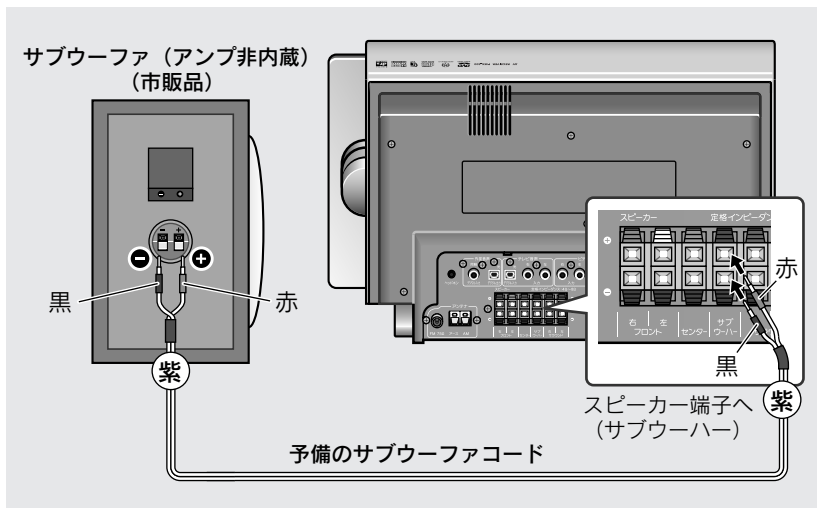
- ディスクによっては、コピー禁止になっているものがあります。このようなディスクからデジタル録音はできません。また、DTS 信号などは、デジタル録音はできません。
 - 本機の外部音声デジタル出力端子からは、DVD/CD、テレビ音声デジタル入力端子、外部音声デジタル入力端子からの信号が出力されます。ラジオチューナー、テレビ音声入力端子、ビデオ音声入力端子からの信号は出力されません。
 - DVD ビデオの音声は、96kHz サンプルングのリニア PCM 音声で記録されている DVD を再生したとき、デジタル出力される音声は 96kHz サンプルングの音声となります。ディスクによっては、48kHz となる場合があります。
 - SACD の音声は、外部音声デジタル出力端子からは出力されません。
 - DVD オーディオの音声は、外部音声デジタル出力端子から出力されないものがあります。
- ディスクによっては、デジタル音声のサンプルング周波数が自動的に下がって出力されるもの、まったく出力されないものがあります。
- 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。雑音の原因となります。

10章 サブウーファ（アンプ非内蔵）を接続する

AV RECEIVER PMX-300

サブウーファ（アンプ非内蔵）を接続する・ヘッドホンを使う


システムアップ



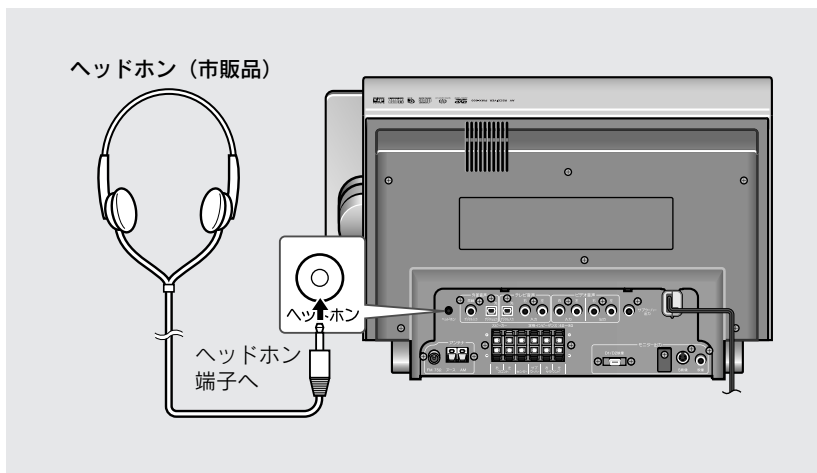
スピーカー端子（サブウーハー）に、市販のサブウーファ（アンプ非内蔵）をつなぐことができます。

サブウーファコードは、同梱品の予備のコードをお使いください。

接続するときは、機器の電源を切った状態で行ってください。

お知らせ.....
付属のサブウーファと市販のサブウーファ（アンプ非内蔵）を両方とも接続すると、両方から音が出ます。
また、スピーカの設定（ P.63～67）を変更すると、両方同時に設定されます。

ヘッドホンを使う



ヘッドホンをつないだり、抜いたりするときは、音量を下げておいてください。インピーダンス 16～50 Ω（推奨 32 Ω）で、直径 3.5mm ステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。

お知らせ.....
•ヘッドホンからサラウンドの効果音は得られません。
•ヘッドホンをつなぐと、すべてのスピーカから音は出なくなります。
•プラグは確実に差し込んでください。



音のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

言語コード一覧表

AV RECEIVER PMX-300

記号	言語名
AA	アフアル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バジキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DE	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EN	英語
EO	エスペラント語
ES	スペイン語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FR	フランス語

記号	言語名
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディ語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IT	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JL	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カナダ語
KO	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語

記号	言語名
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダカスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウエー語
OC	プロバンス語
OM	アフアン語 (オロモ語)
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語

記号	言語名
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	シヨナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウイ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥ語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラビュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZH	中国語
ZU	ズール語

11章 “故障かな？” と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、86ページの「保証とアフターサービス」をごらんの上修理を依頼してください。

■ 共通

スピーカから音が出ない。

- 音量が“0”になっていませんか。 P.27
- ヘッドホンをつないでいませんか。 P.78
- スピーカは正しく接続されていますか。 P.20～21

スピーカの音にばらつきがある。

- スピーカコードの⊕、⊖をまちがえていませんか。 P.21

再生中に雑音が出る。

- テレビ、パソコン、携帯電話などが本機の近くにある場合は、離してください。

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。

- 一度、電源を切り、操作をやり直してください。それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。 P.81

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。

- 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていたり、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。このようなときは、屋外アンテナの使用をおすすめします。

タイマー再生が動作しない。

- 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。時計を合わせ直してください。 P.26

時刻の確認をしたとき、“CLOCK ADJUST”が表示される。

- 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。時計を合わせ直してください。 P.26

表示部が暗い。

- 表示部の明るさの設定が“DIM ON”または“DIM AUTO”になっていませんか。
“DIM OFF”を選んでください。 P.27

表示部がつかない。

- スライドドアが開いていませんか。
開/閉 を押してスライドドアを閉めてください。 P.28

電源が入らない。

- 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 P.25

映像が出ない。

- テレビの電源は入っていますか。 P.73
- テレビの入力を切り換えていますか。 P.73

■ DVD・CD

ディスクを入れても“NO PLAY”が表示される。

- ディスクの裏表をまちがえていませんか。
- ディスクに汚れやキズがありませんか。
- 規格外のディスクを使用していませんか。
- 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- つゆつき現象が起きていませんか。 P.81

操作ボタンを押しても動作をしない。

また、映像や曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。

- ディスクに汚れやキズがありませんか。
- 規格外のディスクを使用していませんか。
- 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- つゆつき現象が起きていませんか。 P.81

映像や再生音がとぎれる。

- ディスクに汚れやキズがありませんか。
- 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- つゆつき現象が起きていませんか。 P.81

電源が入っているのに動かない。


- DVD (リージョン番号2、ALL)、音楽CD以外のディスクが入っていませんか。 P.14～17

再生画像が出ない。(音声が出ない)


- 映像・音声コードが正しく接続されていますか。 P.22、74～76
- DVD (リージョン番号2、ALL)、音楽CD以外のディスクが入っていませんか。 P.14～17
- ディスクが汚れていませんか。ディスクにキズがありませんか。 P.51
- ディスクの表裏をまちがえていませんか。 P.28
- テレビの入力が「ビデオ1・ビデオ2」などになっていますか。 P.28
- 電源は入っていますか。 P.25

■ ラジオ



放送に“シー”、“ザー”という連続音が入る。

- テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。
- アンテナの方向が悪くありませんか。  P.24

放送がよく受信できない。雑音も多い。





- アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。
- 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法があります。  P.83

登録した放送局を呼び出すことができない。



- 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。登録し直してください。  P.53
- リセット操作をしませんでしたか。登録し直してください。  P.53

■ リモコン

リモコンで操作できない。
または、正しい動作をしない。

- 乾電池の⊕ ⊖の向きが逆になっていませんか。  P.24
- 乾電池が消耗していませんか。
- リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に正しく向けていますか。  P.24
- リモコン受信部と距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。  P.24
- リモコン受信部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっていませんか。  P.24
- 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。

リモコンで電源が入らない。

- 電源コードはつながっていますか。  P.25
- 乾電池は入っていますか。  P.24

つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ(水滴)がつくことがあります。

- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。


つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

異常が起きたら

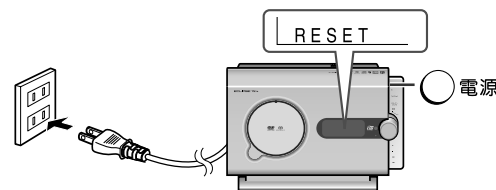
この製品を使用中に、強い外来ノイズ(衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

リセット操作

- ① 電源コードをコンセントから抜きます。
- ②  電源 を押したまま、電源コードを差し込みます。

“リセットRESET” が約1秒表示されたあと電源が切れます。



ご注意

リセット操作をすると、登録した内容は消え、各種の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。(DVDの初期設定は覚えています。)

11章 こんな表示が出たときは

こんな表示が出たときは

■ 本体表示

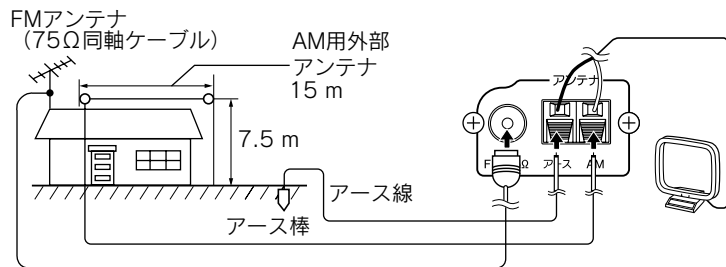
表示	意味	このようにしてください
<small>ディ-エスピー-エヌジー</small> DSP NG	・DSP の故障。	・お買いあげの販売店に修理をお申し付けください。
<small>エラー</small> Er- ※※ (※※は数字や記号です。)	・アンプ動作異常。 ・DVD 通信異常。 ・CD 通信異常。	・電源を切って、再度電源を入れてみる。また、リセット操作を試してみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申し付けください。
<small>ファン ロック</small> FAN LOCK	・本体背面の空冷ファンが回っていない。	・電源を切って、再度電源を入れてみる。それでも“ <small>ファン ロック</small> FAN LOCK”が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申し付けください。
<small>ディスク</small> NO DISC	・ディスクが入っていない。 ・ディスクが表裏逆。	・ディスクを入れる。 ・ディスクを入れ直す。
<small>ディスク プレイ</small> NO PLAY	・リージョン番号が、「2」、「ALL」以外のDVDを再生しようとした。	・再生可能なディスクに取り換える。
<small>デジタル シグナル</small> No Signal	・デジタル音声入力端子の接続不良。 ・規格外の信号で認識することができない。	・デジタルケーブルを接続し直してみる。

■ テレビ画面表示

テレビ画面表示	エラーの内容
⊗ このディスクは再生できません	再生できないディスクを入れたり、裏表を逆に入れたとき。
地域番号が違います	リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDを入れたとき。
ディスクを入れてください ⊗	ディスクが入っていないとき。
⊗ この操作はできません	・誤った操作をしたとき。 ・操作を禁止されている場面で操作したとき。
⊗ ディスクでこの操作は禁止されています	本書に記載されている操作を、ディスク側で禁止しているとき。

屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを設置することができます。



- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。また、高い所での作業は危険です。設置するときは、販売店に相談してください。
- AM用外部アンテナを接続するときは、AM用ループアンテナを接続したままにしておいてください。

屋外アンテナの設置場所について

- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかけなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れた所、またはそれが見えない所に立てるようにしてください。
- 送電線の下には立てないでください。
送電線にアンテナが触れると大変危険です。
- 落雷のおそれがありますので、あまり高い所には立てないでください。

アース棒について

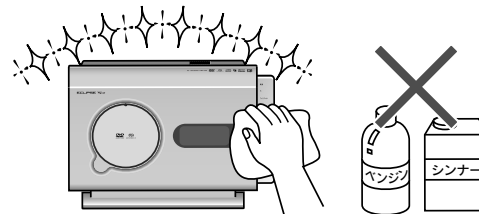
アースの接続（接地）は、万一の感電事故を防止することができます。アース棒を地中に埋めるか、または鉄製の水道管につないでください。危険ですので、ガス管にはつながないでください。

お手入れについて

■ 本体のお手入れ

やわらかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

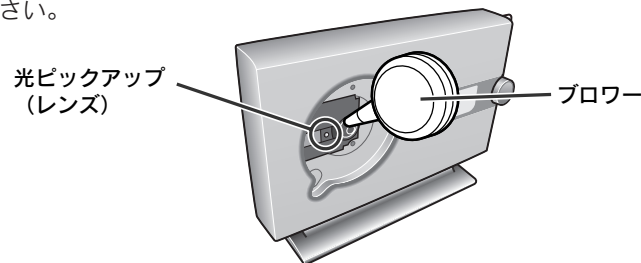


ご注意

ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。

■ 光ピックアップのお手入れ

光ピックアップ（レンズ）にホコリや汚れがつくと、音とびを起こしたり、画面が出ないなど正しく動作をしないことがあります。
ホコリがついたときは、市販のカメラレンズ清掃用のブローアなどで清掃してください。



お知らせ

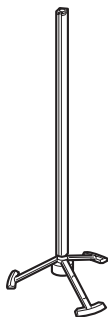
- 光ピックアップは手でさわらないように気をつけてください。
- 使わないときはスライドドアを閉じておいてください。
- 光ピックアップにキズをつけないように気をつけてください。

11章 別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

専用スピーカスタンド

形名：ECLIPSE TD D5



最大外形寸法：315(幅) × 915(高さ) × 275(奥行) mm
質量：約2.3kg
価格：12,000円(税別) / 1本

仕様

AV RECEIVER PMX-300

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

SACD/DVDプレーヤー部

水平解像度	DVD：500本以上
ビデオ信号 S/N比	DVD：68dB以上
信号方式	NTSCカラー方式準拠
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式(半導体レーザー使用)
周波数特性	SACD再生時： 4~50,000 Hz (+1/-3dB) (JEITA) DVD-Audio・DVD-Video再生時： 4~22,000Hz (Fs=48kHz) 4~44,000Hz (Fs=96kHz) 4~88,000Hz (Fs=192kHz/DVD-Audioのみ) CD再生時： 4~20,000 Hz (+1/-3dB) (JEITA) SACDの再生周波数範囲： 4~100,000 Hz
ワウ・フラッター	測定限界(±0.001%W.PEAK) 以下 (JEITA)

チューナー部

受信周波数	FM：76.0~108.0 MHz (TV音声 1~3CH) AM：522~1,629 kHz
チューナー回路方式	クォーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー
アンテナ	FM (75Ω)、AM、アース

タイマー/時計部

形式	デジタルクロック
タイマー	デイリータイマー/ワンスタイマー/スリープタイマー

リモコン

電源	DC 3V (付属単4乾電池×2)
----	-------------------

アンプ/共通部

実用最大出力 (JEITA)	総合： 210W (4Ω)、120W (8Ω) フロント： 35W+35W (4Ω)、20W+20W (8Ω) センター： 35W (4Ω)、20W (8Ω) サラウンド： 35W+35W (4Ω)、20W+20W (8Ω) サブウーファ： 35W (4Ω)、20W (8Ω)
1ビットサンプリング 周波数	5.6MHz
A/Dノイズシェーピング	7次 $\Delta\Sigma$ (デルタシグマ) 変調
映像出力端子	映像出力×1 S映像出力 (S2対応) ×1 D1/D2映像出力×1
音声出力端子	デジタル出力： 光×1 (外部音声出力) アナログ出力： ピンジャック (L/R) ×1 (ビデオ) ヘッドホン出力： 16~50Ω (推奨32Ω) 直径3.5mmステレオミニジャック×1 スピーカ出力： 6チャンネル (4Ω~8Ω) サブウーファ出力： ピンジャック×1
音声入力端子	デジタル入力： 光×1 (テレビ) 同軸×1 (外部音声入力) アナログ入力： ピンジャック (L/R) ×2 (テレビ/ビデオ)
電源	100V AC、50/60Hz
消費電力	AC 65W (待機時消費電力：0.35W)
最大外形寸法	368(幅) × 245(高さ) × 122(奥行) mm (スタンド部含む JEITA)
質量	約3.6kg

サテライトスピーカ部

形式	フルレンジ
スピーカ	φ6.5cm
インピーダンス	8Ω
最大外形寸法	120(幅) × 162(高さ) × 160(奥行) mm
質量	約1.2kg×5

サブウーファ部

形式	バスレフ型
定格出力	30W+30W (負荷6Ω、T.H.D. : 0.2%時)
最大出力	40W+40W (負荷6Ω)
適合負荷 インピーダンス	6Ω
最大外形寸法	236(幅) × 354(高さ) × 301(奥行) mm
質量	約19kg

11章 保証とアフターサービス (よくお読みください)

AV RECEIVER PMX-300

保証書 (別添)

- 保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

この商品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。この期間は、経済産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理及びご不明な点に関するご相談は

お買いあげの販売店または、裏表紙に掲載の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

- 「“故障かな?”と思ったら」(80~81ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

品 名
形 名
お買いあげ日
故障の状況
ご 住 所
ご 名 前
電 話 番 号
ご訪問希望日

お客様へ…

- 便利メモ お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電 話 () -

■保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

【メモ】

●この製品に関するお問い合わせは、お買いあげの販売店または下記までお願いいたします。

ECLIPSE TD インフォメーション (お客様相談窓口)	メールの場合 TD-info@tm.ten.fujitsu.co.jp <small>*メールのご回答には、数日かかる場合があります。</small>
	電話の場合 (フリーダイヤル) 0120-02-7755
受付時間：午前10：00～12：00 午後 1：00～ 5：00 (土曜・日曜・祝祭日・弊社休業日除く)	

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078) 671-5081(代表)